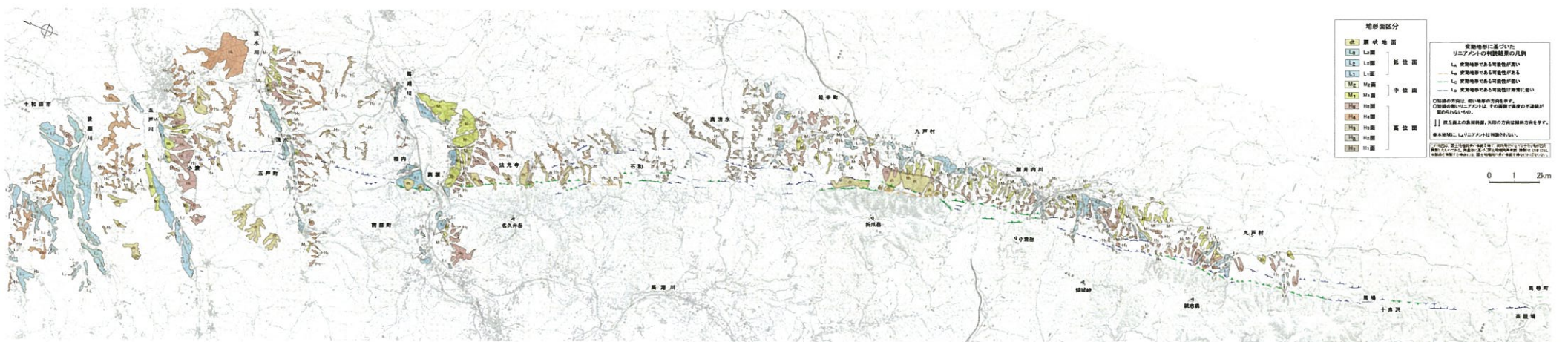


第3.2-111図 敷地を中心とする半径100 km 範囲の陸域の活断層分布図

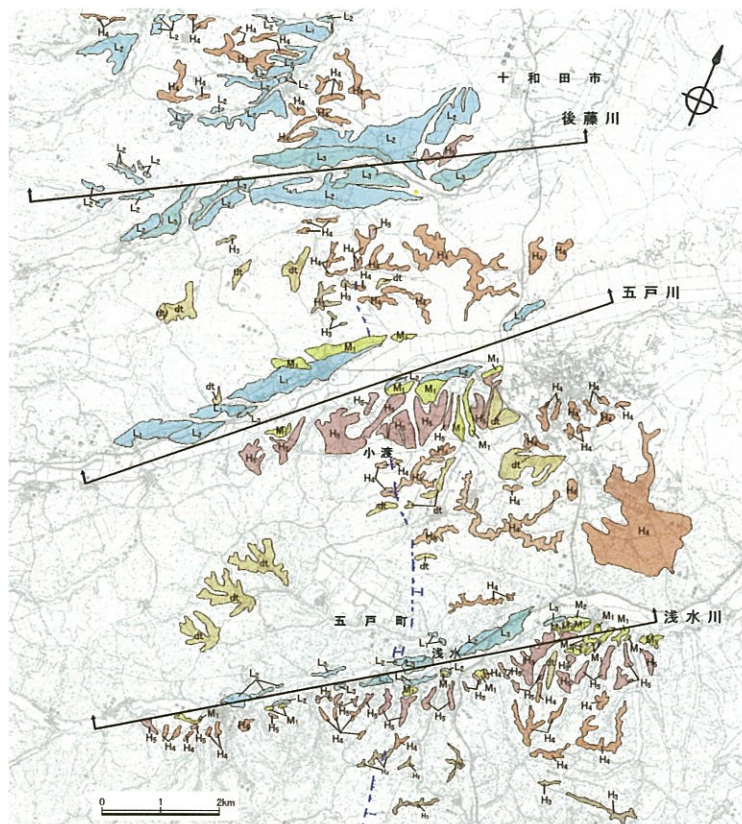


地形区分

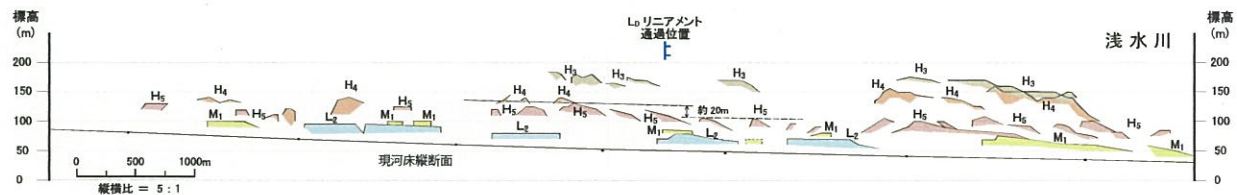
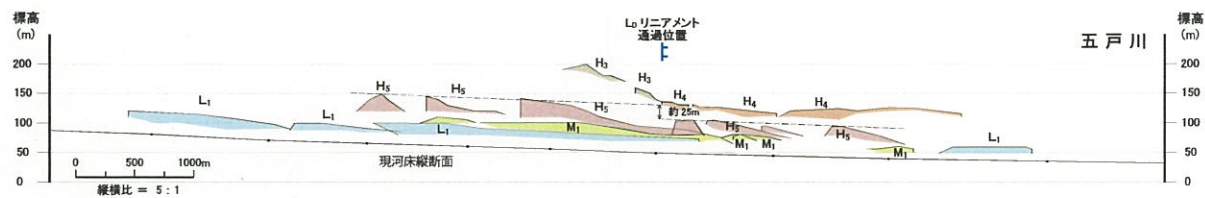
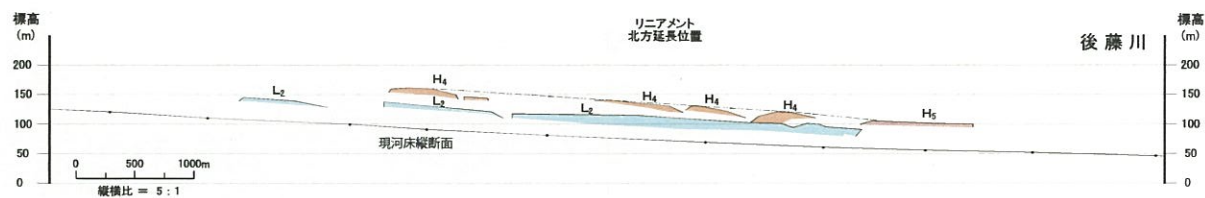
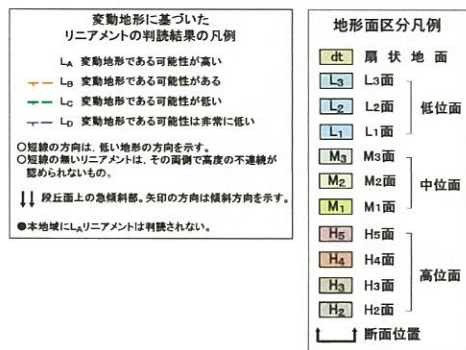
階状地面	低地帯	実測地形に基づいた Li2アソトの河川経路の凡例
L1区		Li: 実測地形である可能性が高い
L2区		Li: 実測地形である可能性が低い
L3区	中低地帯	Li: 実測地形である可能性が高い
M1区		Li: 実測地形である可能性が低い
M2区		Li: 実測地形である可能性が低い
H1区	高地帯	〇: 標高が低い(アソト)は、その標高が実際の平均標高が 異なる可能性がある。
H2区		〇: 標高が低い(アソト)は、その標高が実際の平均標高が 異なる可能性がある。
H3区		〇: 標高が低い(アソト)は、その標高が実際の平均標高が 異なる可能性がある。

〇: 標高が低い(アソト)は、その標高が実際の平均標高が異なる可能性がある。
 〇: 標高が低い(アソト)は、その標高が実際の平均標高が異なる可能性がある。
 〇: 標高が低い(アソト)は、その標高が実際の平均標高が異なる可能性がある。

図3.2-112(2) 約八咫原河川の空中写真地形図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R11年1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



第3.2-113図 折爪断層北部の段丘面高度分布図
3-3-336



地質時代 地層名 記号		地質時代 地層名 記号	
第四紀	沖積層	Q1	沖積層
第四紀	扇状地	Q2	扇状地
第四紀	河成層	Q3	河成層
第四紀	湖成層	Q4	湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q5	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q6	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q7	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q8	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q9	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q10	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q11	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q12	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q13	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q14	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q15	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q16	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q17	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q18	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q19	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q20	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q21	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q22	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q23	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q24	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q25	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q26	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q27	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q28	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q29	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q30	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q31	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q32	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q33	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q34	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q35	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q36	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q37	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q38	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q39	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q40	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q41	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q42	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q43	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q44	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q45	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q46	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q47	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q48	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q49	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q50	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q51	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q52	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q53	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q54	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q55	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q56	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q57	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q58	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q59	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q60	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q61	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q62	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q63	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q64	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q65	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q66	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q67	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q68	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q69	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q70	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q71	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q72	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q73	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q74	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q75	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q76	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q77	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q78	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q79	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q80	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q81	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q82	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q83	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q84	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q85	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q86	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q87	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q88	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q89	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q90	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q91	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q92	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q93	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q94	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q95	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q96	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q97	埋没湖成層
第四紀	埋没扇状地	Q98	埋没扇状地
第四紀	埋没河成層	Q99	埋没河成層
第四紀	埋没湖成層	Q100	埋没湖成層

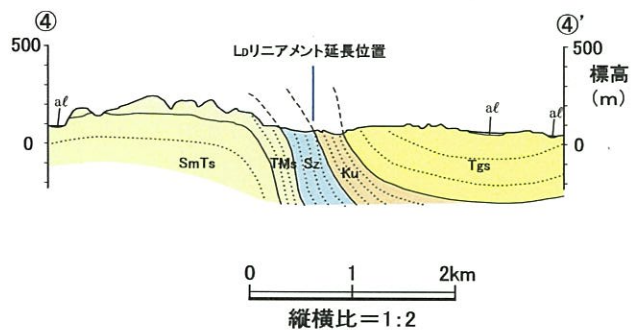
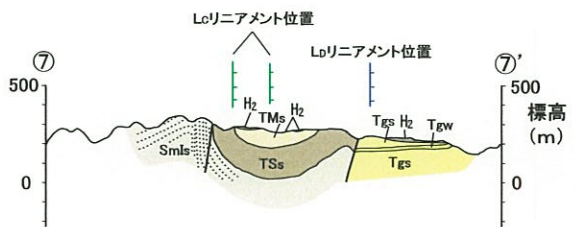
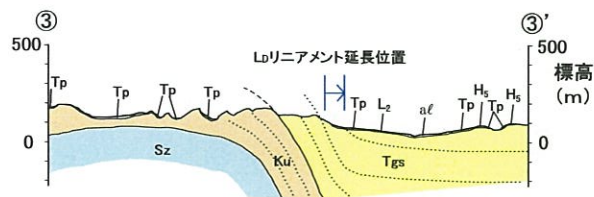
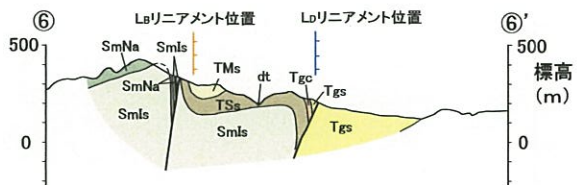
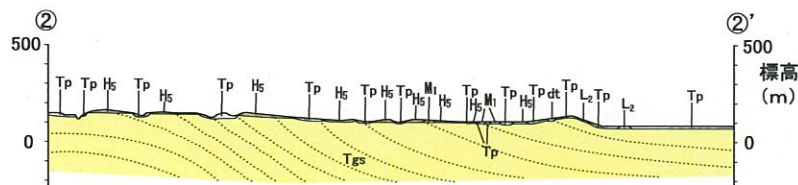
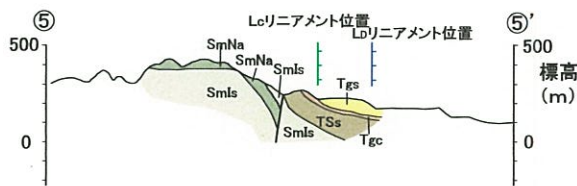
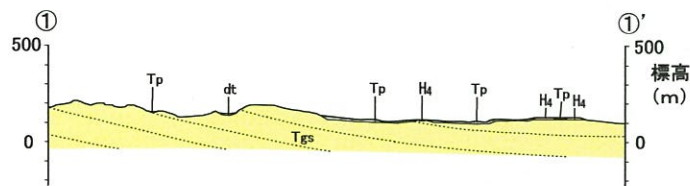
変動地形に基づいた
リニアメントの利便結果の凡例

Li 変動地形である可能性が高い
Li 変動地形である可能性がある
Li 変動地形である可能性が低い
Li 変動地形である可能性は非常に低い

○ 経路の方向は、強い地形の方向を示す。
○ 経路の弱いエリアは、その経路で高度の不連続が
見られる場合がある。

Li 経路上の急降部、急傾斜の方向は経路方向を示す。
急傾斜部に Li アプローチは利便されない。





変動地形に基づいた
リニアメントの判読結果の凡例

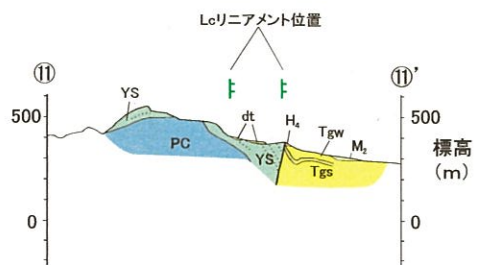
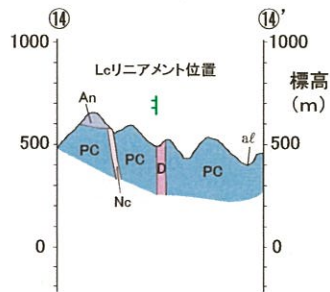
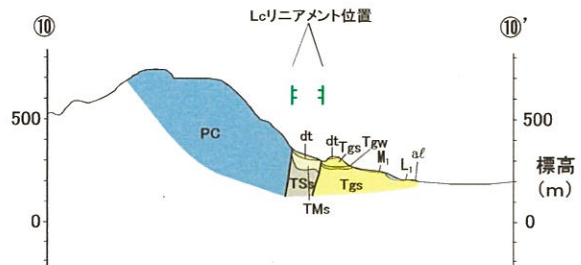
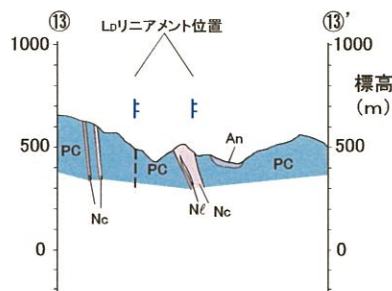
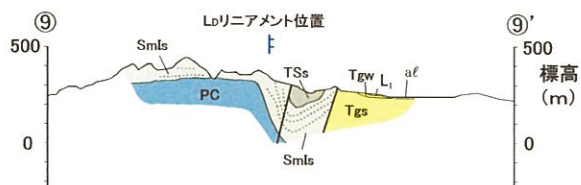
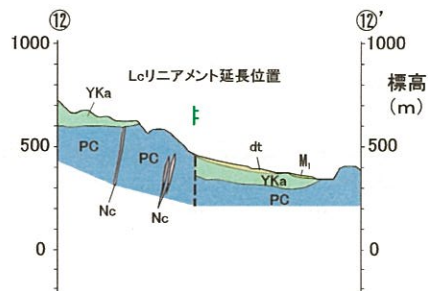
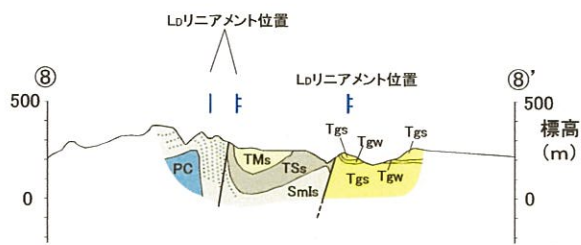
- L_A 変動地形である可能性が高い
- L_B 変動地形である可能性がある
- L_C 変動地形である可能性が低い
- L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方は、低い地形の方向を示す。
○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域に、L_Aリニアメントは判読されない。

地質凡例		
地質時代	地層名	記号
完新世	沖積層	ael
	崖錐堆積層	dt
第四紀	十和田火山軽石 流堆積物	Tp
	低位段丘堆積層	L ₂
	中位段丘堆積層	M ₁
	高位段丘堆積層	H ₅ H ₄ H ₂
鮮新世	斗川層	Tgs Tgw Tgc
	砂岩・泥岩 凝灰岩互層	
	凝灰岩	
	礫岩	
第三紀	久保層	Ku
	舌崎層	Sz
	留崎層	TMs TSs
	末ノ松山層	SmTs SmNa Smls
	目時貝殻砂岩部層	
	宮沢砂岩部層	
	高屋敷粗粒砂岩部層	
	名久井岳安山岩部層	
	五日町砂岩部層	
—		地層境界線
- - -		断層線(---部は推定)
.....		層理

第3.2-115図(1) 折爪断層周辺の地質断面図
3-3-338



地質凡例

地質時代	地層名	記号	
第四紀	完新世	沖積低地堆積層	al
		崖堆積層	dt
	更新世	低位段丘堆積層	L1
	後期	中位段丘堆積層	M1
中生代	中期	高位段丘堆積層	H1
	鮮新世	斗川層	Tgs, Tgw
			砂岩・泥岩 凝灰岩互層
	新第三紀	留崎層	TM, TS
中生代	中新世	末ノ松山層	Smls
		四ツ役層	YKa, YS
			目時貝殻砂岩部層 宮沢砂岩部層 五日町砂岩部層 傾城峠安山岩部層 双畑互層部層
	中・古生代	中・古生層	PC
中・古生代			Nc チャート NZ 石灰岩
	年代不詳		An 安山岩 D 貫入岩

——— 地層境界線
 ——— 断層線 (--- 部は推定)
 層理

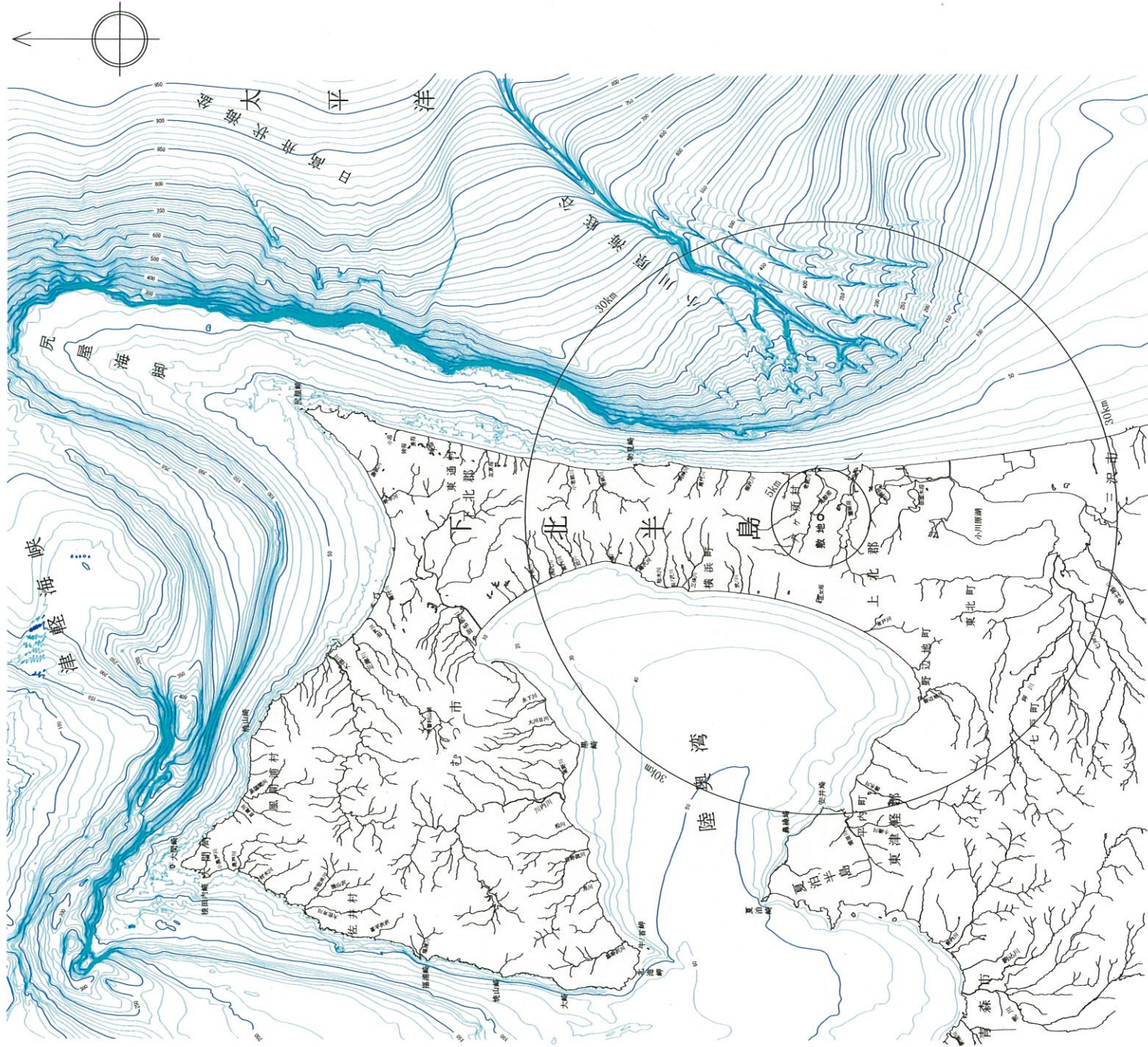
変動地形に基づいた リアメントの判読結果の凡例

LA 変動地形である可能性が高い
 LB 変動地形である可能性がある
 LC 変動地形である可能性が低い
 LD 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。
 ○短線の無いリアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域に、LA及びLBリアメントは判読されない。

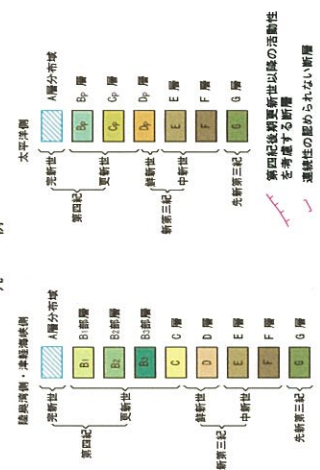
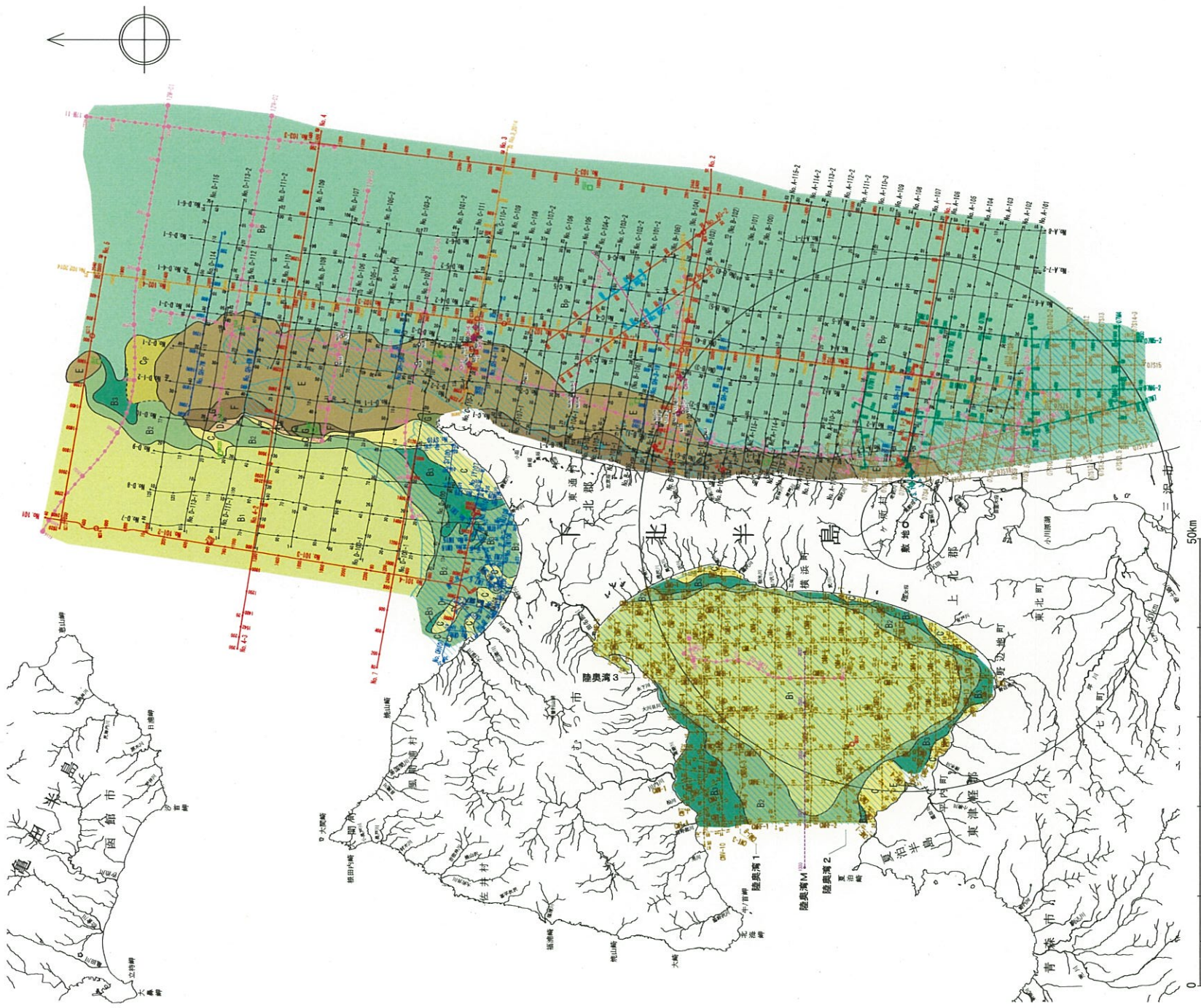
0 1 2km
縦横比=1:2



一部、海上保安庁刊行沿岸の海の基本図「恵山岬」，
「尻屋埼」，「むつ小川原」，国土地理院刊行沿岸
広域土地条件図「陸奥湾」等から編集したものである。



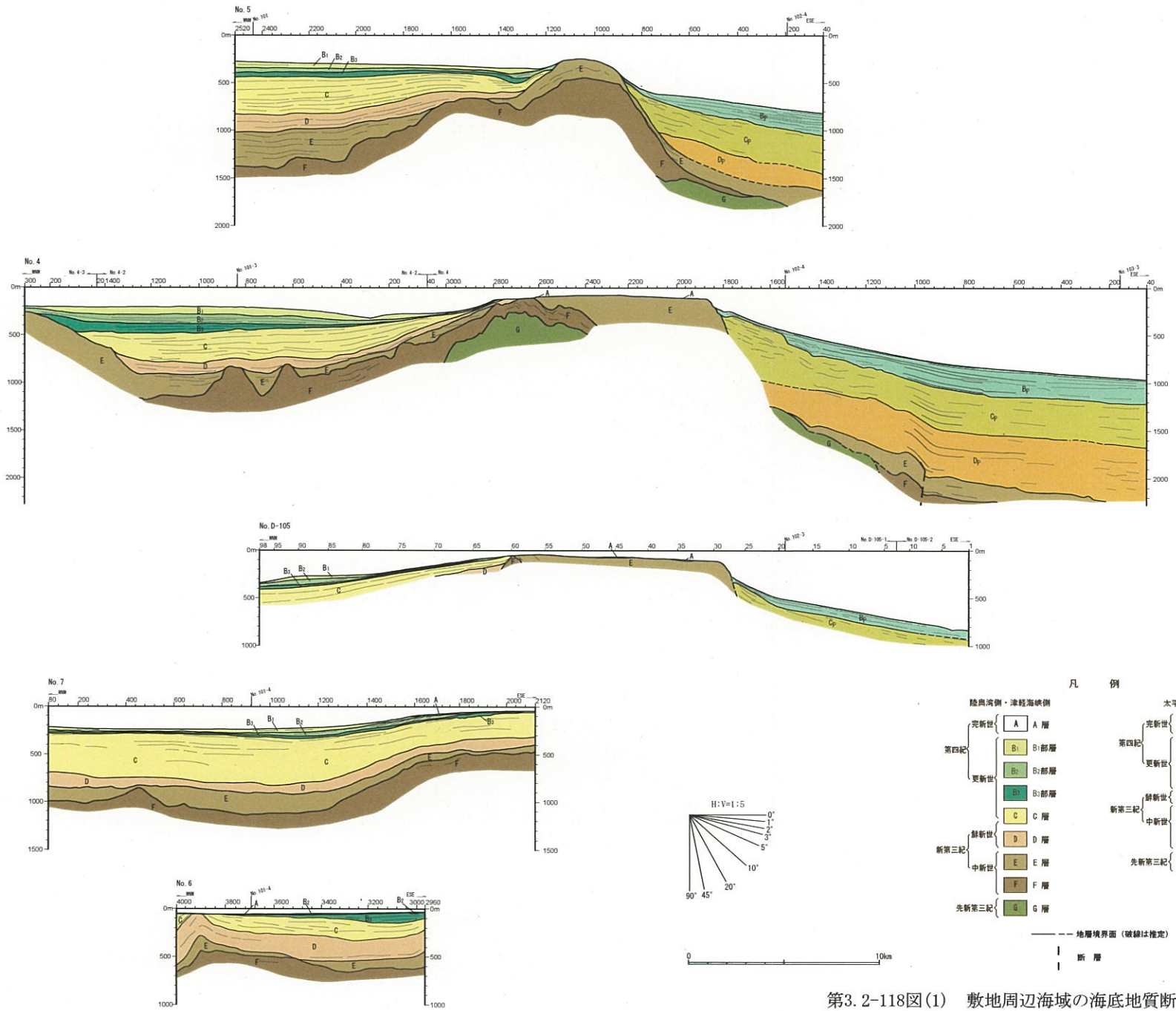
第3.2-116図 敷地周辺海域の地形図



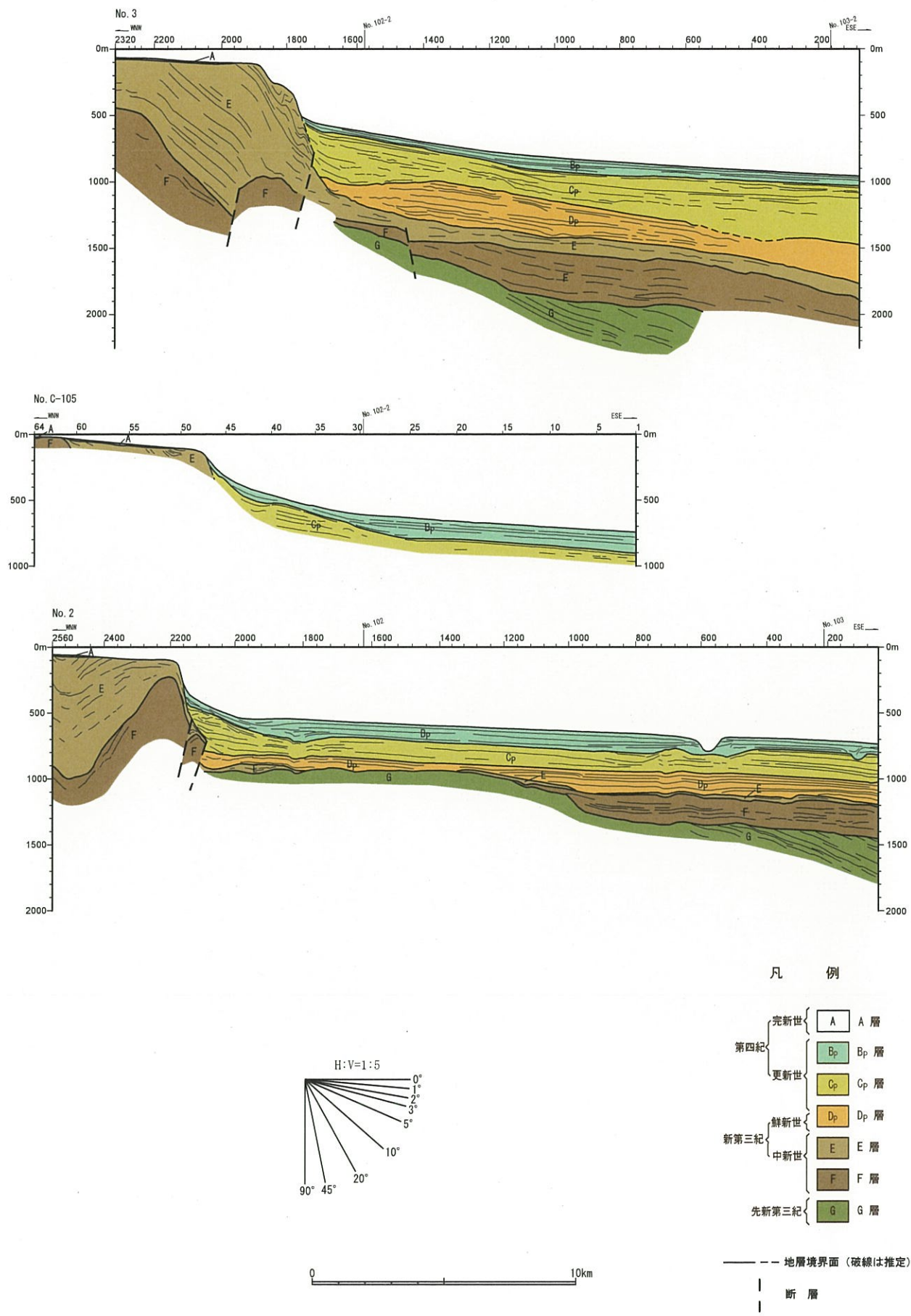
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (400m, ワーターガン) 調査 (2007年)
- 日本国領によるシングルチャネル管線調査 (150m, エアガン/400m, エアガン) 調査 (2012年、2013年)
- 日本国領によるシングルチャネル管線調査 (400m, ワーターガン) 調査 (2014年)
- 日本国領によるシングルチャネル管線調査 (210m, ワーターガン) 調査 (2017年、2018年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (400m, エアガン/400m, エアガン) 調査 (1995年、2004年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (400m, ワーターガン) 調査 (2008年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (210m, ワーターガン) 調査 (2010年、2011年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (150m, ワーターガン) 調査 (1987年、1988年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (210m, ワーターガン) 調査 (2009年、2010年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (210m, ワーターガン) 調査 (2010年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (210m, エアガン) 調査 (2008年)
- 日本国領によるマルサチヤンネル管線調査 (210m, エアガン) 調査 (2008年)

- 日本国領によるボーリング位置
- 日本国領・東電電力・リサイクル燃料貯蔵庫によるボーリング位置
- 日本国領・東電電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵庫によるボーリング位置
- 東電電力・東京電力によるボーリング位置
- 東電電力・東京電力による調査点
- 地質調査所による調査点

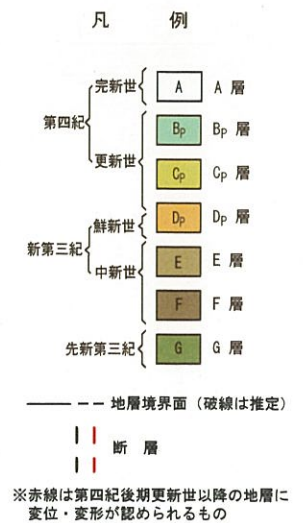
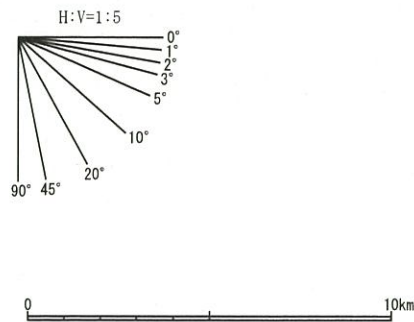
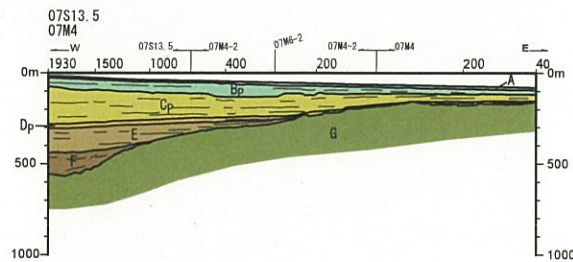
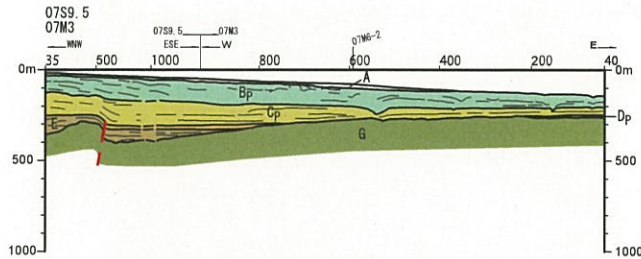
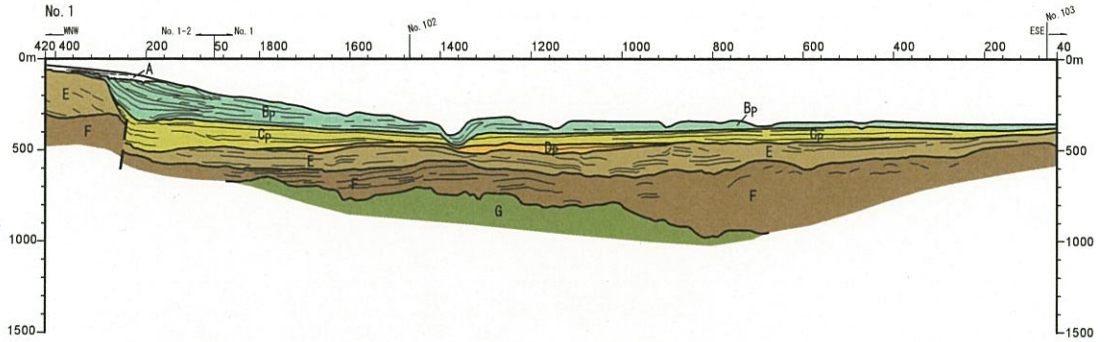
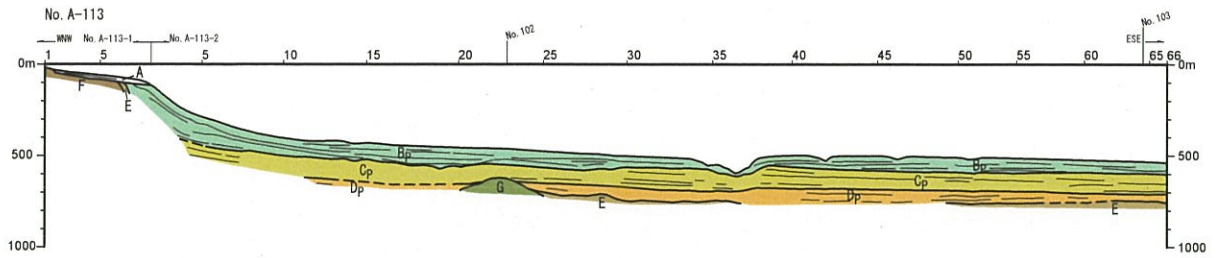
第3.2-117図 敷地周辺海域の海底地質図



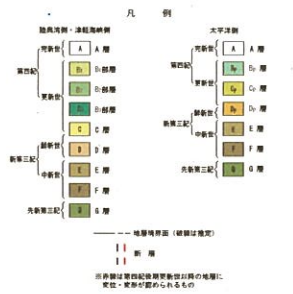
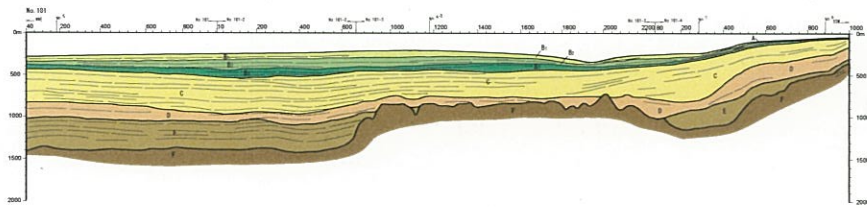
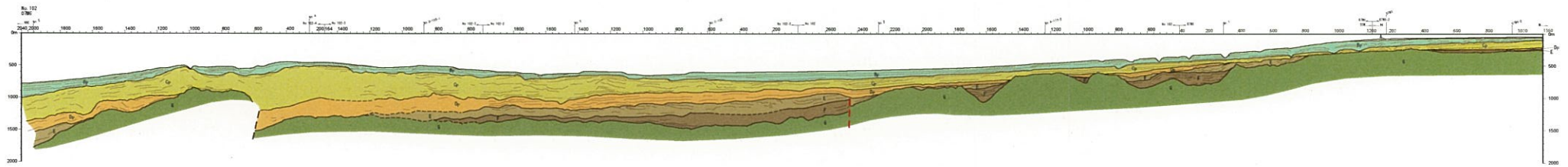
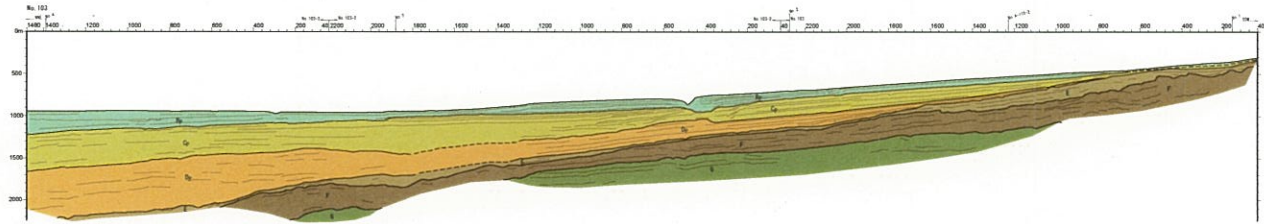
第3.2-118図(1) 敷地周辺海域の海底地質断面図



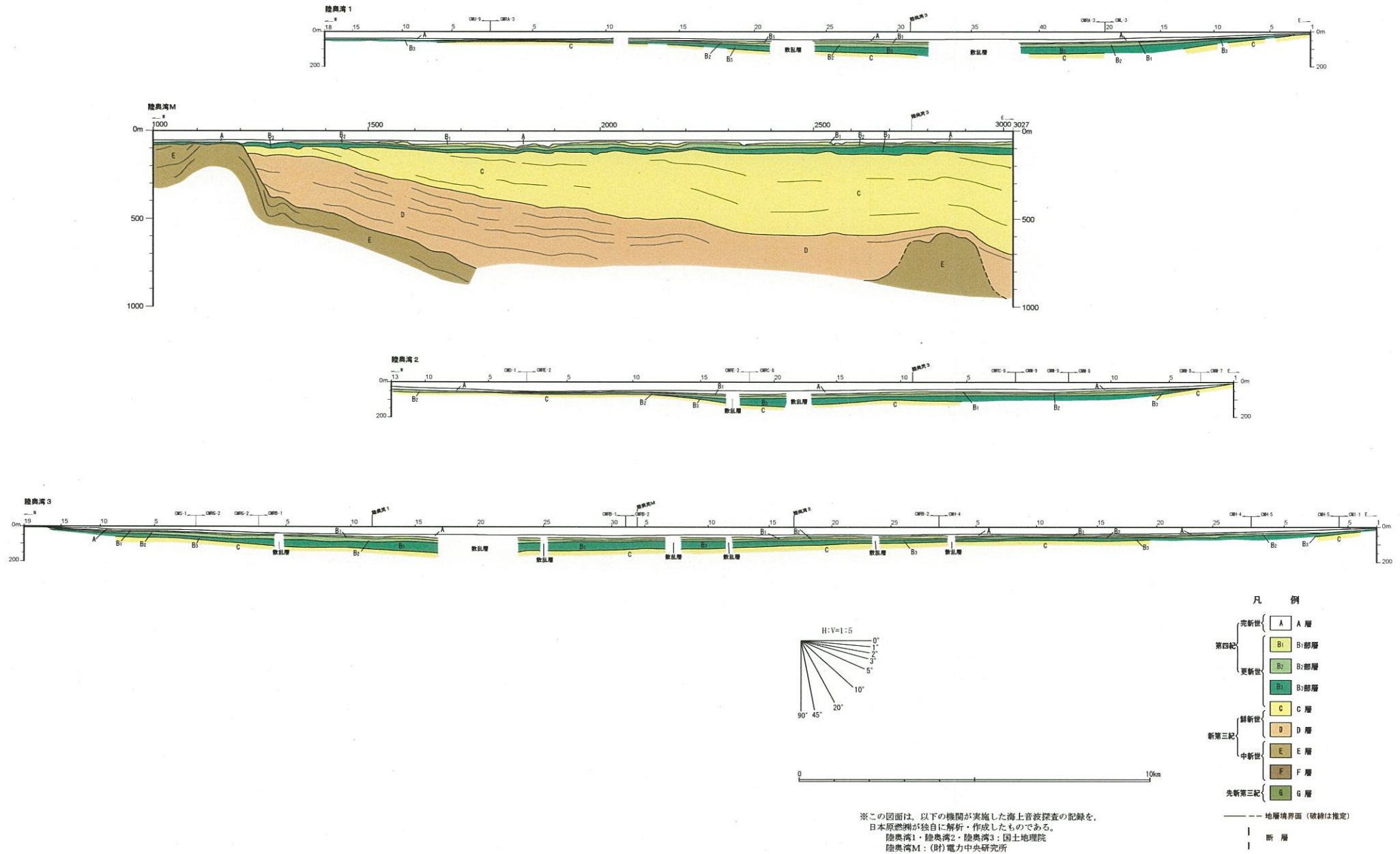
第3.2-118図(2) 敷地周辺海域の海底地質断面図



第3.2-118図(3) 敷地周辺海域の海底地質断面図

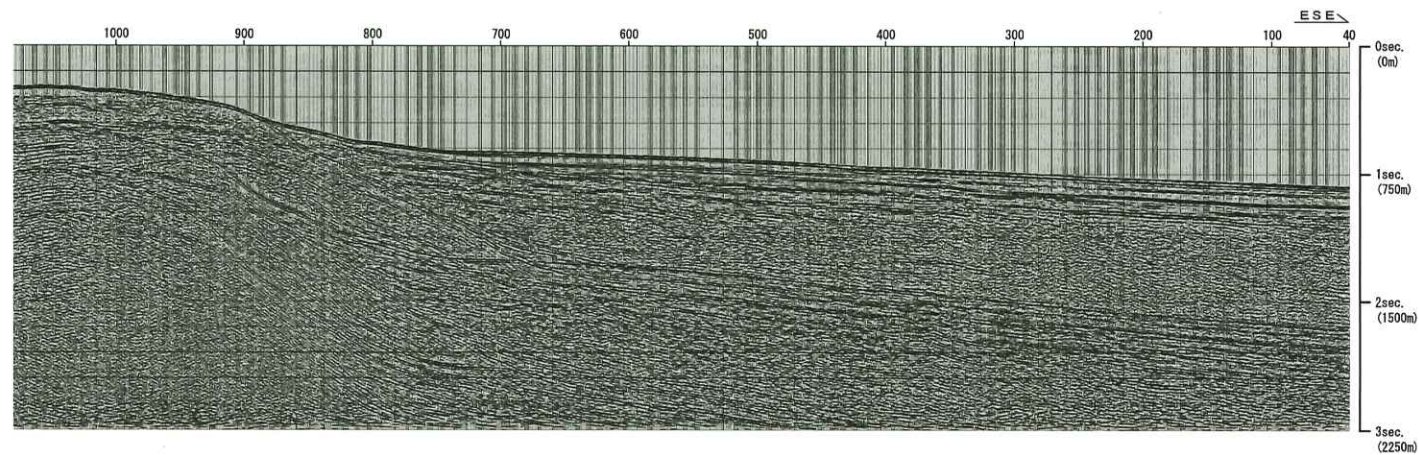
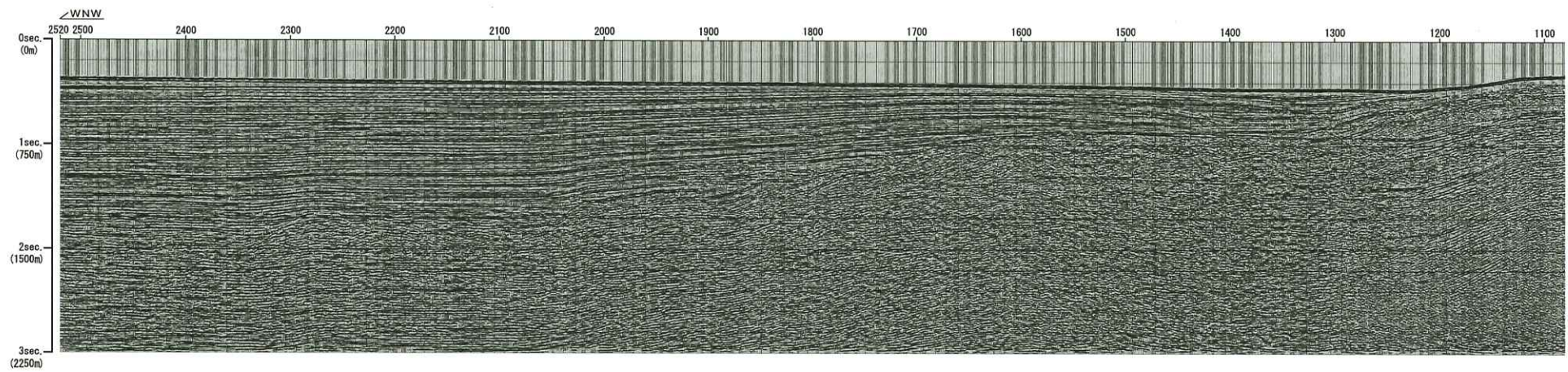


第3.2-118図(4) 敷地周辺海域の海底地質断面図



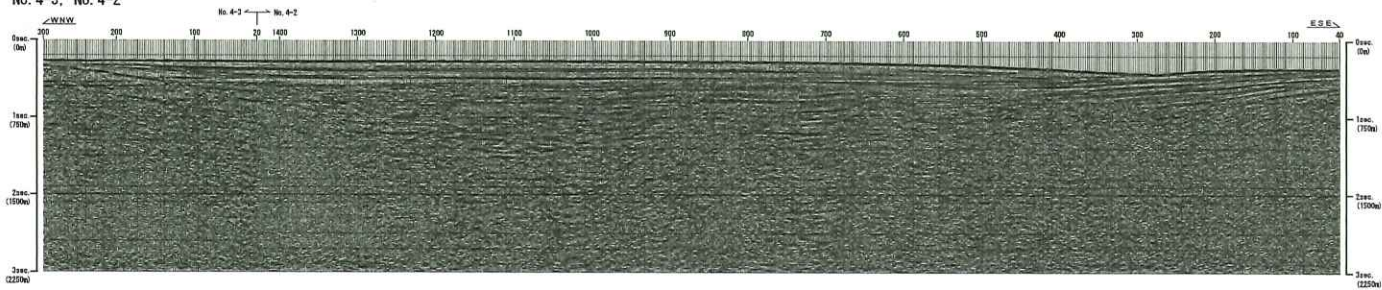
第3.2-118図(5) 敷地周辺海域の海底地質断面図

No. 5

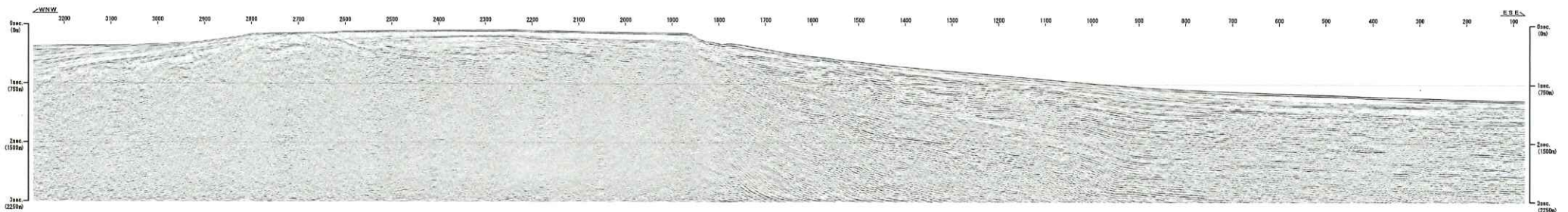


第3. 2-119図(1) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 4-3, No. 4-2

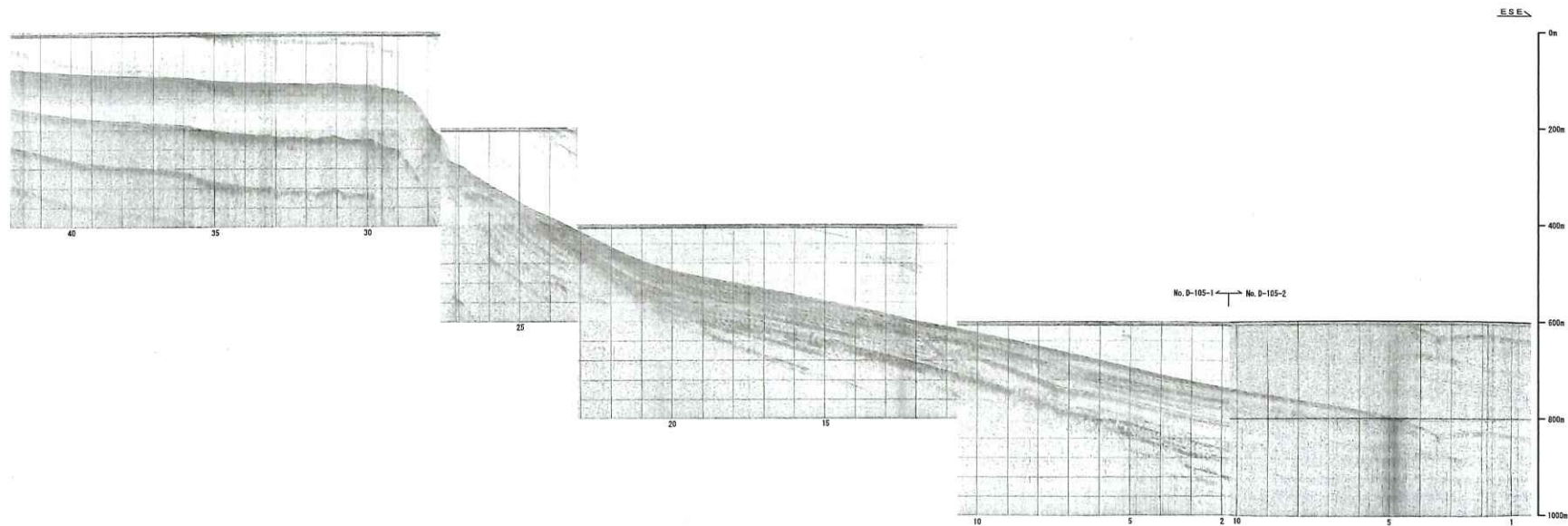
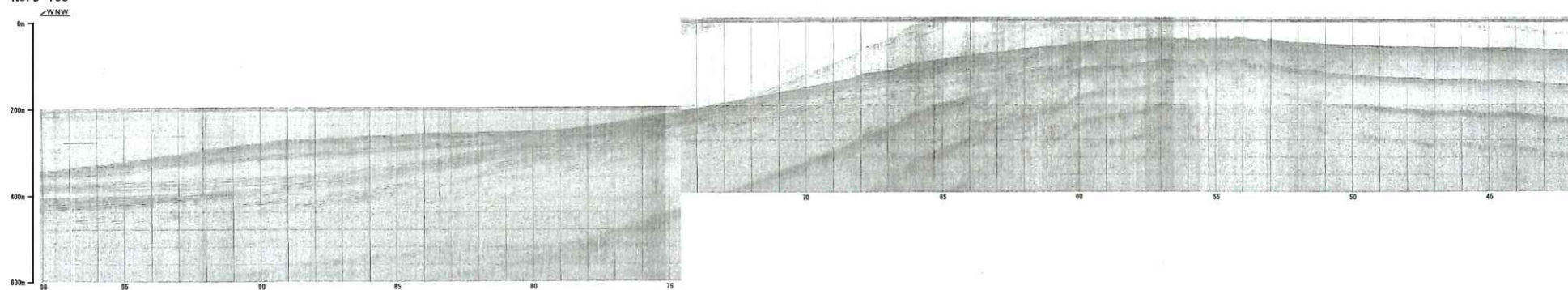


No. 4



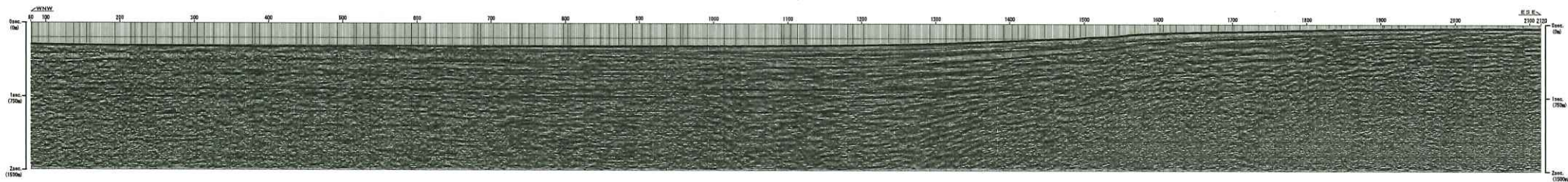
第3.2-119図(2) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. D-105

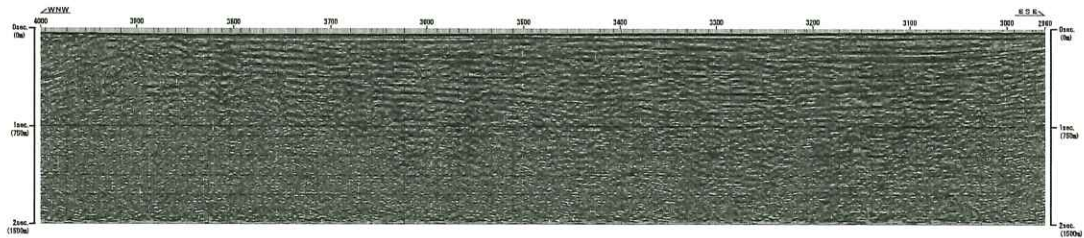


第3.2-119図(3) 敷地周辺海域の音波探査記録

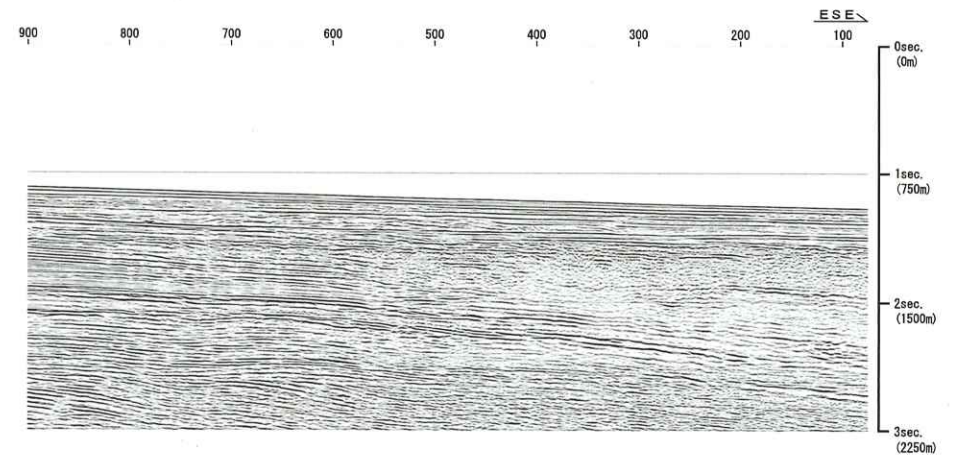
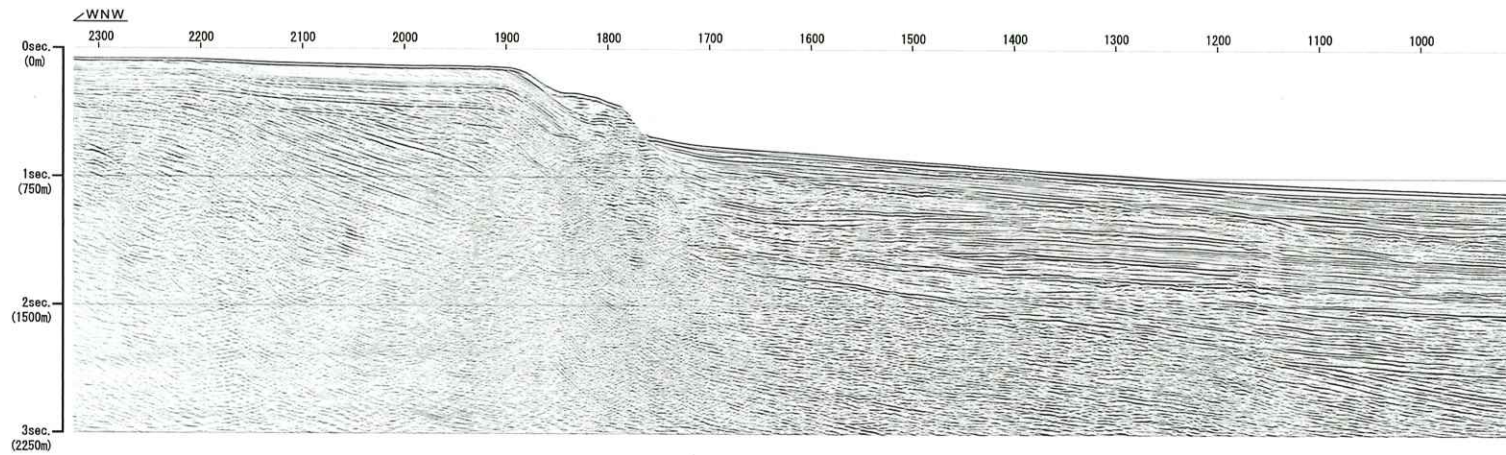
No. 7



No. 6



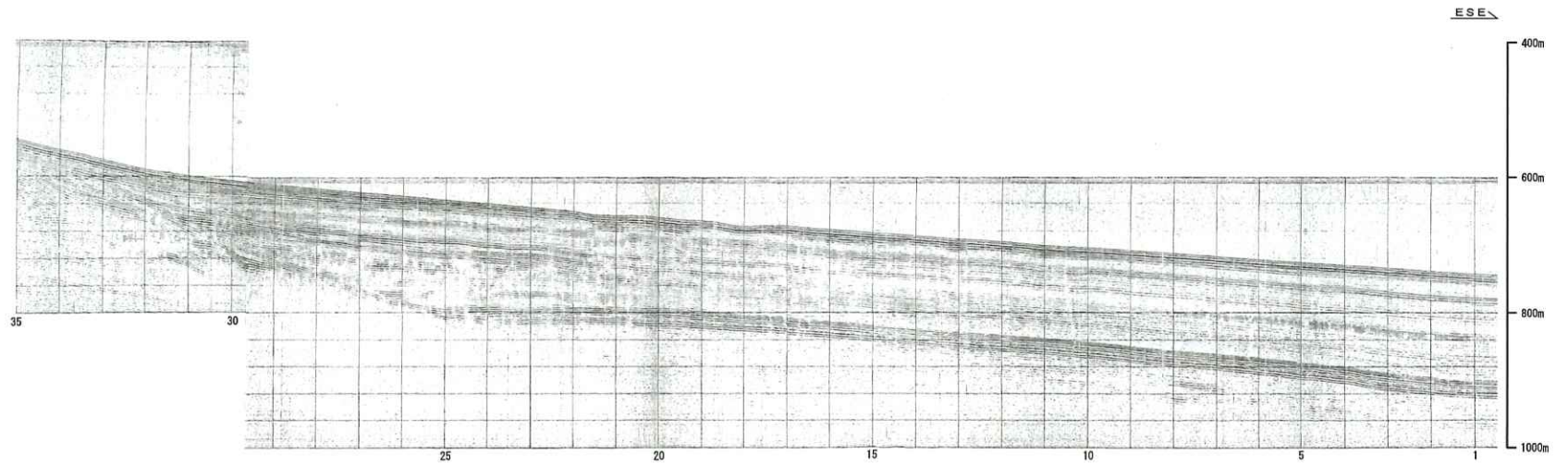
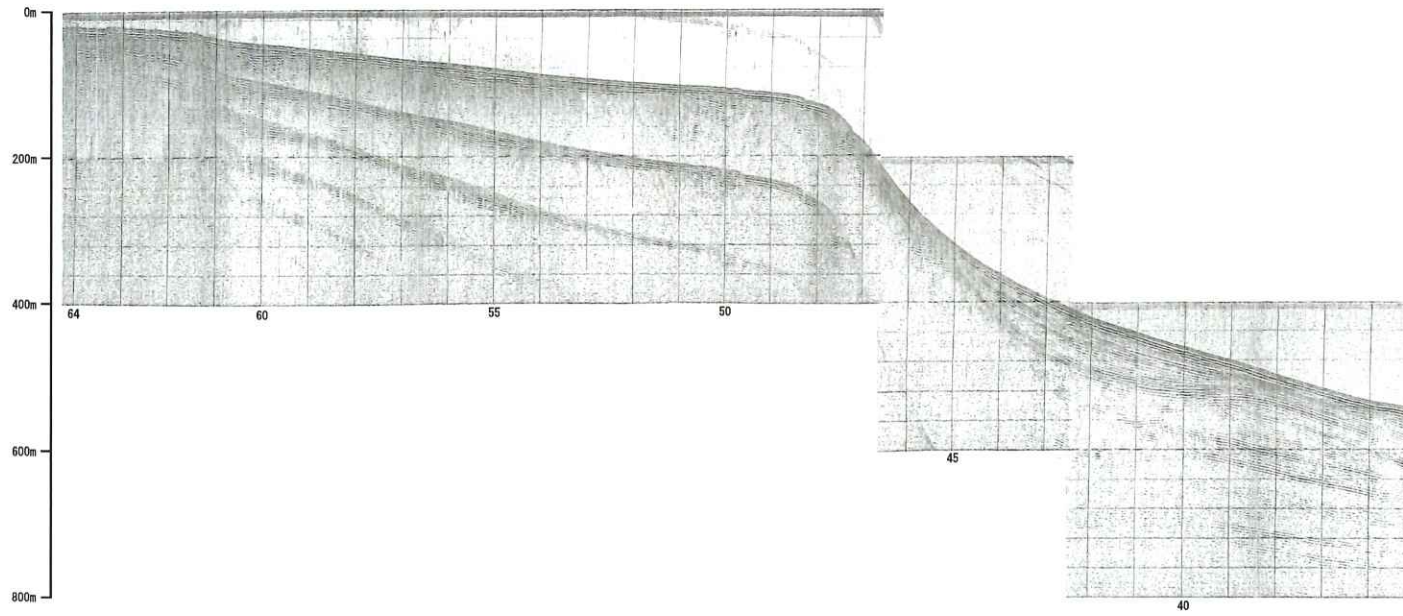
No. 3



第3.2-119図(5) 敷地周辺海域の音波探査記録

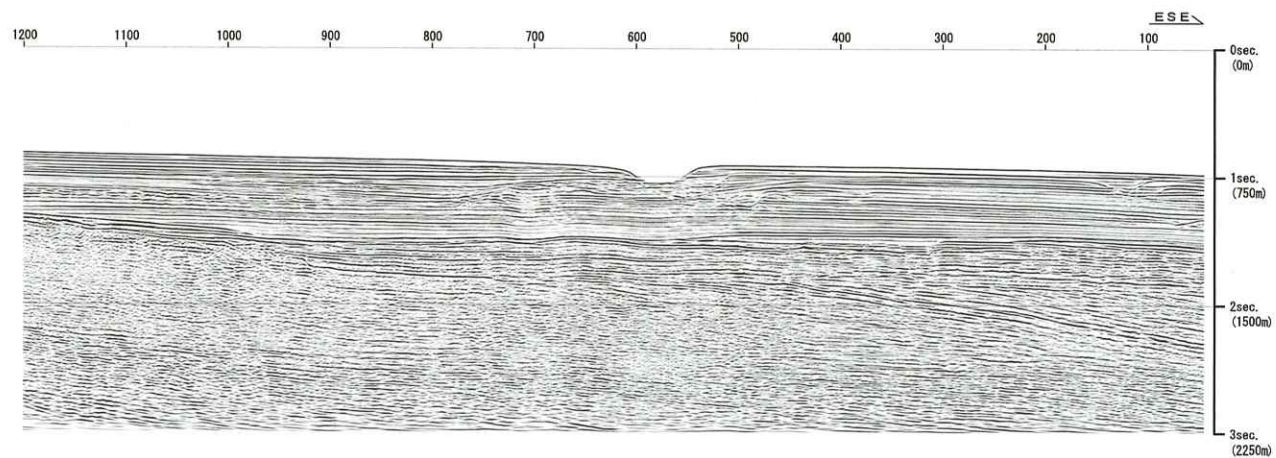
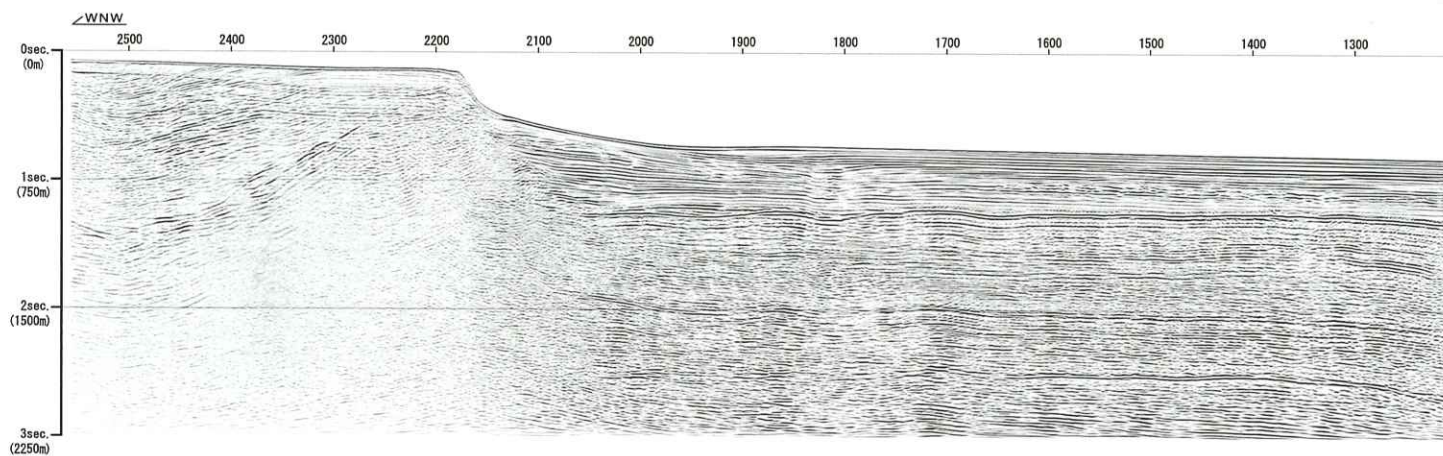
No. C-105

WNW



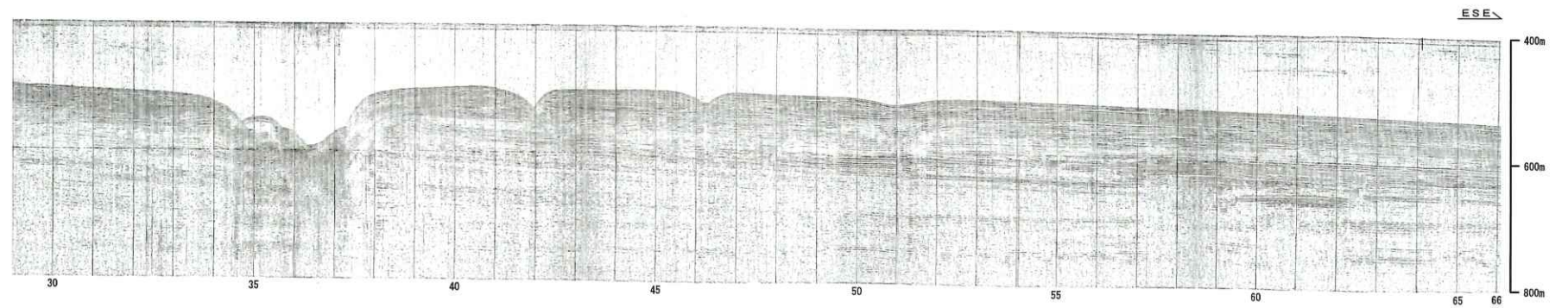
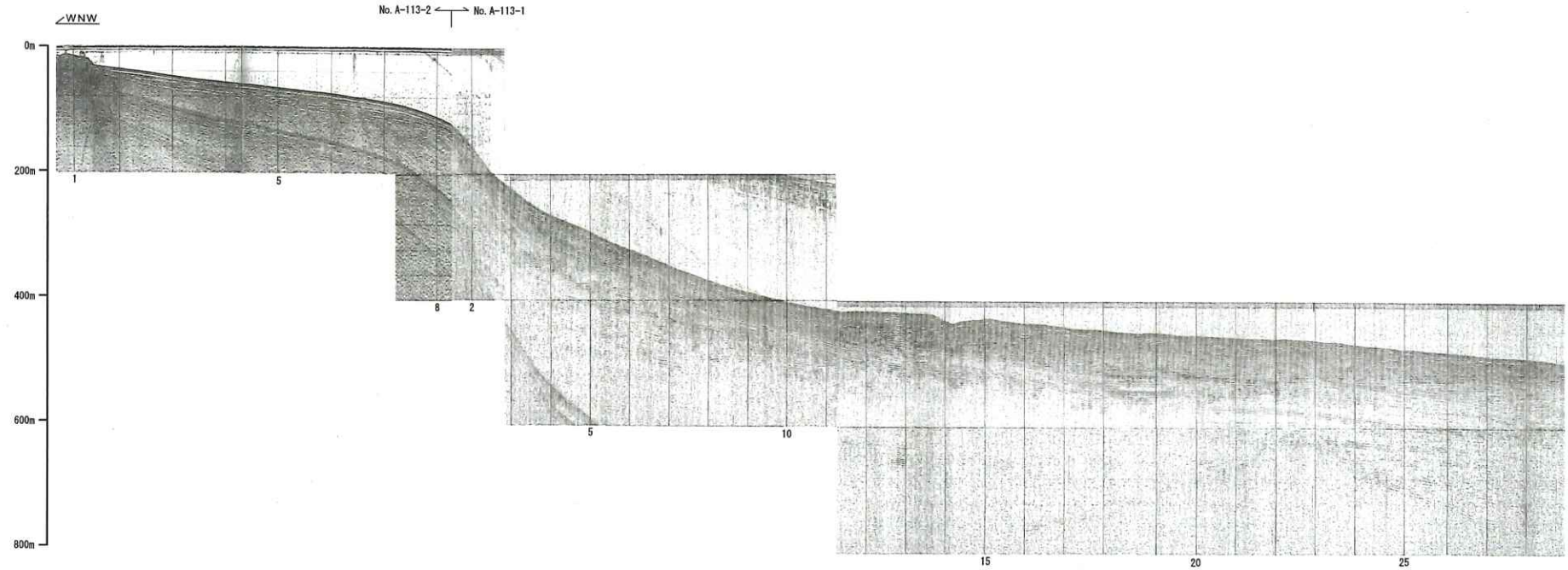
第3. 2-119図(6) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 2



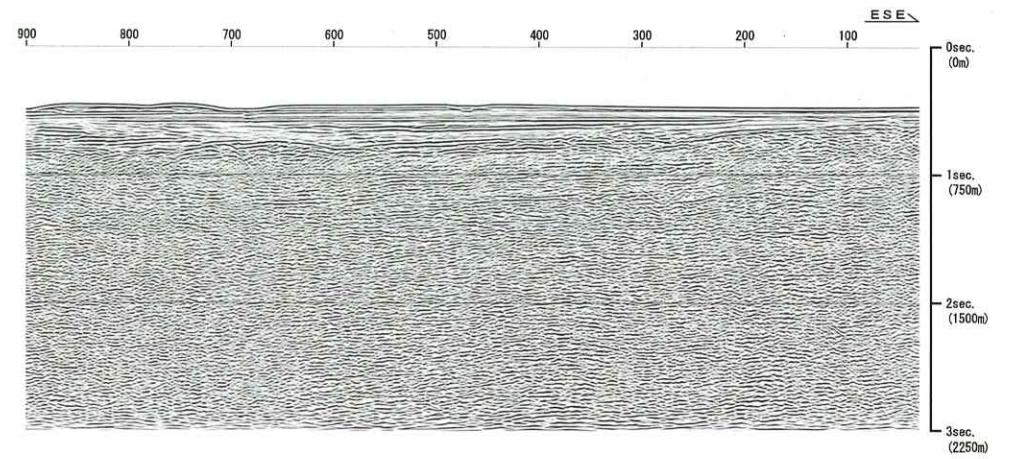
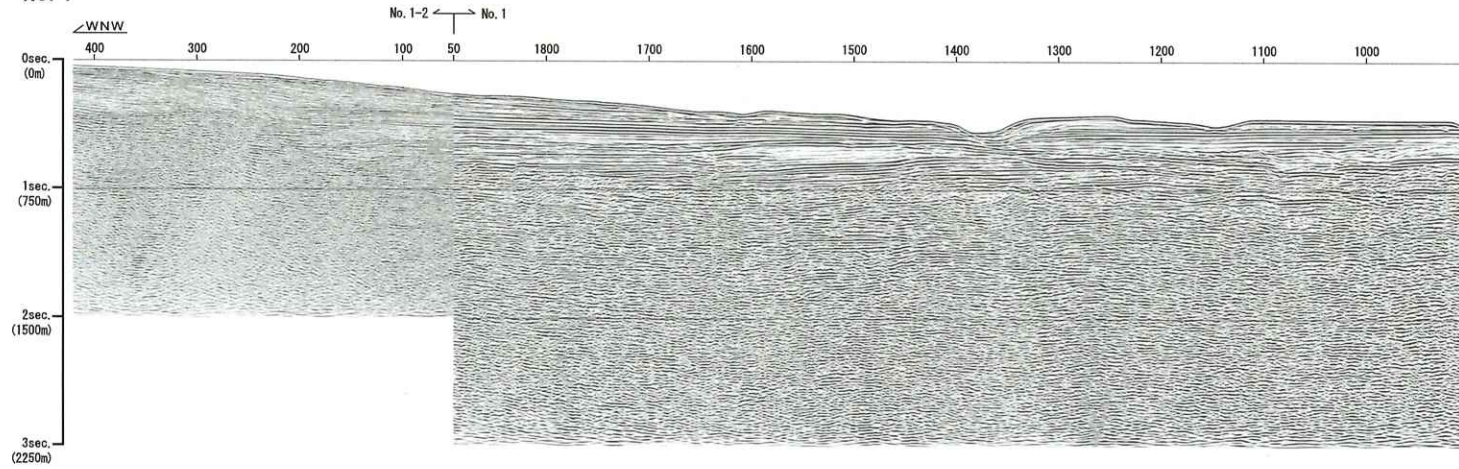
第3.2-119図(7) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. A-113



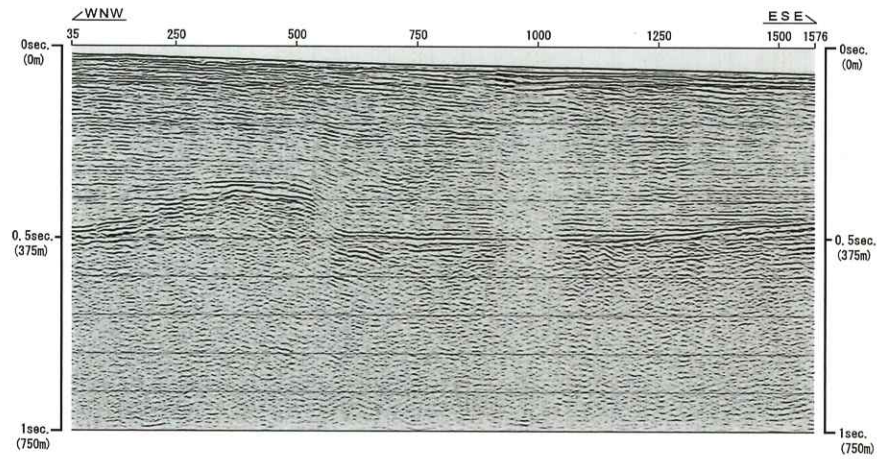
第3.2-119図(8) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 1

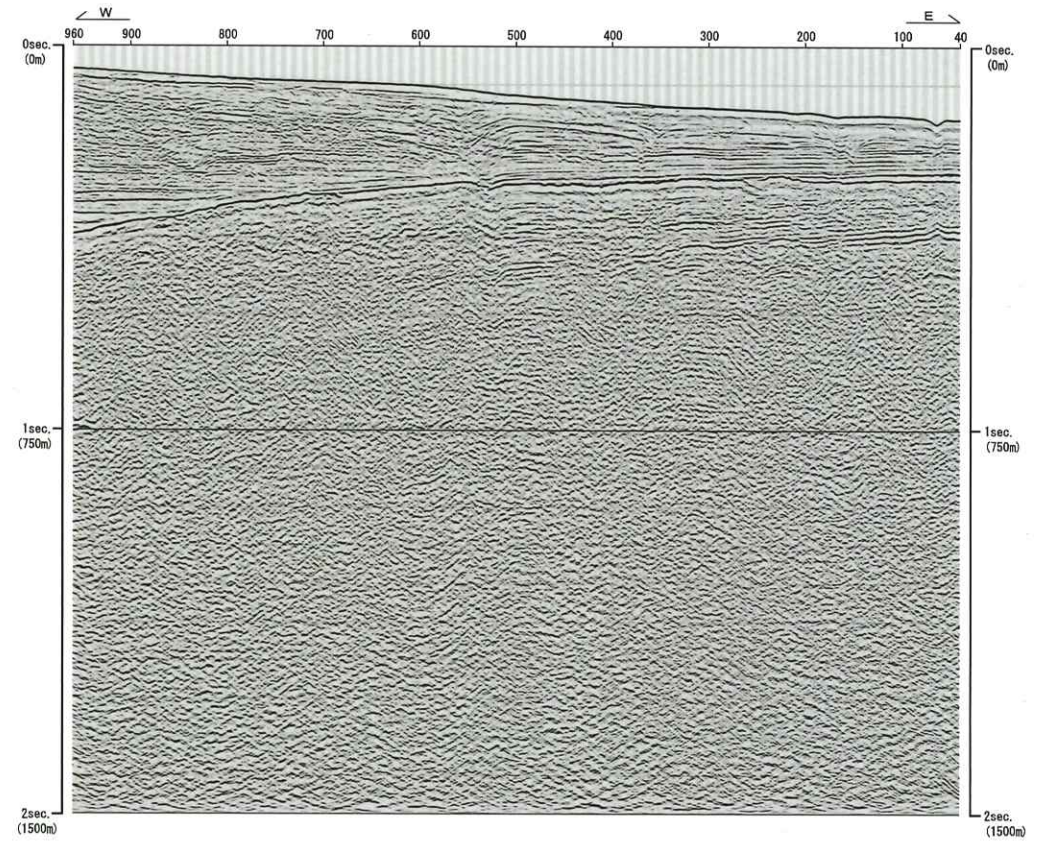


第3. 2-119図(9) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S9.5

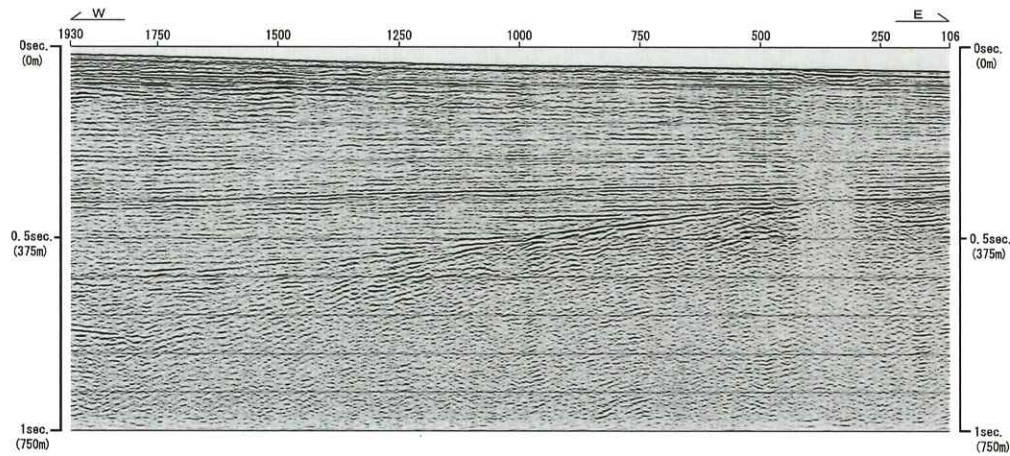


07M3

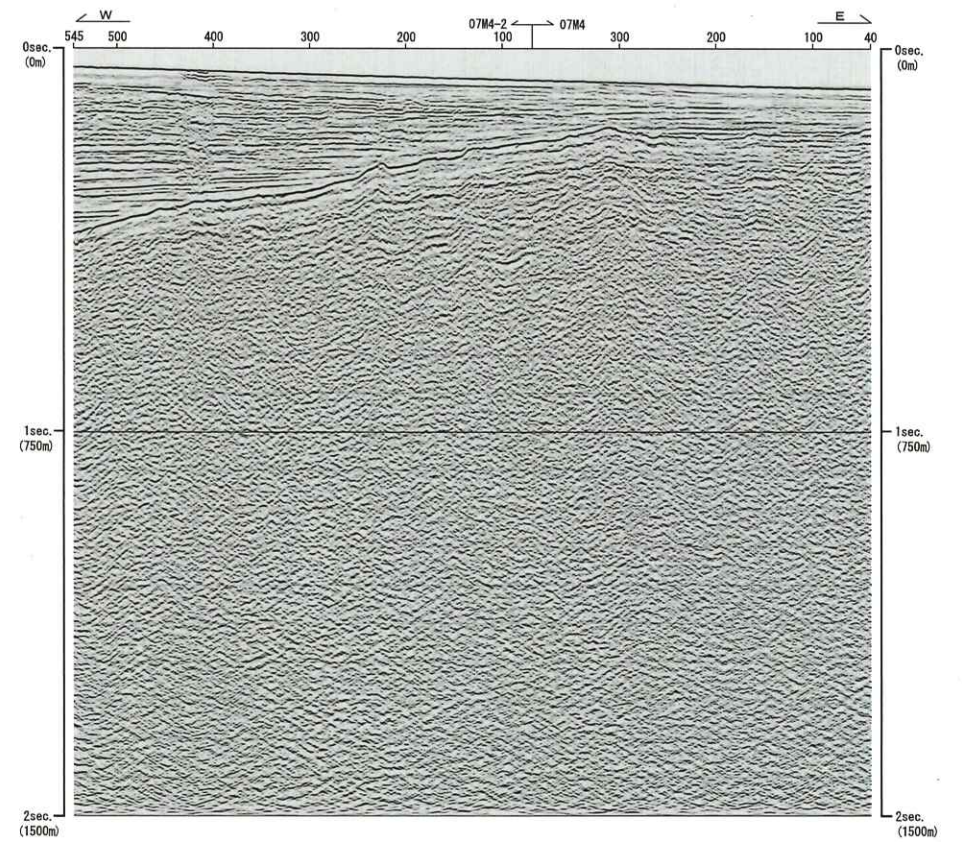


第3.2-119図(10) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S13.5

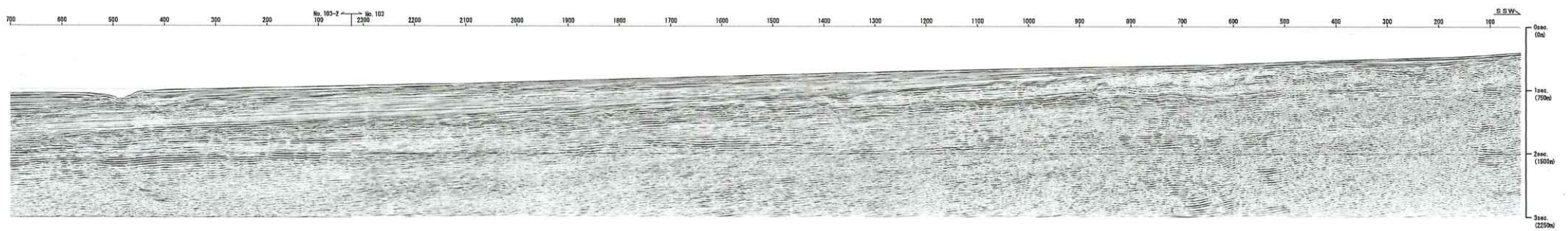
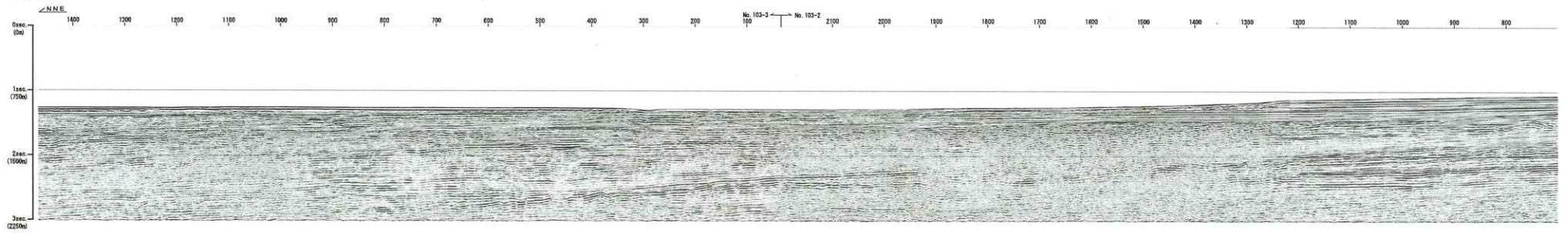


07M4



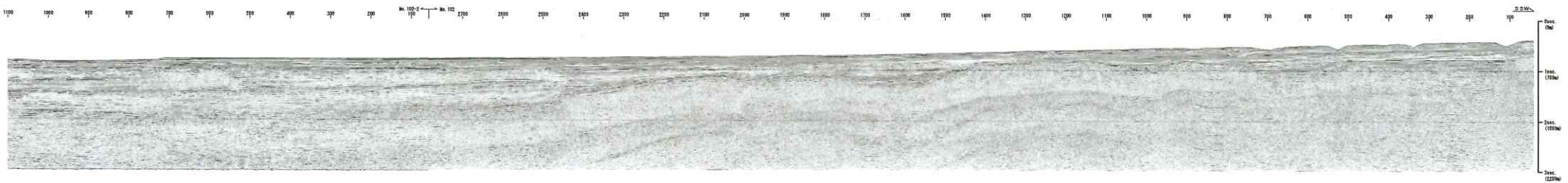
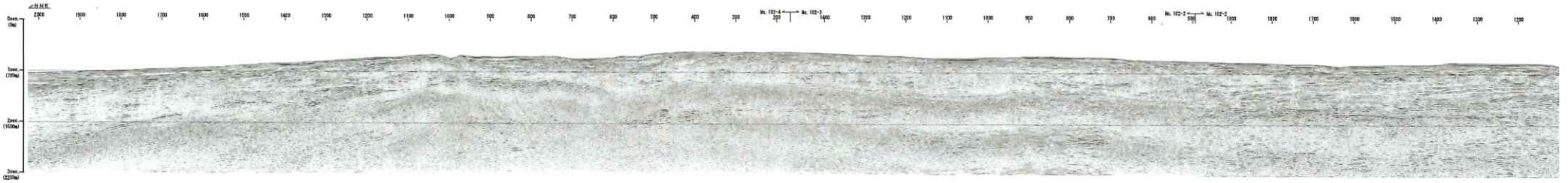
第3.2-119図(11) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 103



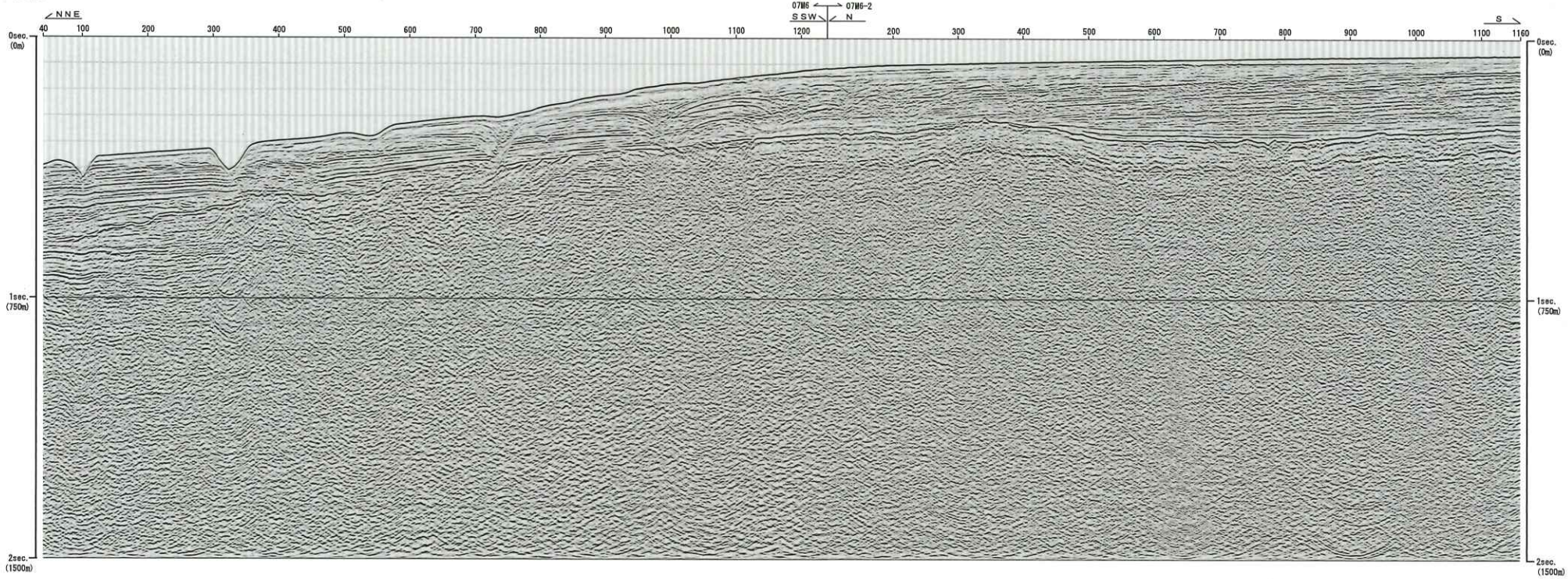
第3.2-119図(12) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 102



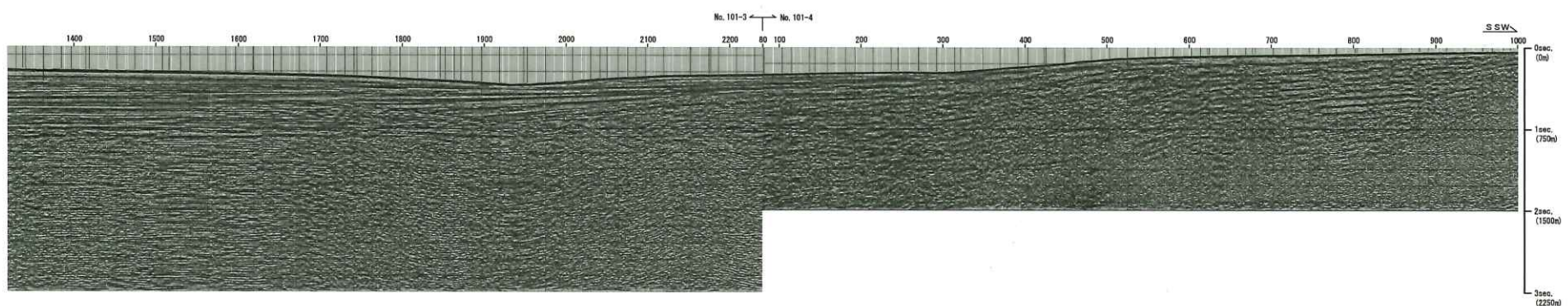
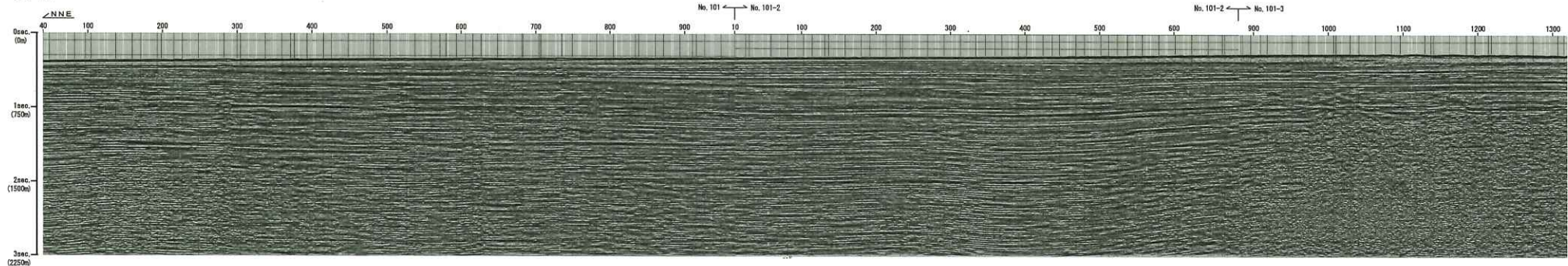
第3.2-119図(13) 敷地周辺海域の音波探査記録

07M6



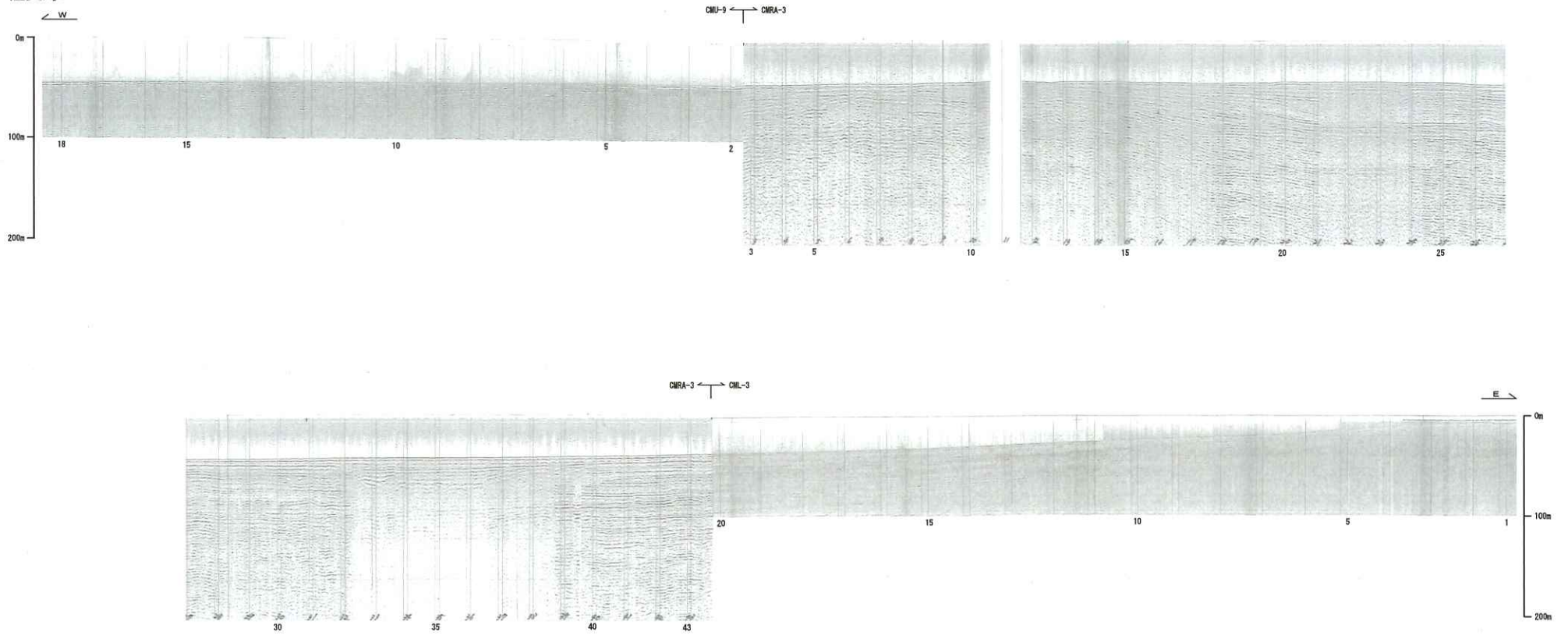
第3. 2-119図(14) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 101



第3.2-119図(15) 敷地周辺海域の音波探査記録

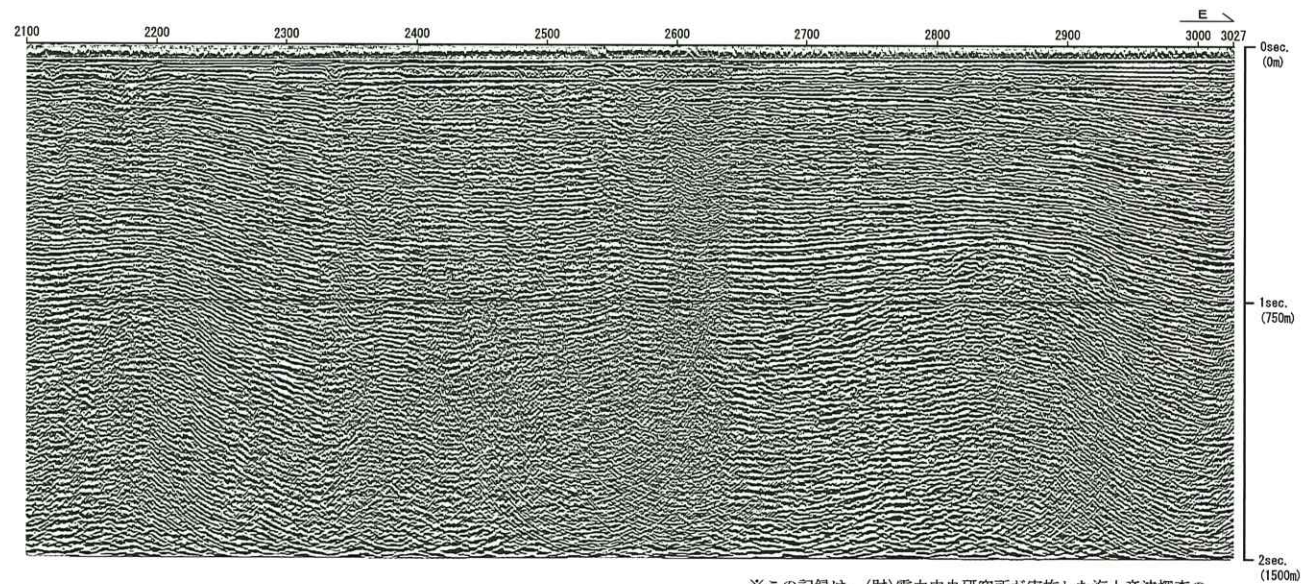
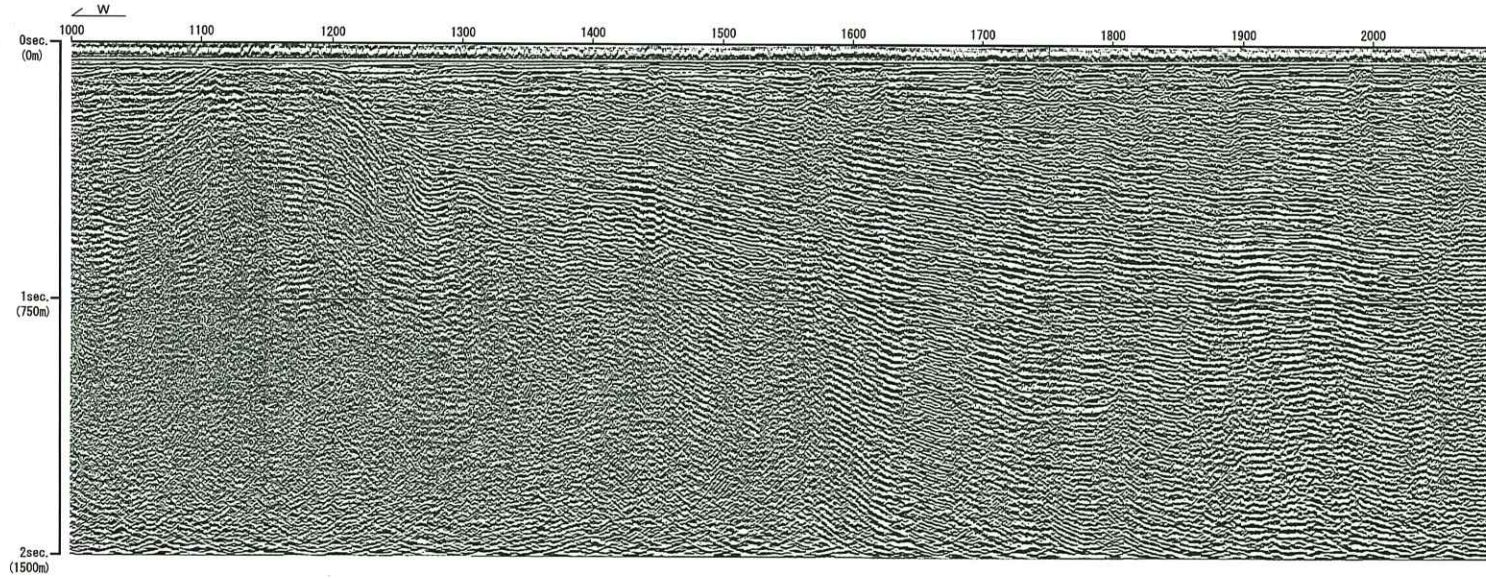
陸奥湾1



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃機が独自に編集したものである。

第3. 2-119図(16) 敷地周辺海域の音波探査記録

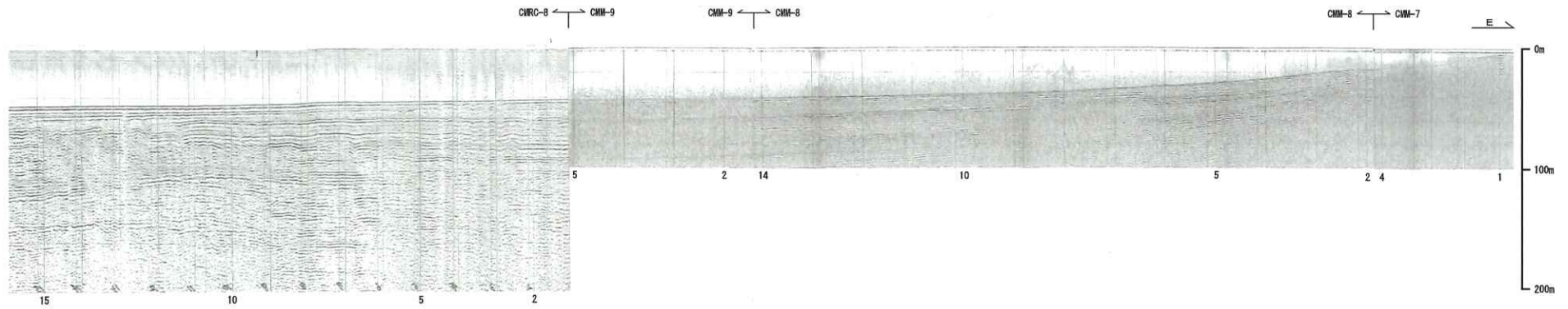
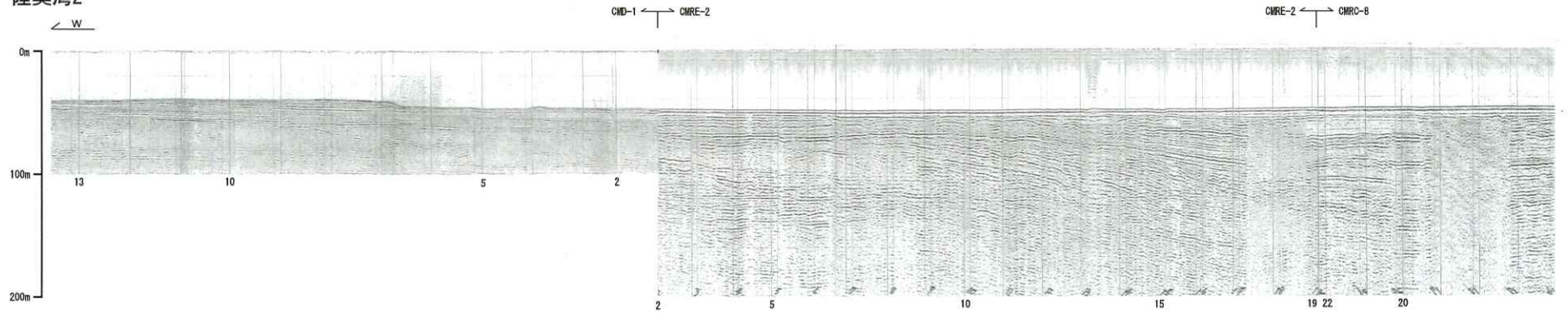
陸奥湾M



※この記録は、(財)電力中央研究所が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃網が独自に編集したものである。

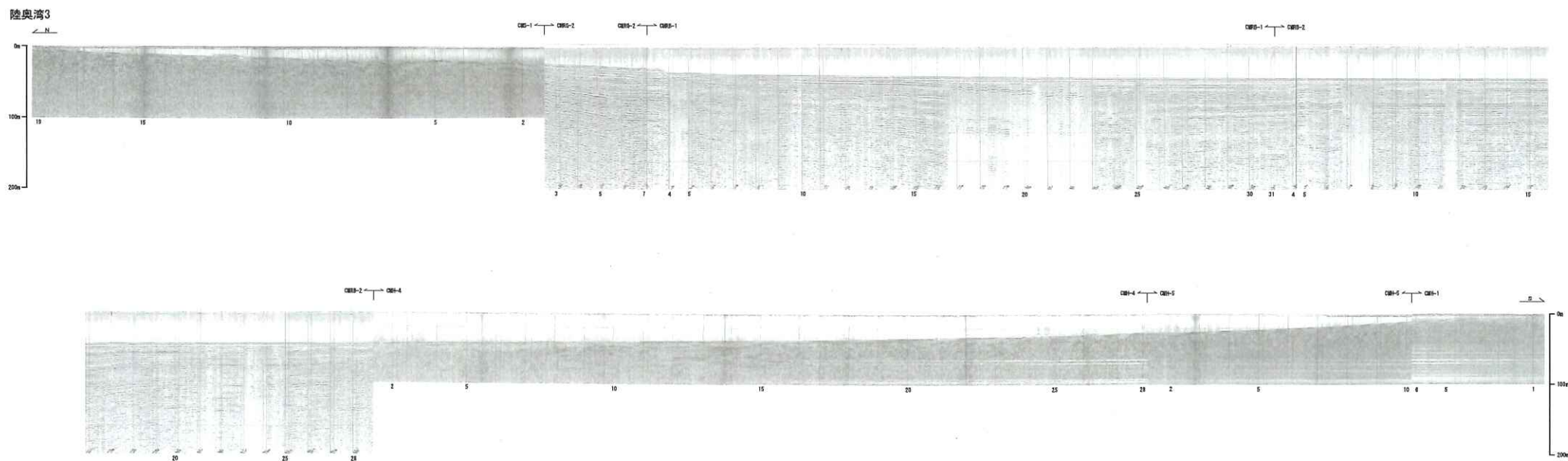
第3.2-119図(17) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾2



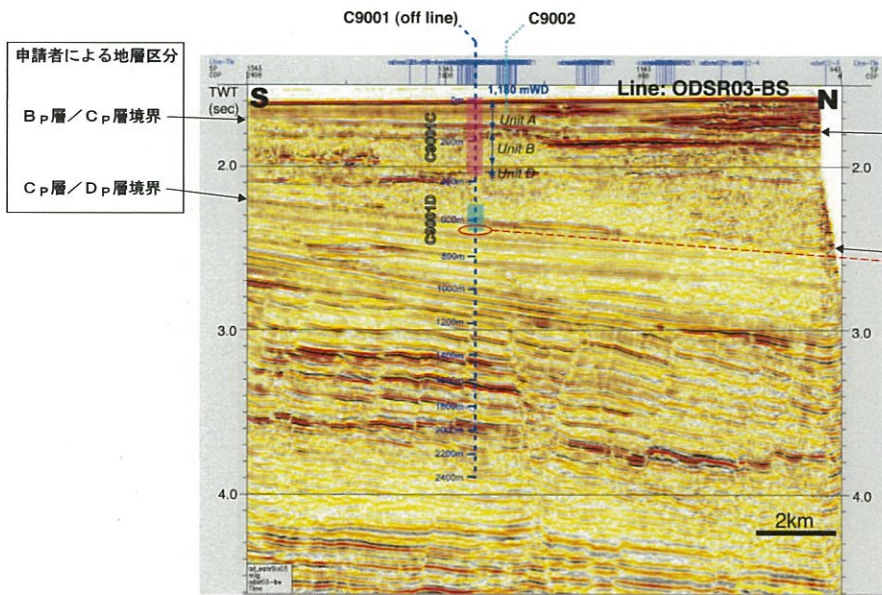
※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃網が独自に編集したものである。

第3.2-119図(18) 敷地周辺海域の音波探査記録



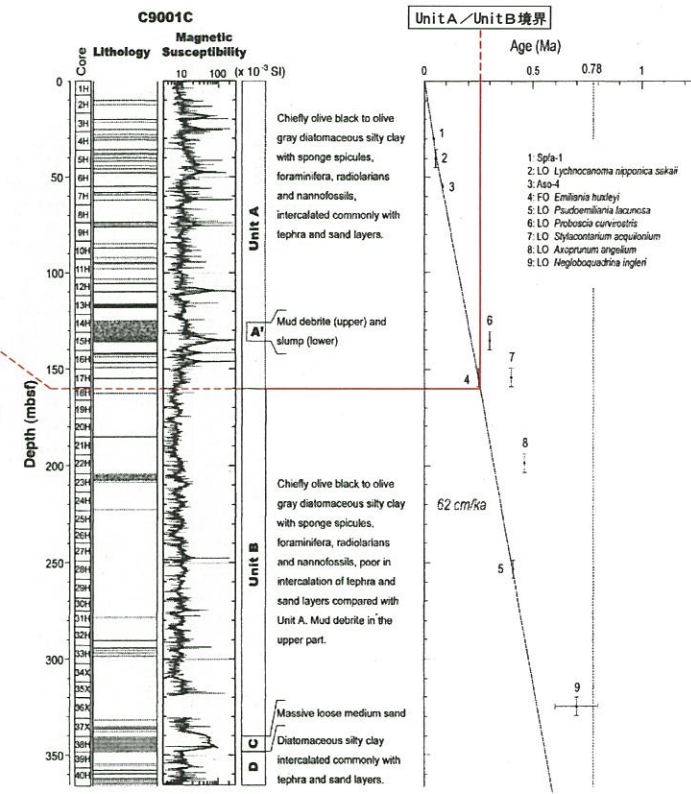
※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原産船が独自に編集したものである。

第3.2-119図(19) 敷地周辺海域の音波探査記録



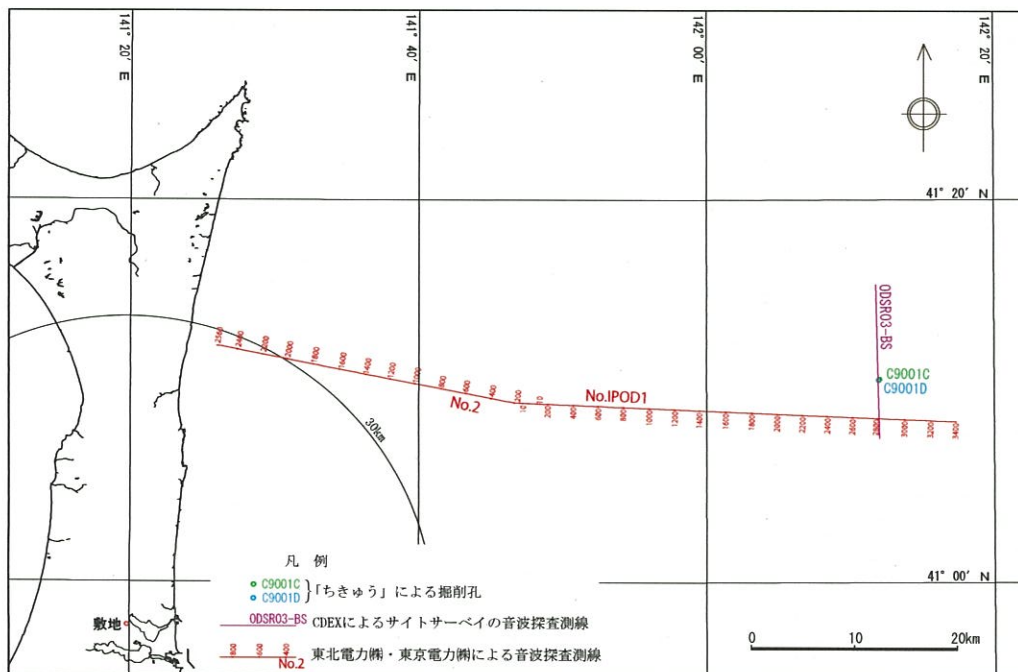
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

C9001C, Dと音波探査記録との対比



青池 (2008)より抜粋・一部加筆

年代モデル



凡例
 ● C9001C 「ちきゅう」による掘削孔
 ● C9001D

— ODSR03-BS CDEXIによるサイトサーベイの音波探査測線
 — No.2 東北電力㈱・東京電力㈱による音波探査測線

List of Stratigraphic events for C9001C and D, determined onboard.

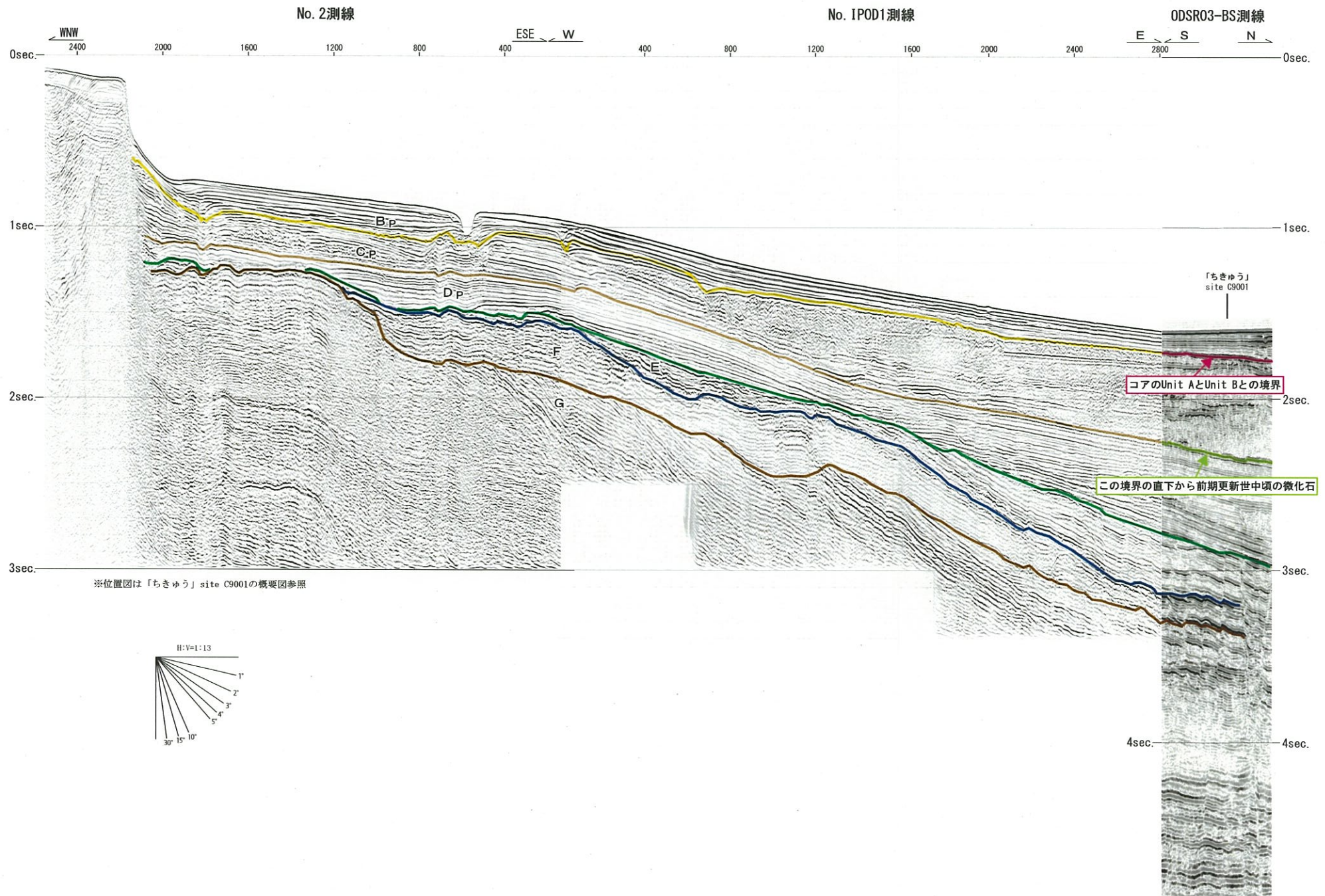
Event	Hole, Core, Section, Interval (cm)		Depth (mbsf)	Age (ka)	Remarks
	Upper limit	Lower limit			
Spfa-1	C9001C-4H-4 57-68cm		34.3	43 ± 1	Tephra
T <i>Lychnocanoma nipponica sakaii</i>	C9001C-4H-CC 34cm	C9001C-5H-CC 36cm	35.3 - 44.9	50	
Aso-4	C9001C-7H-4 40-42.5cm		58.7	87.5 ± 2.5	Tephra
T <i>Stylacostarium acquilonisum</i>	C9001C-16-CC 30cm	C9001C-17-CC 30cm	149.3 - 158.8	400	Rad
T <i>Avoprunum angelinum</i>	C9001C-21H-CC 34cm	C9001C-22H-CC 18cm	193.9 - 203.3	460 ± 40	Rad
T <i>Neogloboquadrina ingleri</i>	C9001C-35X-CC 13cm	C9001C-37X-CC	319.2 - 337.8	800 ± 100	Foram
B large <i>Gephyrocapsa</i> spp. = B medium <i>Gephyrocapsa</i> spp.	C9001D-25SMW		642 - 647	(1700 - 1480)	Nanno

Note: T = top, B = bottom, Rad = radiolarians, Foram = planktonic foraminifera, and Nanno = calcareous nanofossils. Analyses for identification of two known tephra were done using samples from C9001A and C9002B. Spfa-1 (Shikotsu-daichi Tephra) is based on analyses at the Kyoto Fission Track Co. Ltd. (CDEX, unpublished) and by Masago (unpublished data). Aso-4 (Aso-daiyon Tephra) was also identified by Masago (unpublished data). Brunhes-Matuyama boundary horizon (780 ka) was not found within Hole C9001C.

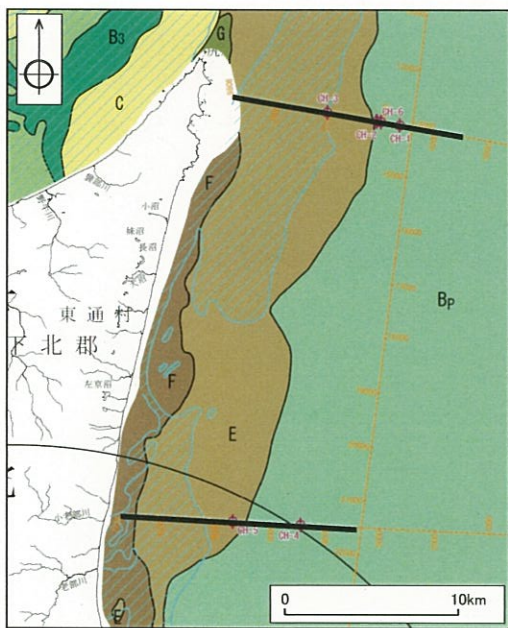
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

年代指標

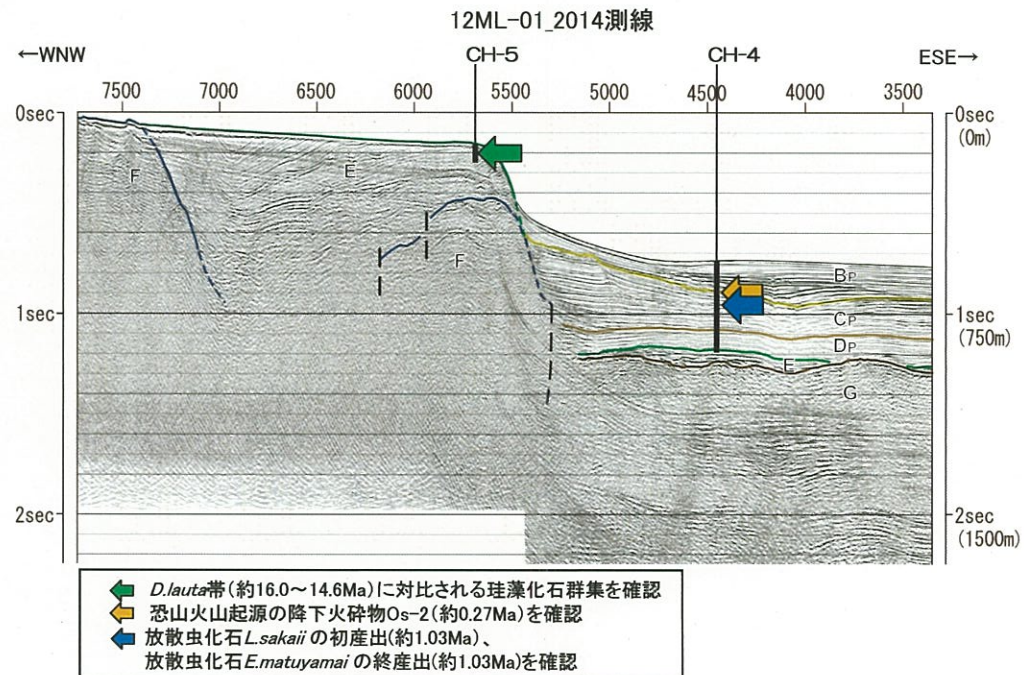
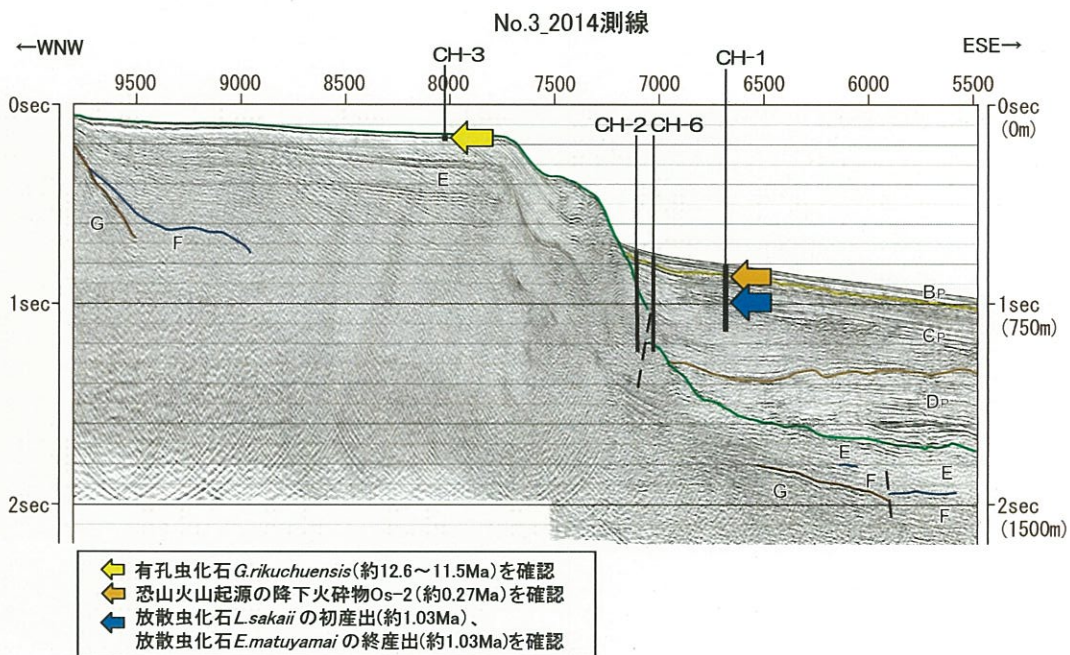
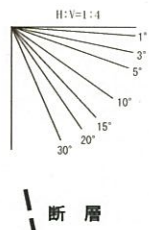
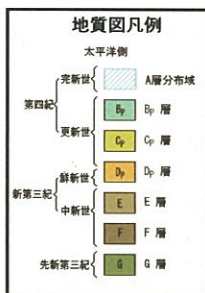
第3.2-120図(1) 「ちきゅう」 site C9001の概要図



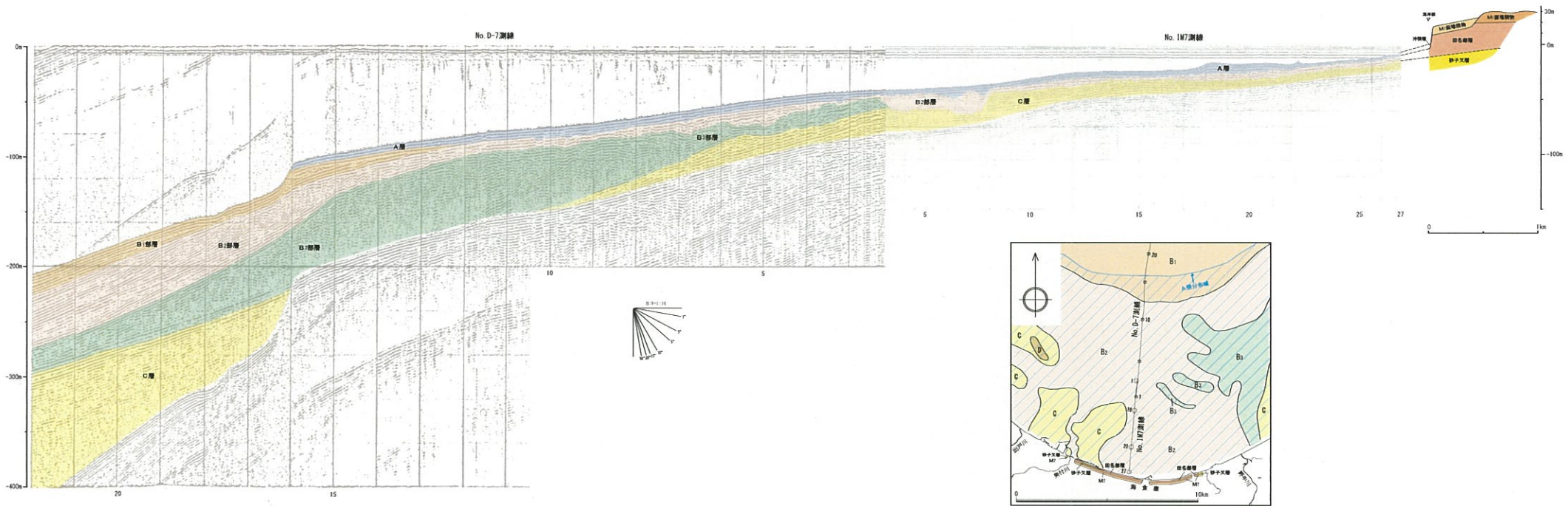
第3. 2-120図(2) 敷地周辺海域の地層区分と「ちきゅう」 site C9001との対比図



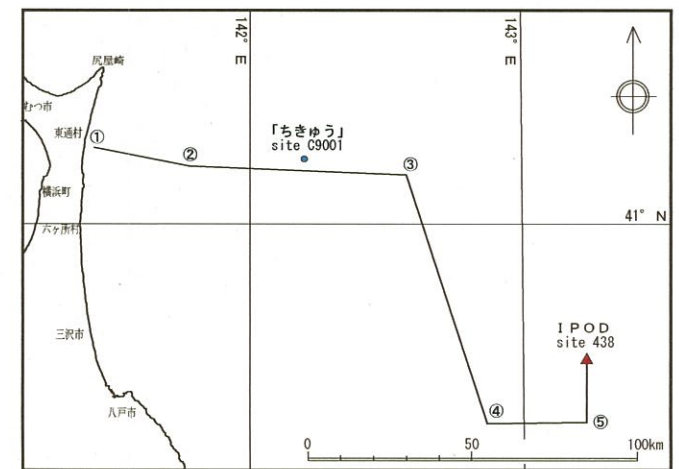
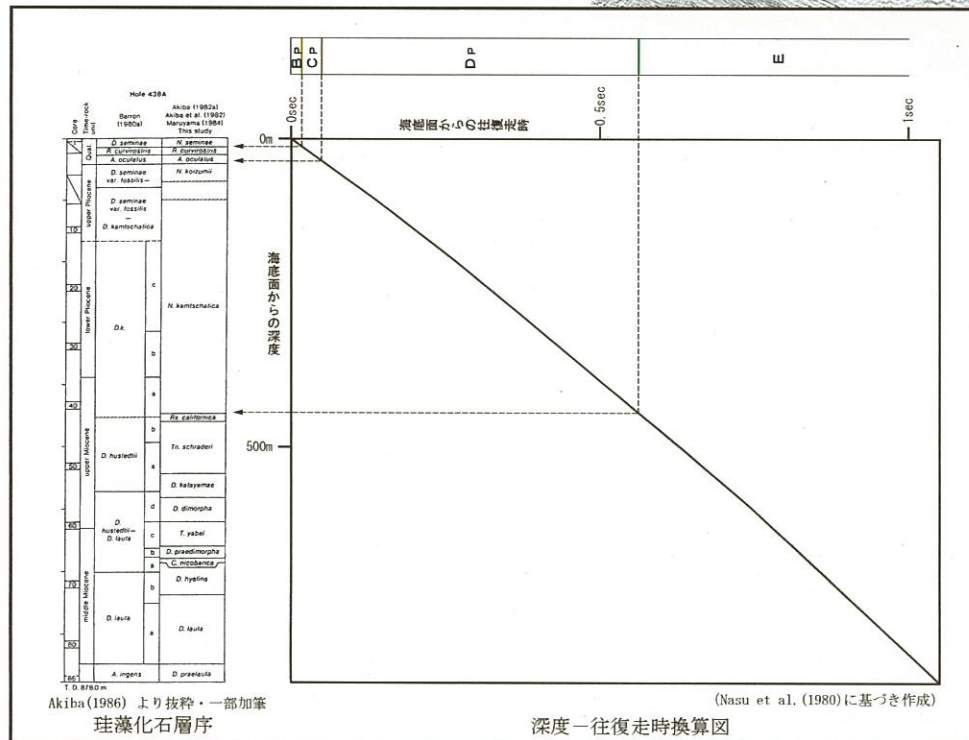
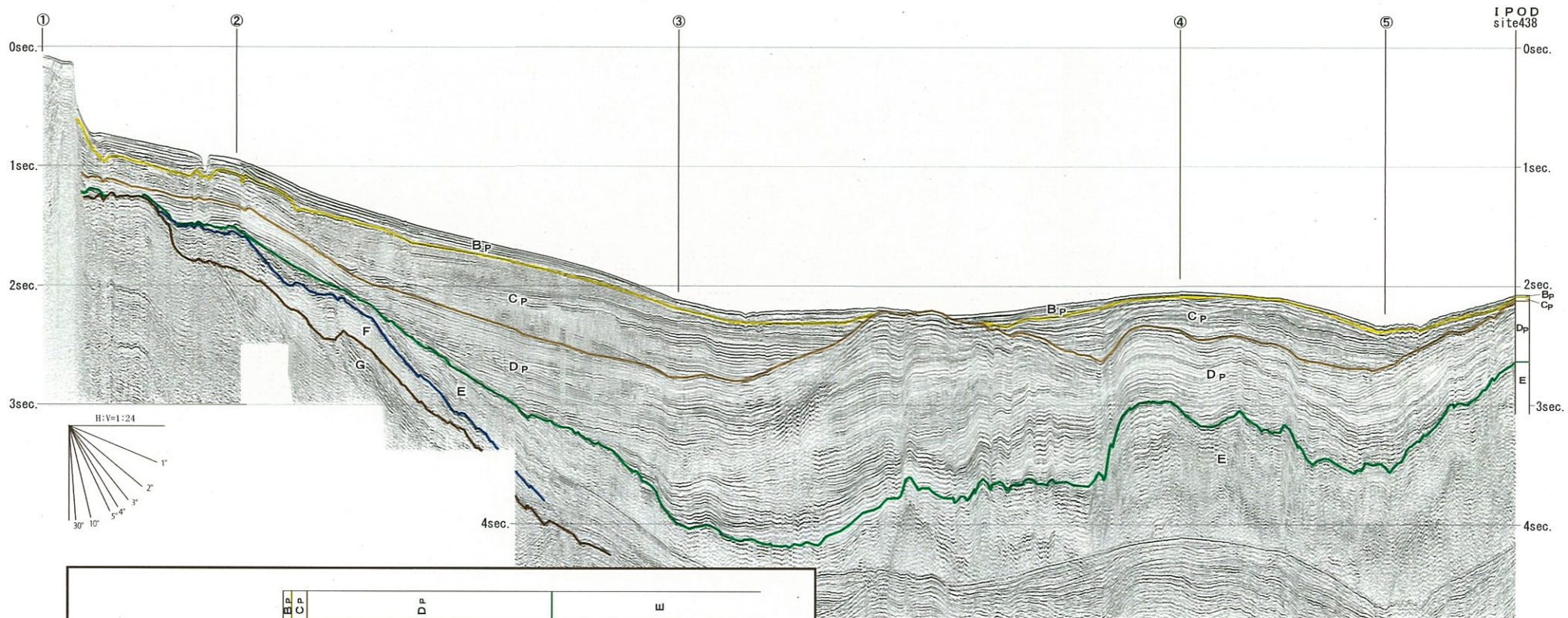
測線位置図 測線位置



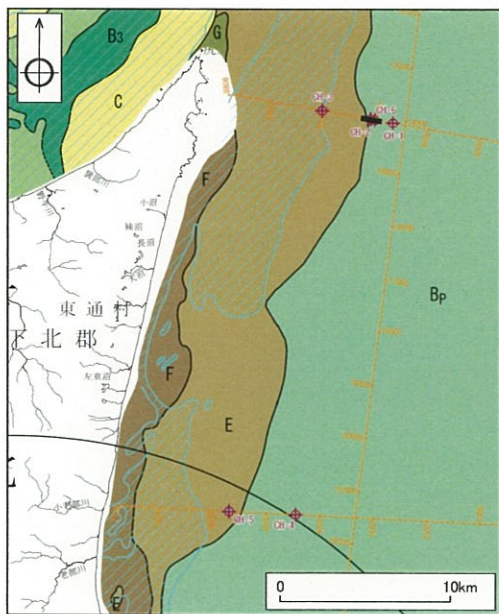
第3.2-121図 尻屋崎沖及び東通村老部川沖の海上ボーリング調査結果図



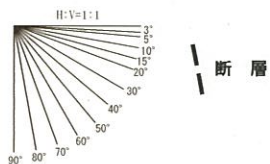
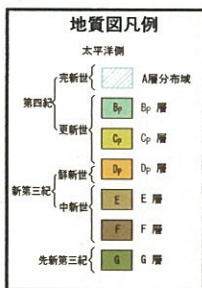
第3.2-122図 津軽海峡沿岸におけるB層の状況図



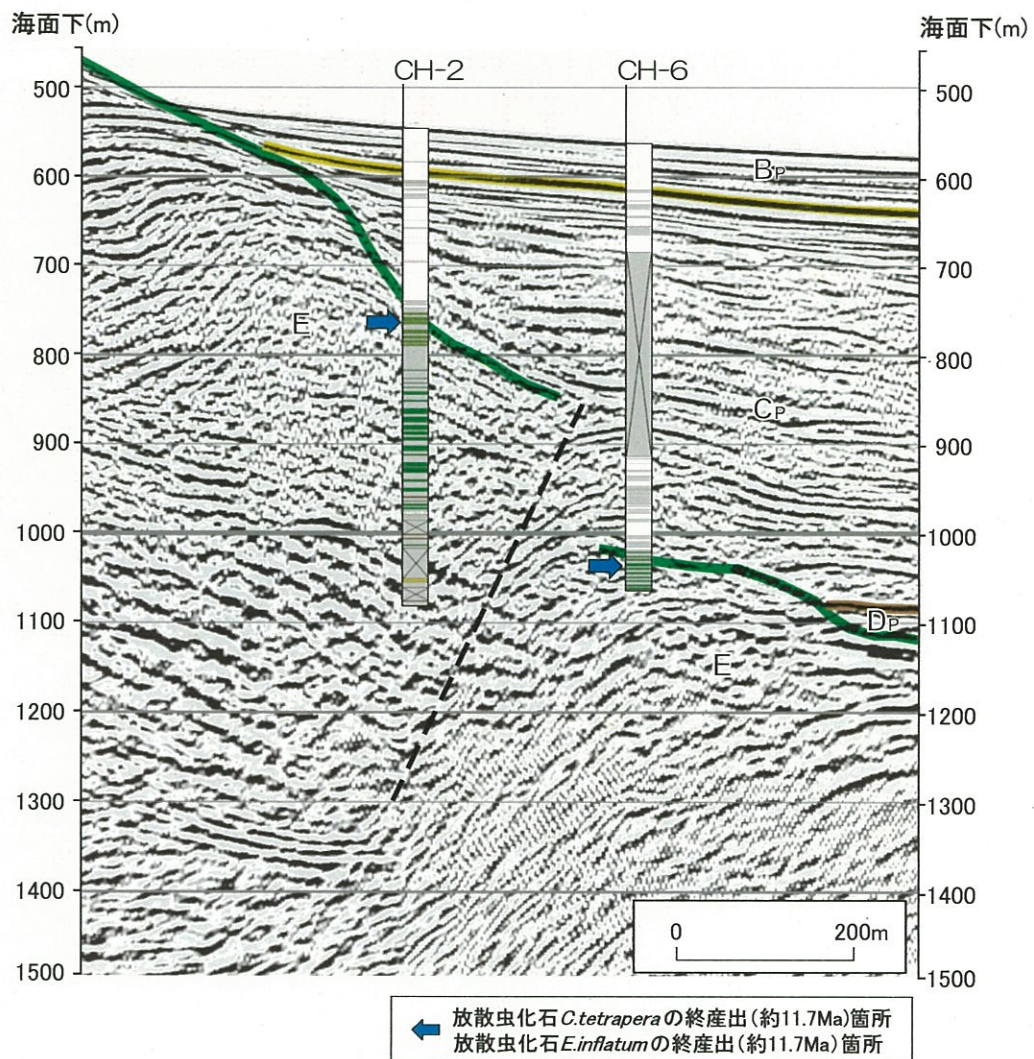
第3.2-123図 敷地周辺海域の地層区分と IPOD site 438 との対比図



測線位置図 測線位置



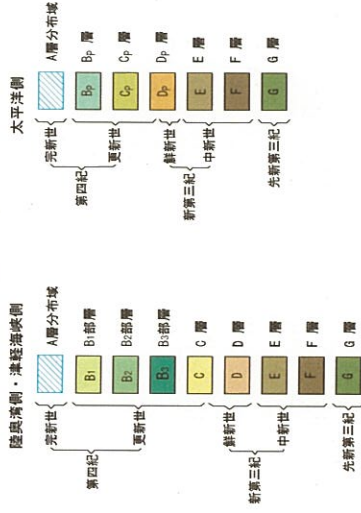
No.3_2014測線(深度断面)



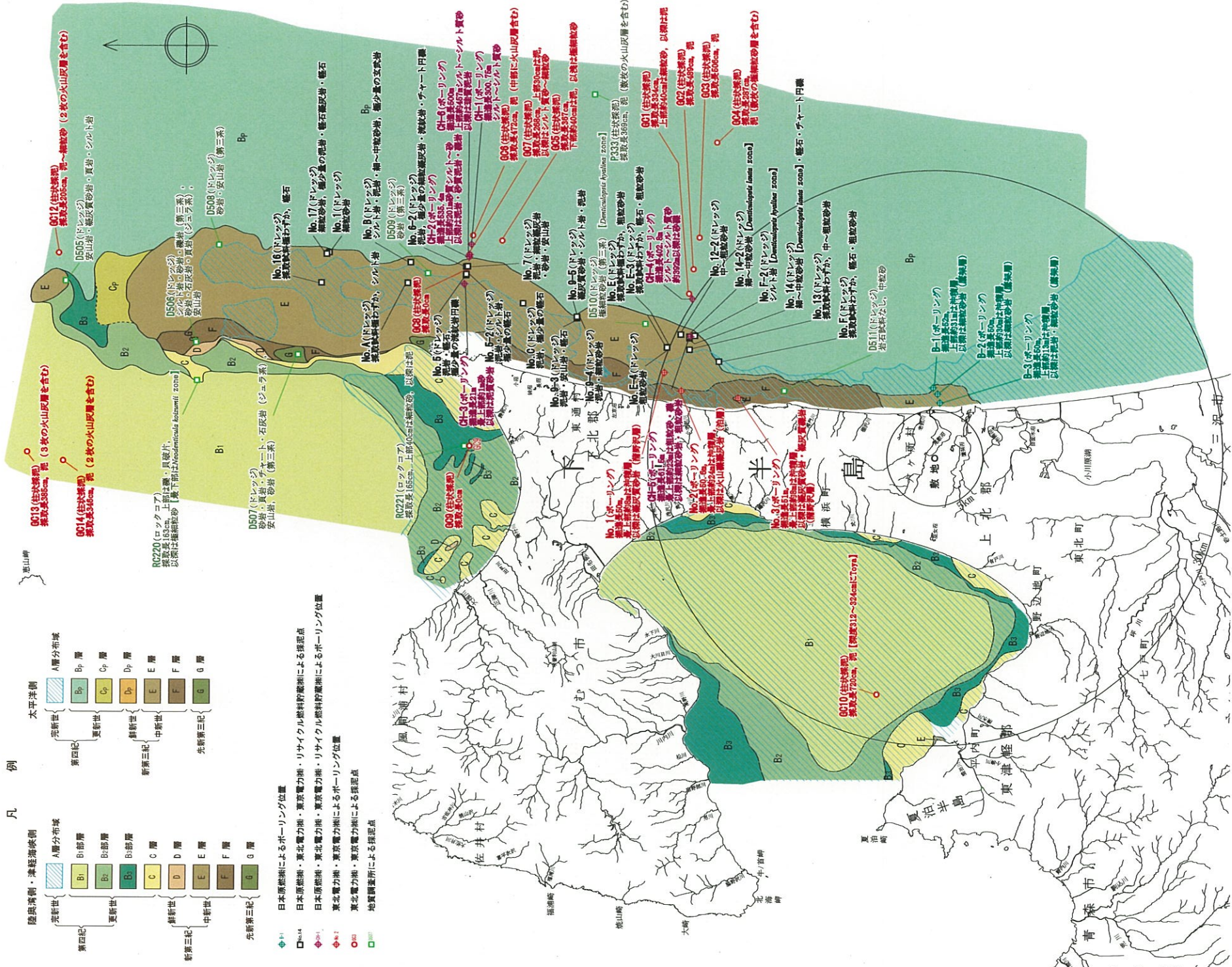
← 放散虫化石 *C.tetrapera* の終産出(約11.7Ma)箇所
 放散虫化石 *E.inflatum* の終産出(約11.7Ma)箇所

第 3. 2-124 図 尻屋崎沖の急斜面基底部付近のE層の分布図

凡例

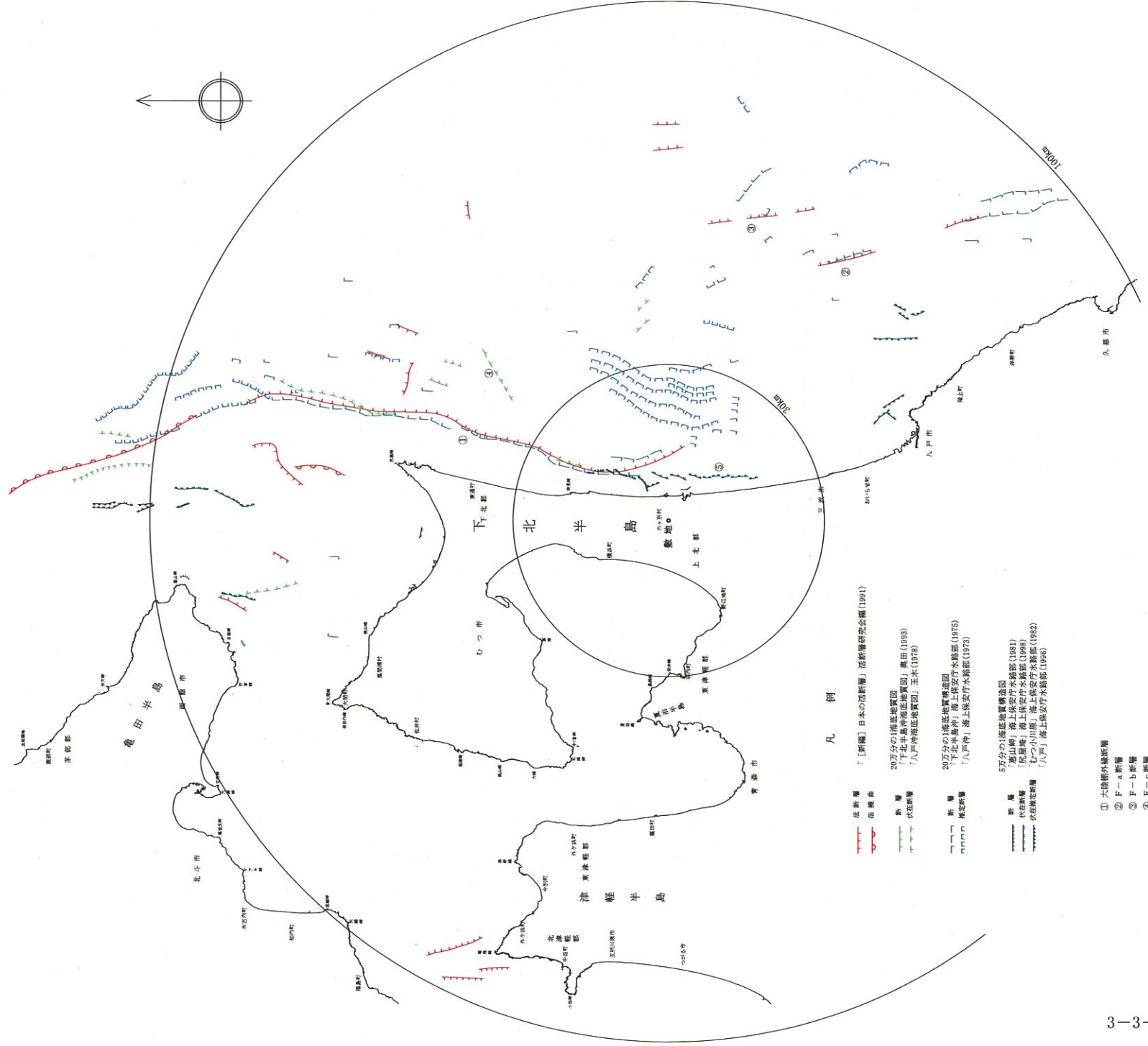


- ◆ 日本原産樹種によるボーリング位置
- No.14 日本原産樹種・東北電力株・東京電力株・リサイクル燃料貯蔵庫による採定点
- ◆ No.1 日本原産樹種・東北電力株・東京電力株・リサイクル燃料貯蔵庫によるボーリング位置
- ◆ No.2 東北電力株・東京電力株によるボーリング位置
- ◆ No.3 東北電力株・東京電力株によるボーリング位置
- ◆ No.4 地質調査所による採定点



第3.2-125図 敷地周辺海域における試料採取結果図

50km



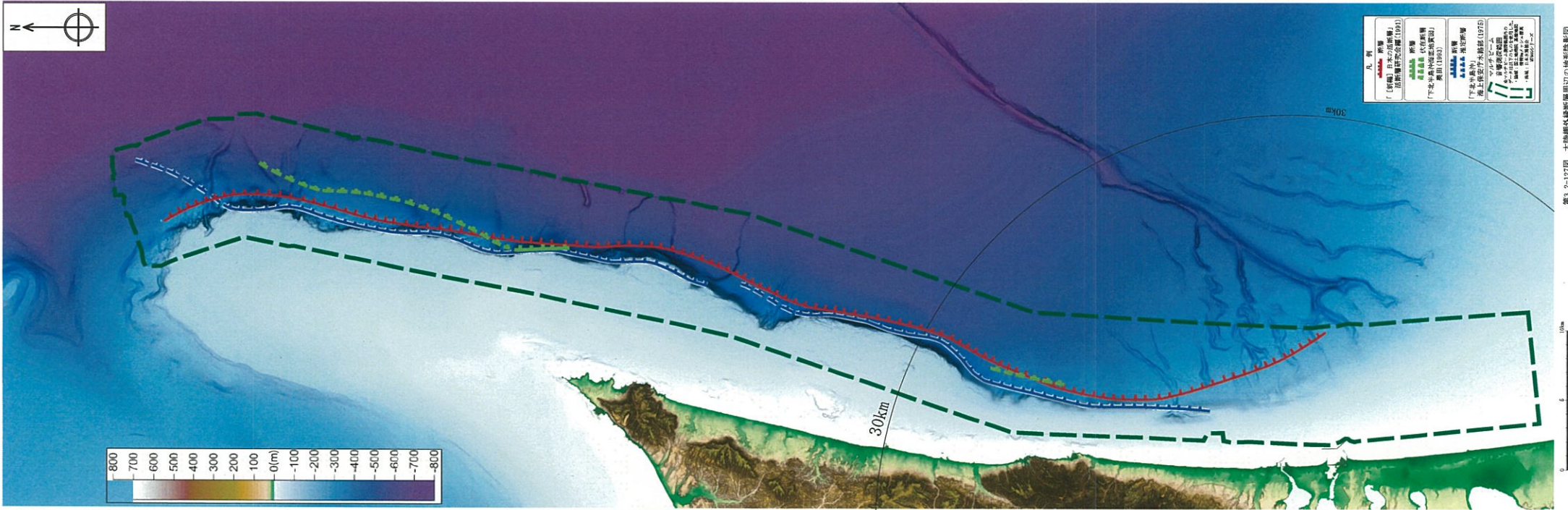
凡例

- 活断層 「〔新編〕日本の活断層」活断層研究会編(1991)
- 活断層 「〔新編〕日本の活断層」活断層研究会編(1991)
- 断層 20万分の1海陸地質図
- 断層 「下北半島沖地質構造図」奥田(1983)
- 断層 「八戸沖地質構造図」玉木(1978)
- 断層 20万分の1海陸地質構造図
- 断層 「下北半島沖」海上保安庁水防部(1975)
- 断層 「八戸沖」海上保安庁水防部(1973)
- 断層 5万分の1海陸地質構造図
- 断層 「奥山沖」海上保安庁水防部(1981)
- 断層 「尻屋崎」海上保安庁水防部(1996)
- 断層 「小川」海上保安庁水防部(1982)
- 断層 「八戸」海上保安庁水防部(1986)

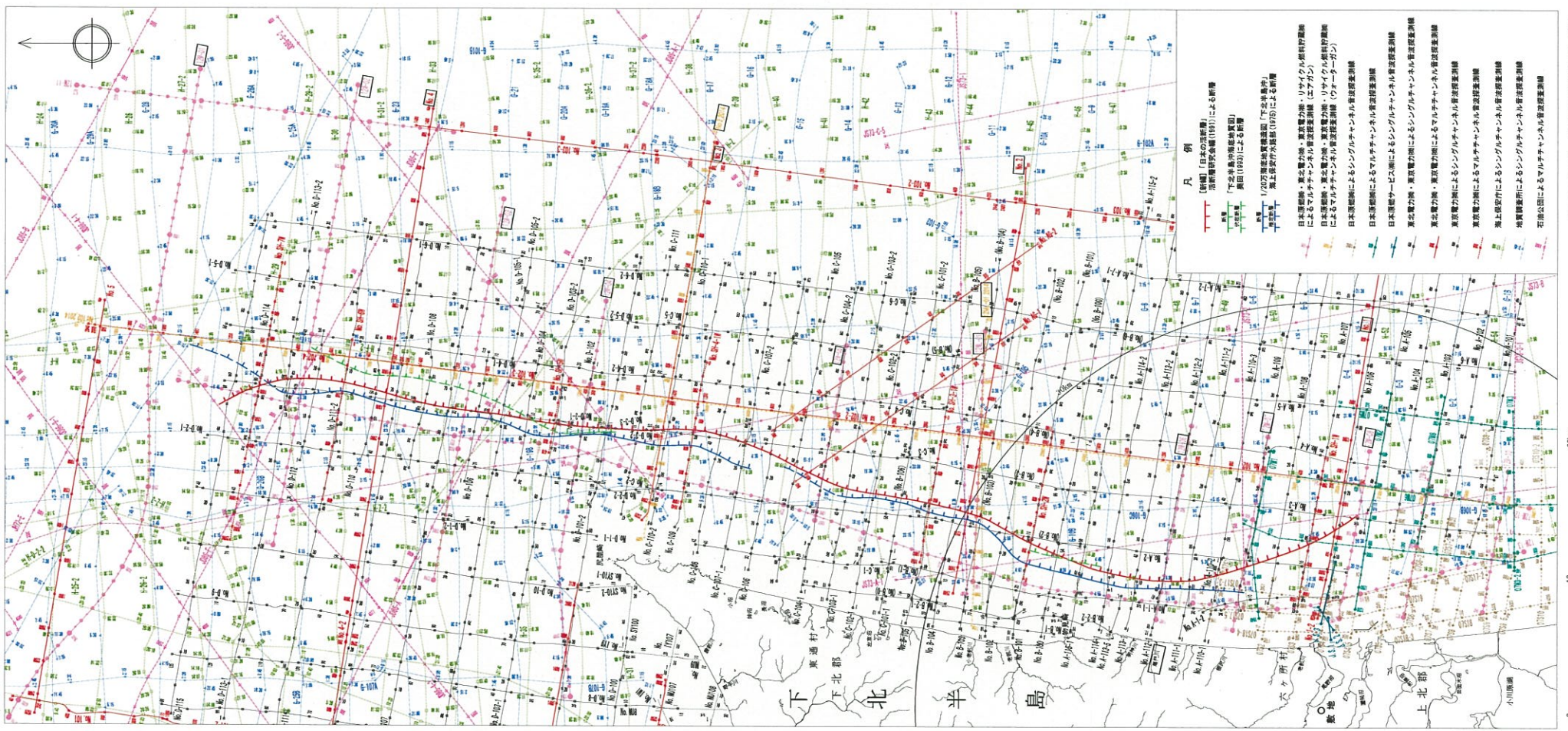
- ① 六ヶ所外断層
- ② F-a断層
- ③ F-b断層
- ④ F-c断層
- ⑤ F-d断層



第3.2-126図 文献による敷地周辺海域の断層分布図

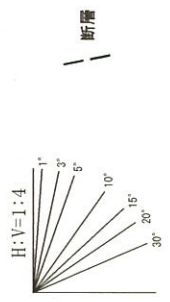
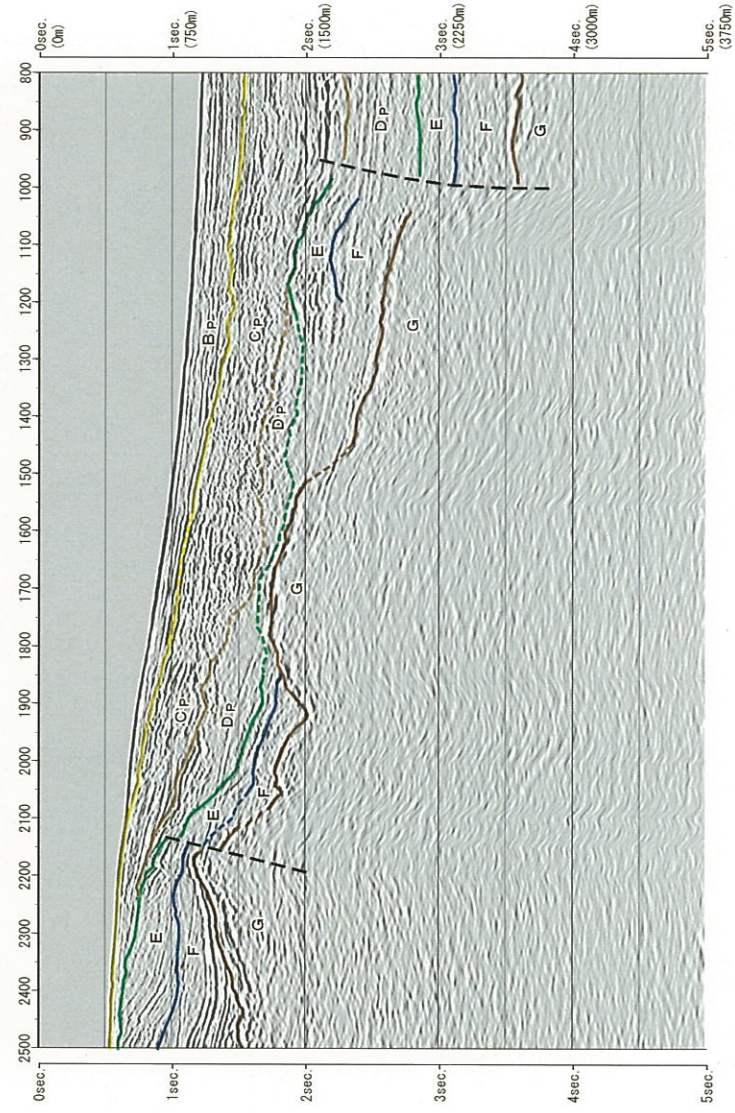
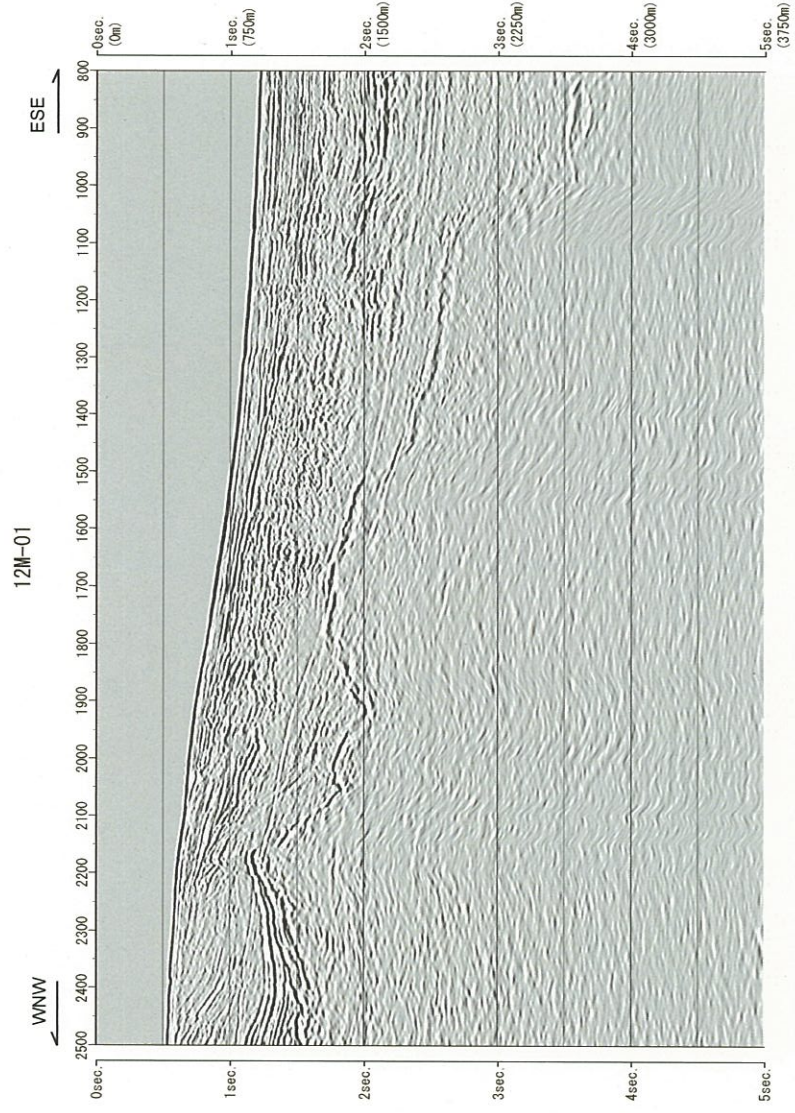


第3.2-127図 大瀬湾外縁断面周辺の地形地形図

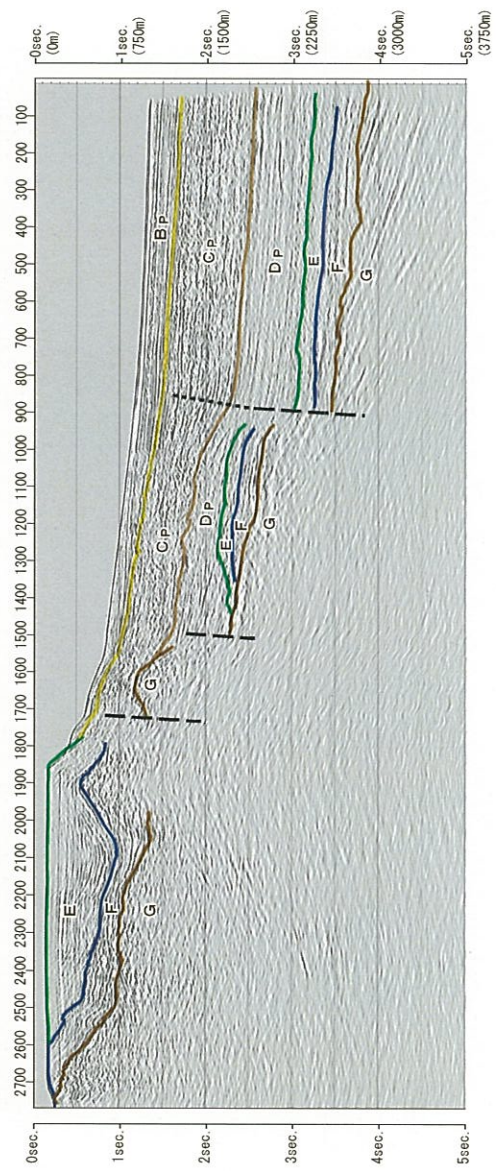
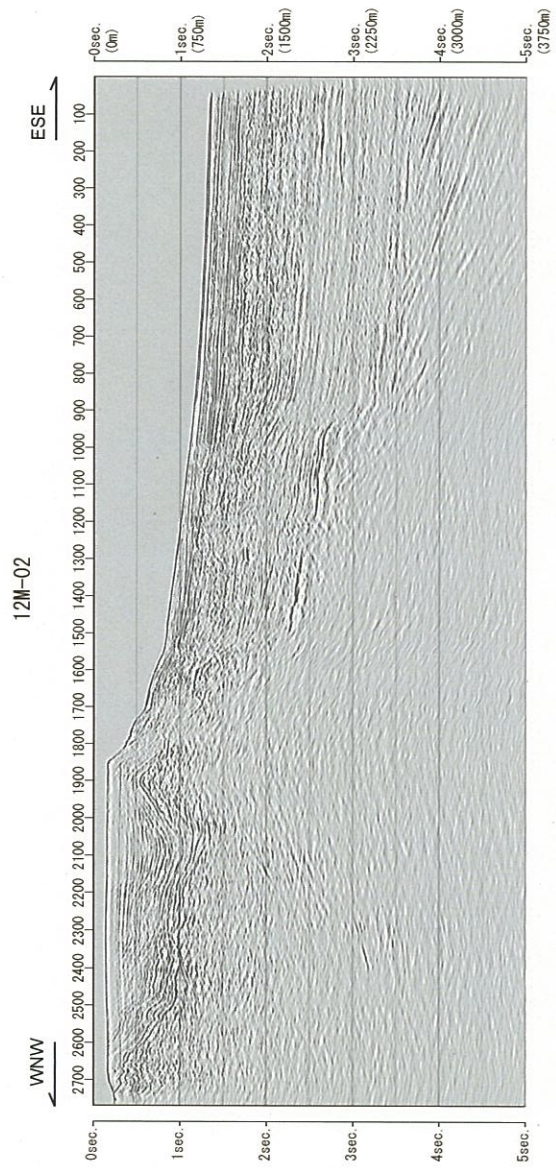


- 凡 例**
- [新編] 日本の送電網 (1981)による新編
 - [改訂] 日本送電網 (1981)による新編
 - 「下北半島外縁部地帯」による新編
 - 島田 (1983)による新編
 - 1/20万地形図 (1981)による新編
 - 海上保安庁水産部 (1981)による新編
- 日本送電網・東北電力網・東海電力網・リサイクル燃料貯蔵場によるマルチチャンネル管理送電線 (エアガン)
 日本送電網・東北電力網・東海電力網・リサイクル燃料貯蔵場によるマルチチャンネル管理送電線 (ウォーターガン)
 日本送電網によるマルチチャンネル管理送電線
 日本送電網によるマルチチャンネル管理送電線
 日本送電網・東北電力網によるマルチチャンネル管理送電線
 東北電力網・東海電力網によるマルチチャンネル管理送電線
 東北電力網によるマルチチャンネル管理送電線
 東海電力網によるマルチチャンネル管理送電線
 海上保安庁によるマルチチャンネル管理送電線
 地質院によるマルチチャンネル管理送電線
 石炭公社によるマルチチャンネル管理送電線

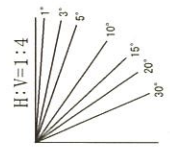
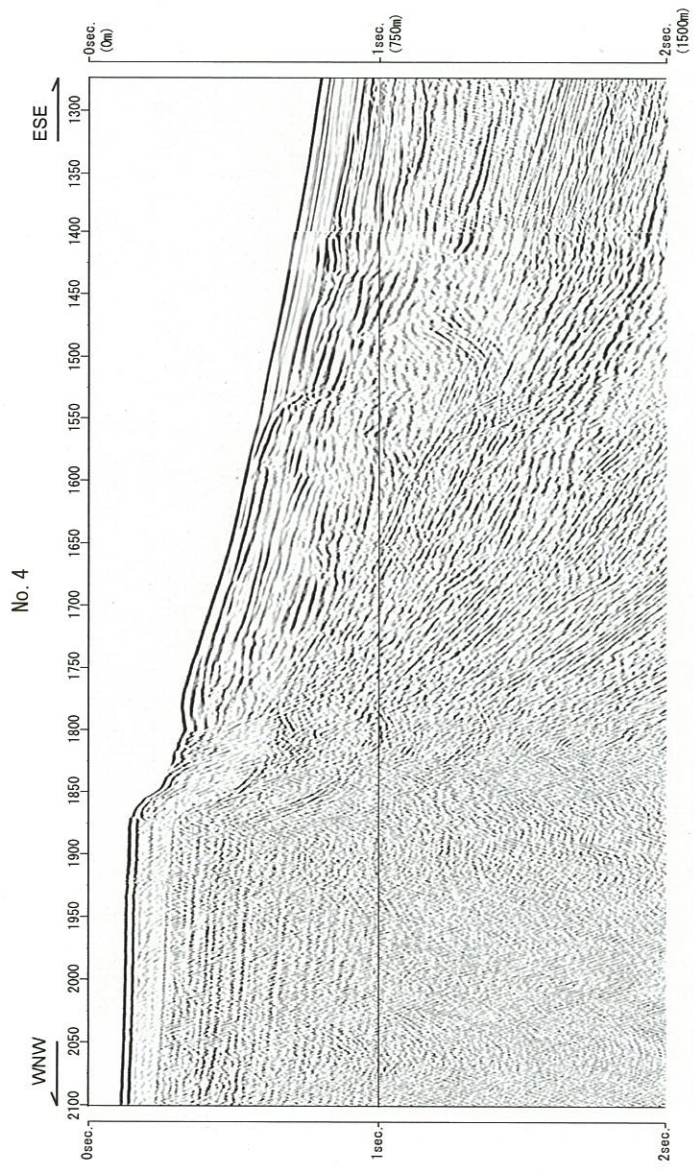
第3.2-128図 大嶺橋外縁部位置図



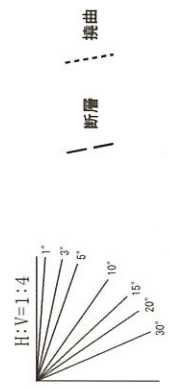
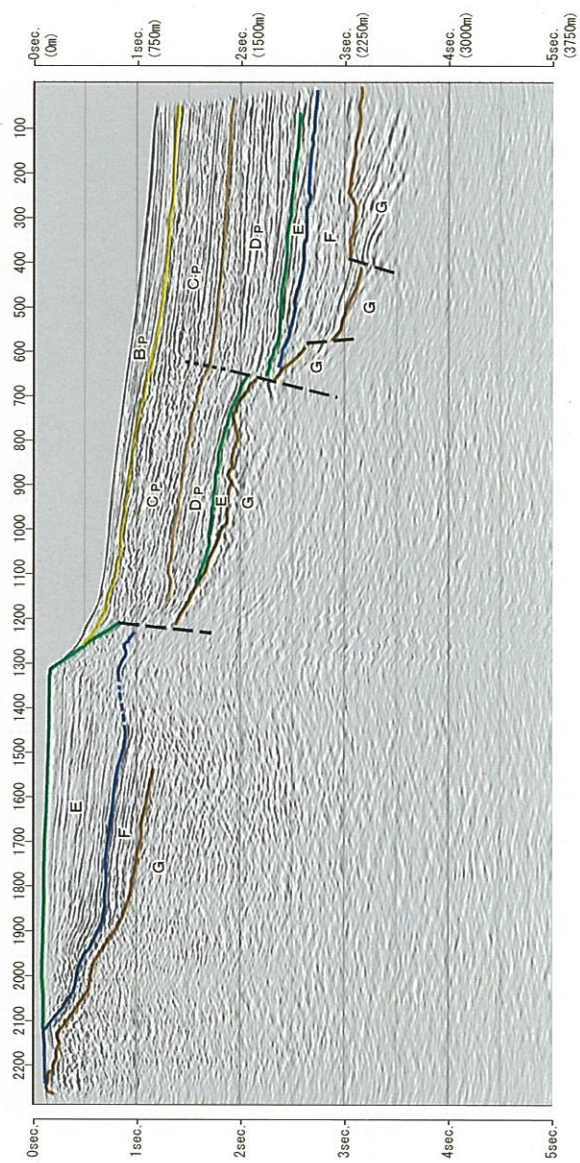
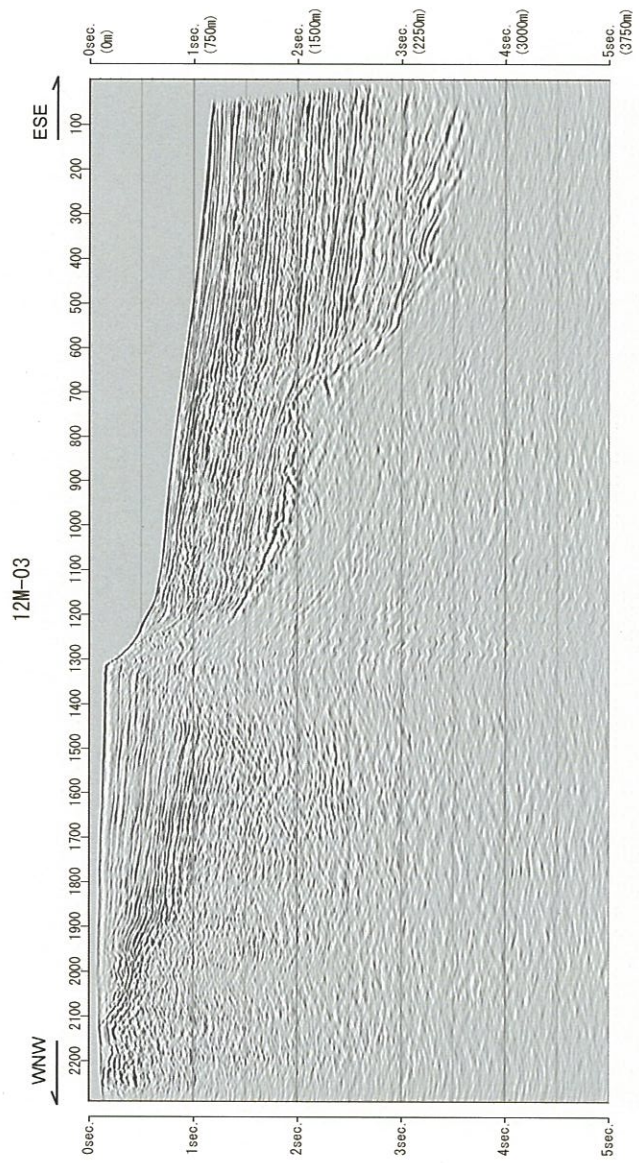
第3.2-129図(1) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-01測線)



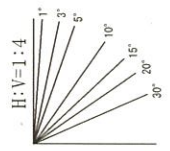
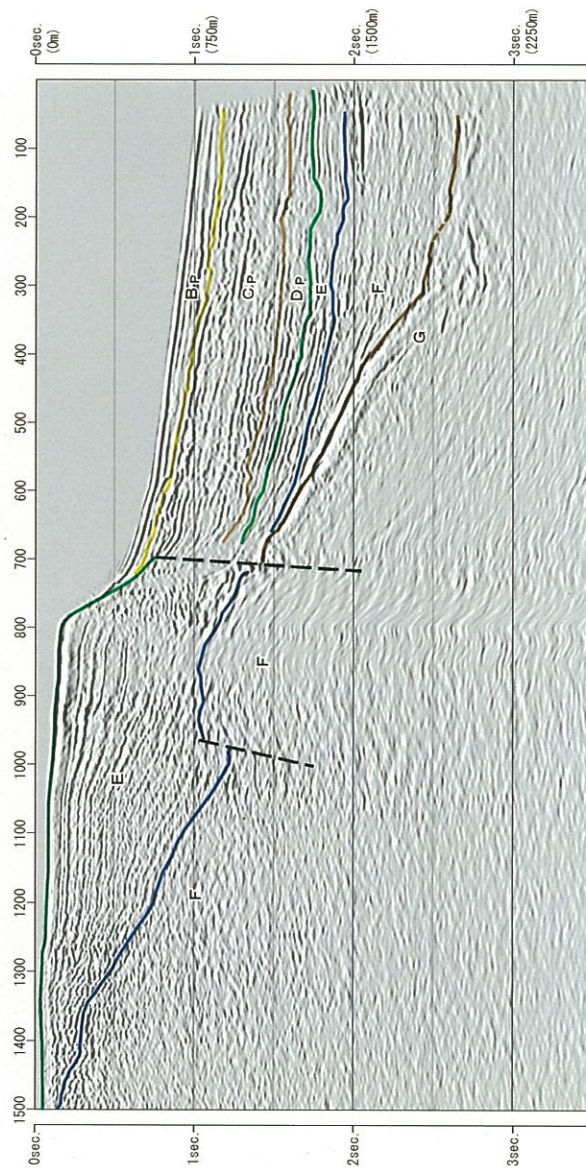
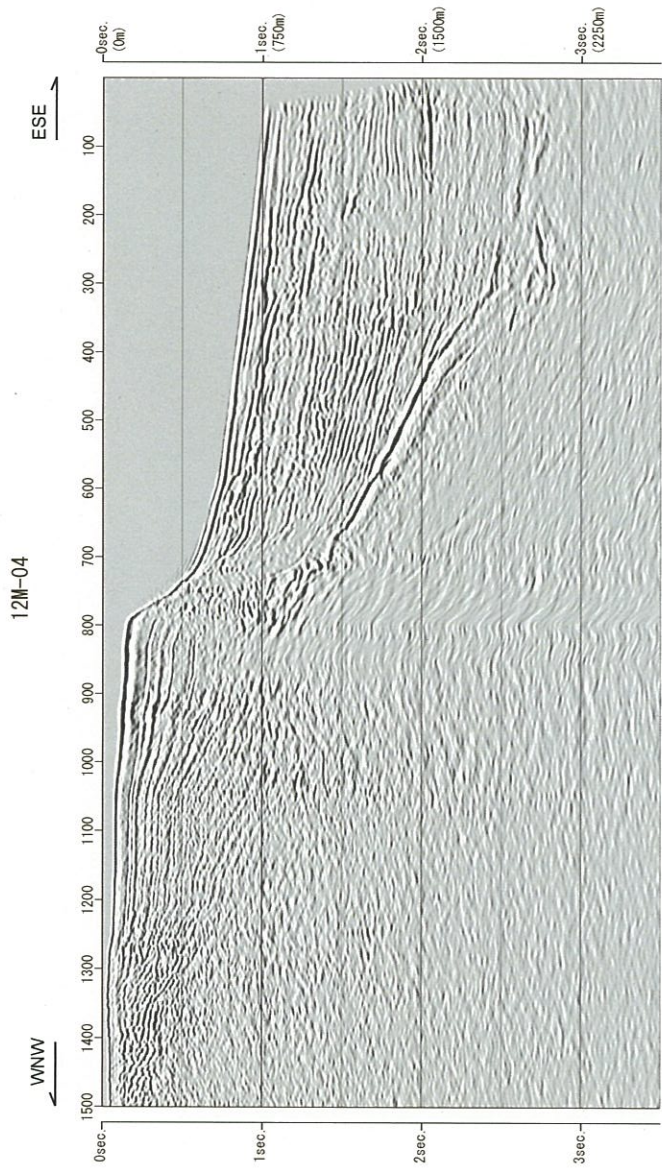
第3.2-129図(2) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-02測線)



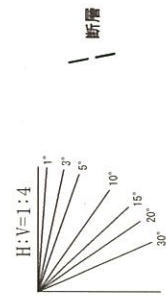
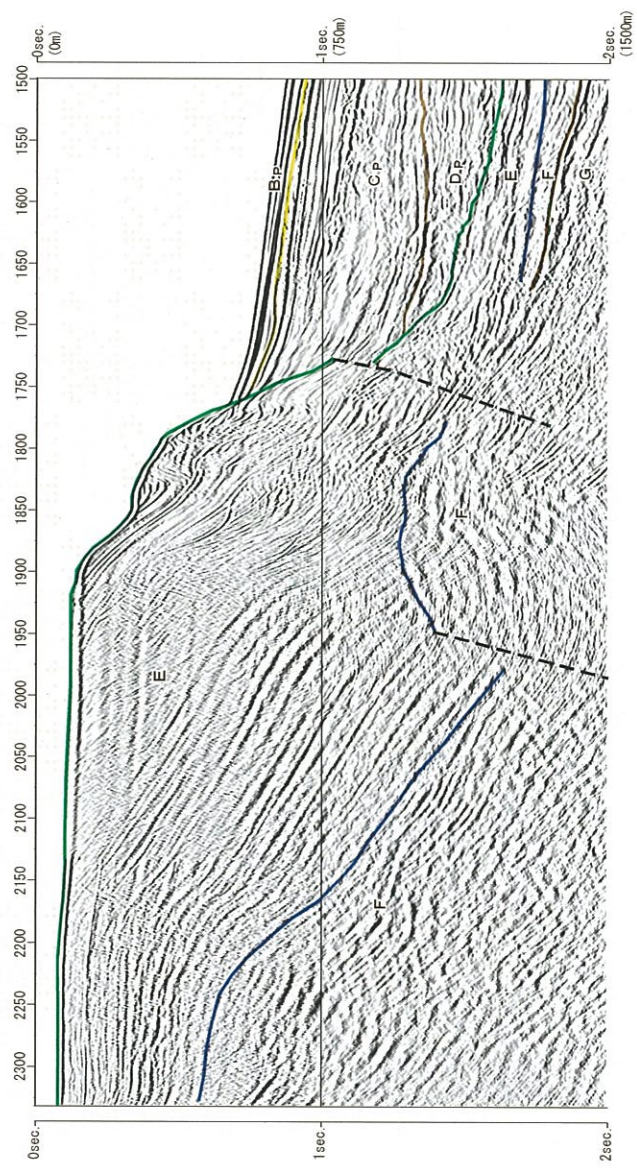
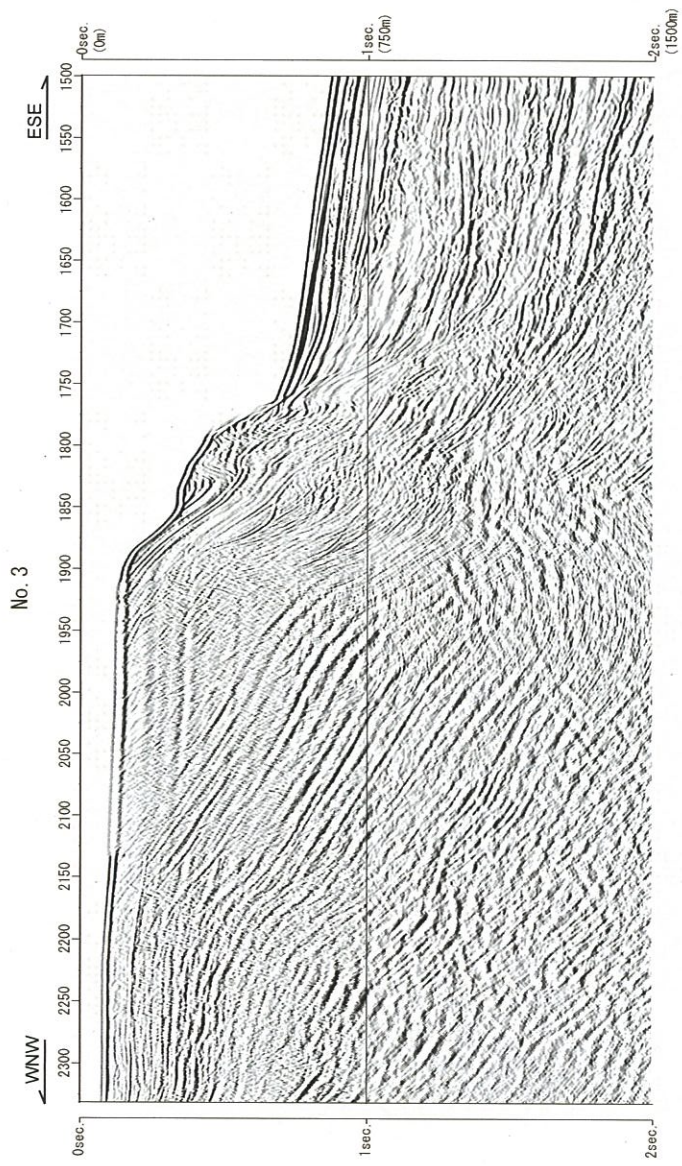
第3.2-129図(3) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 4測線)



第3.2-129図(4) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-03測線)

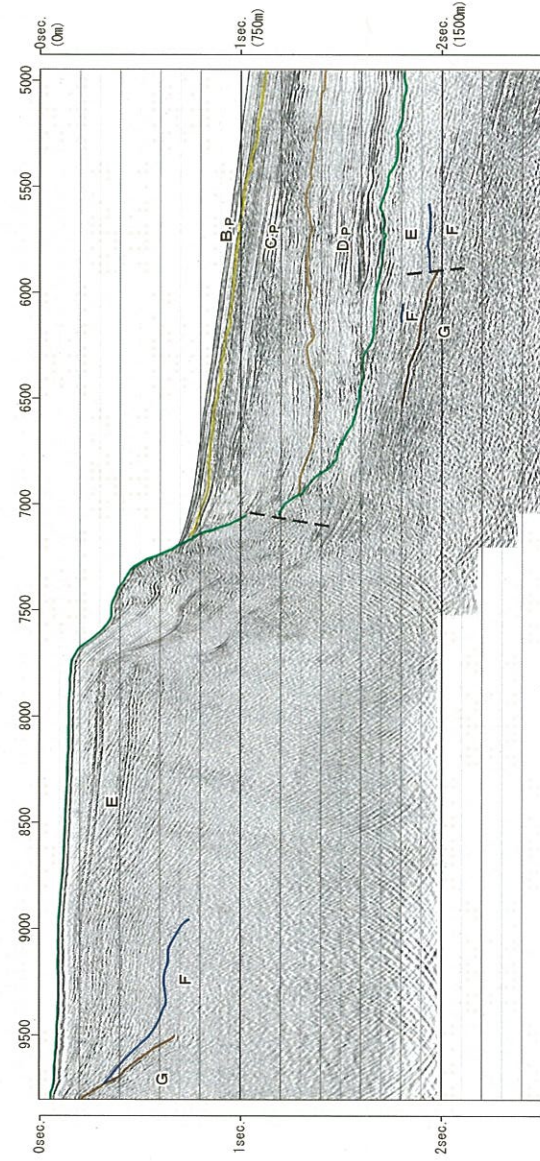


第3.2-129図(5) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-04測線)

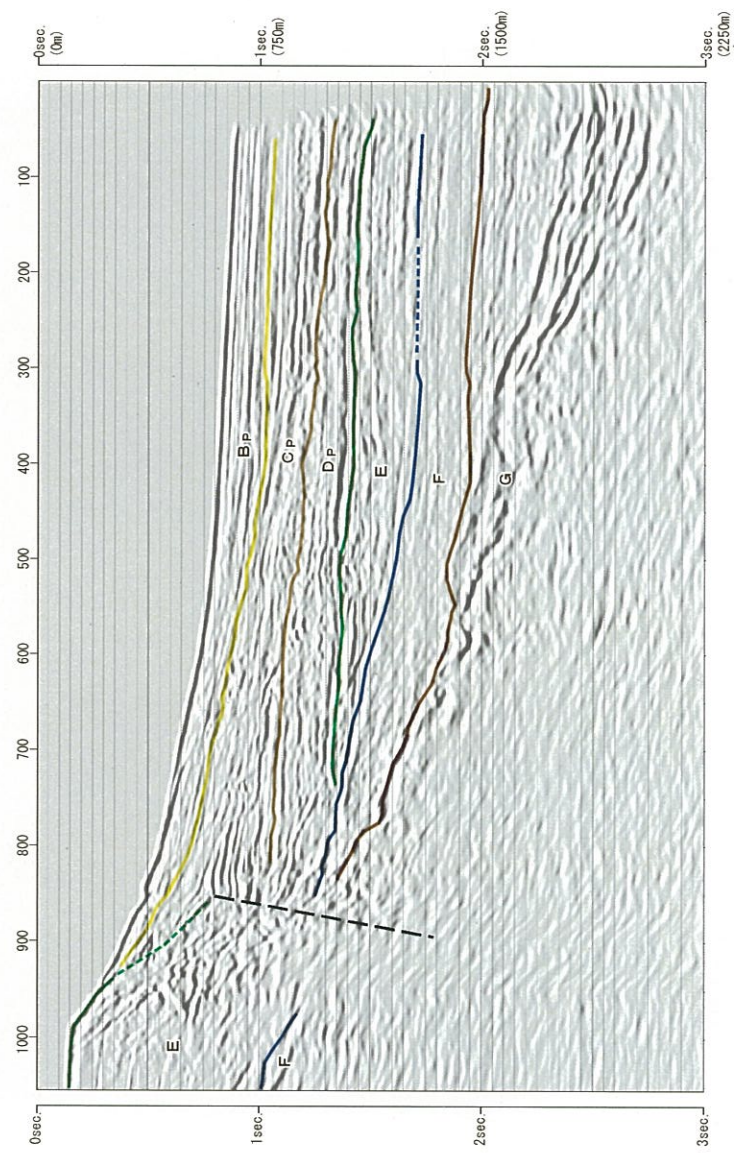
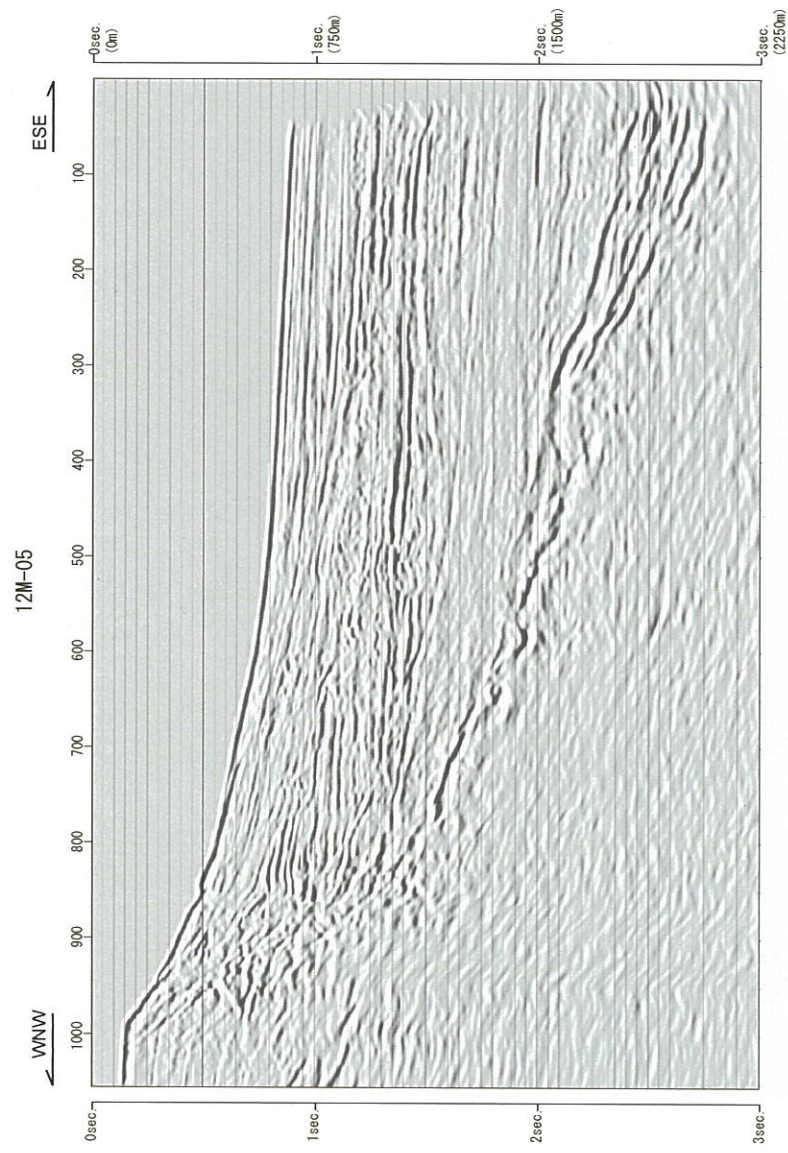


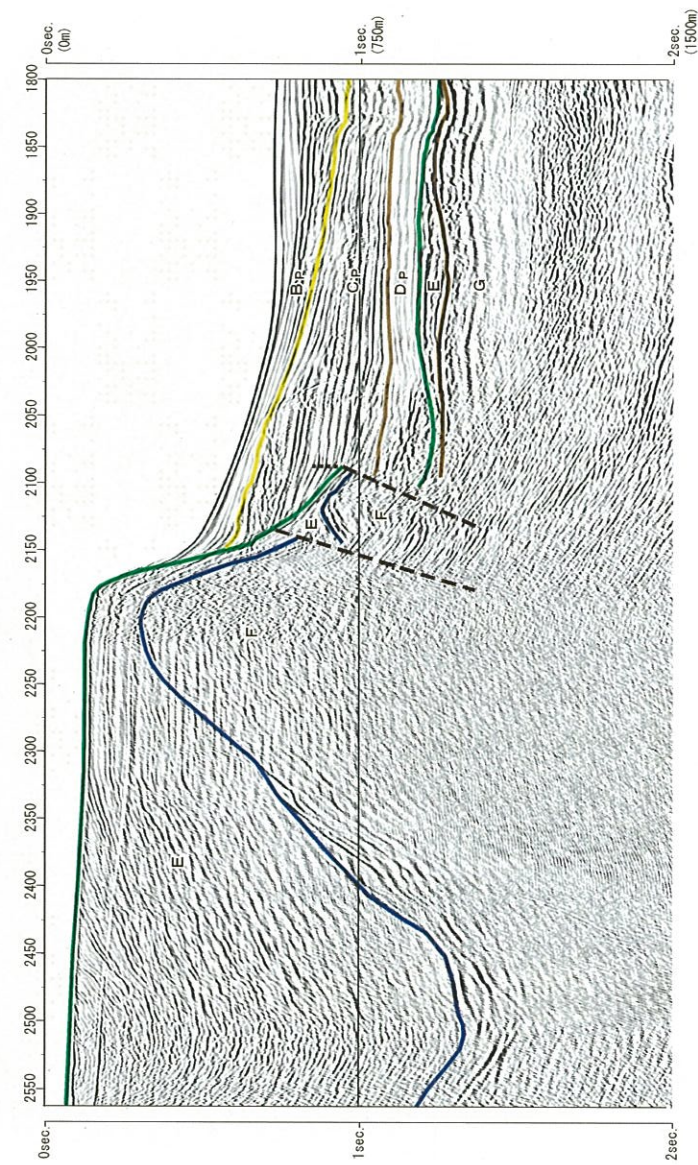
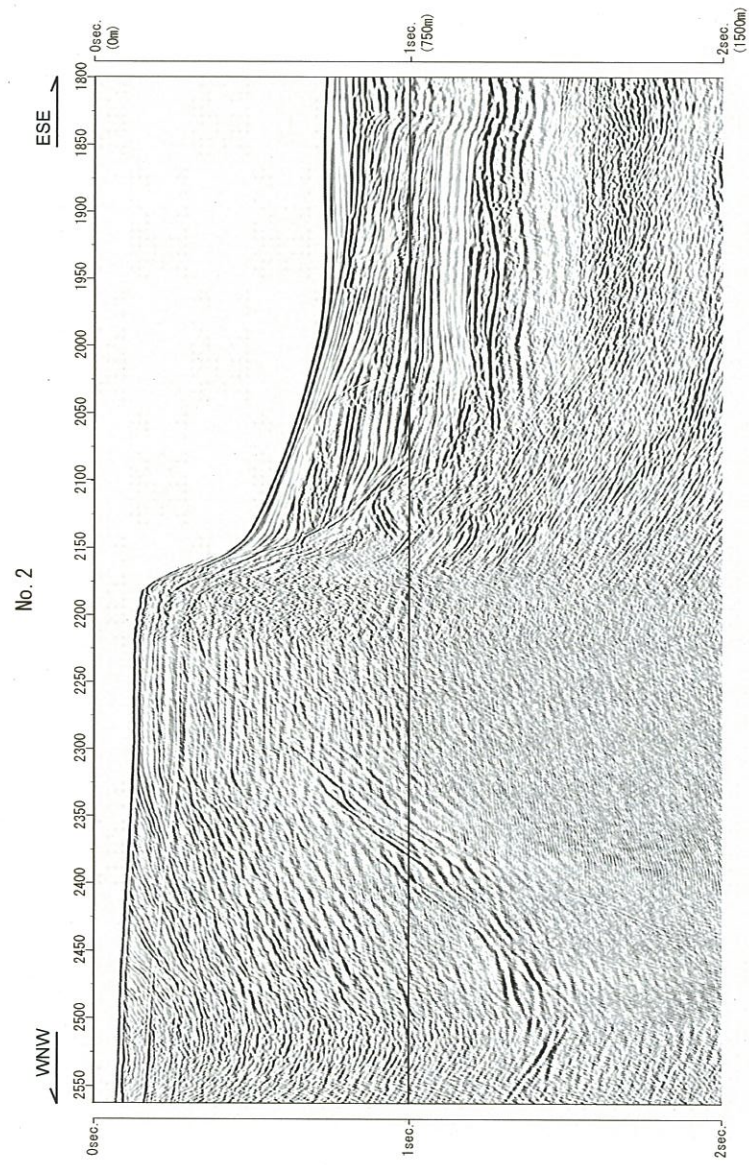
第3. 2-129図(6) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3測線)

NO. 3_2014

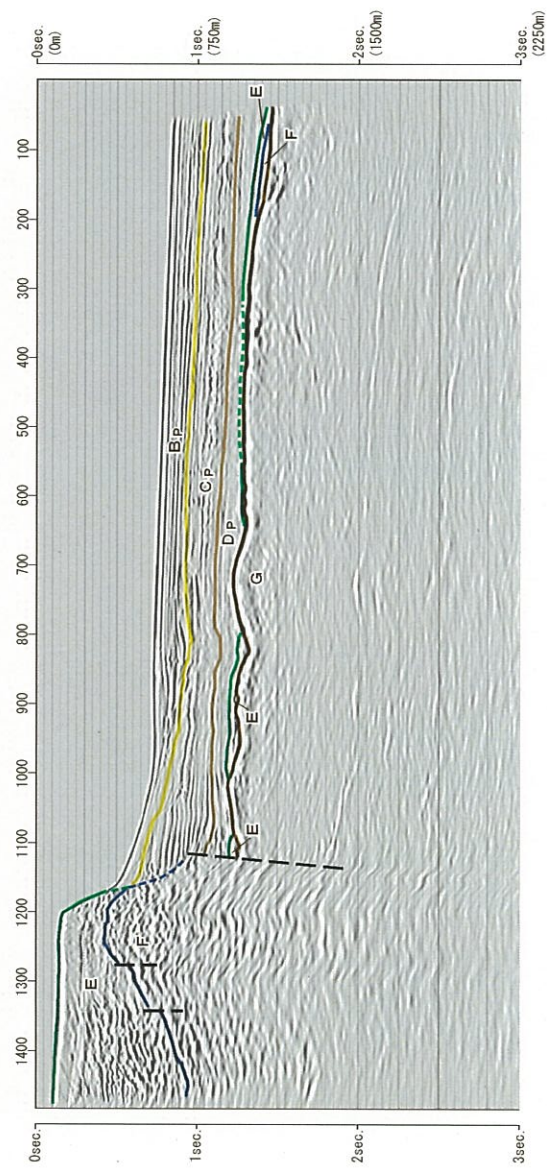
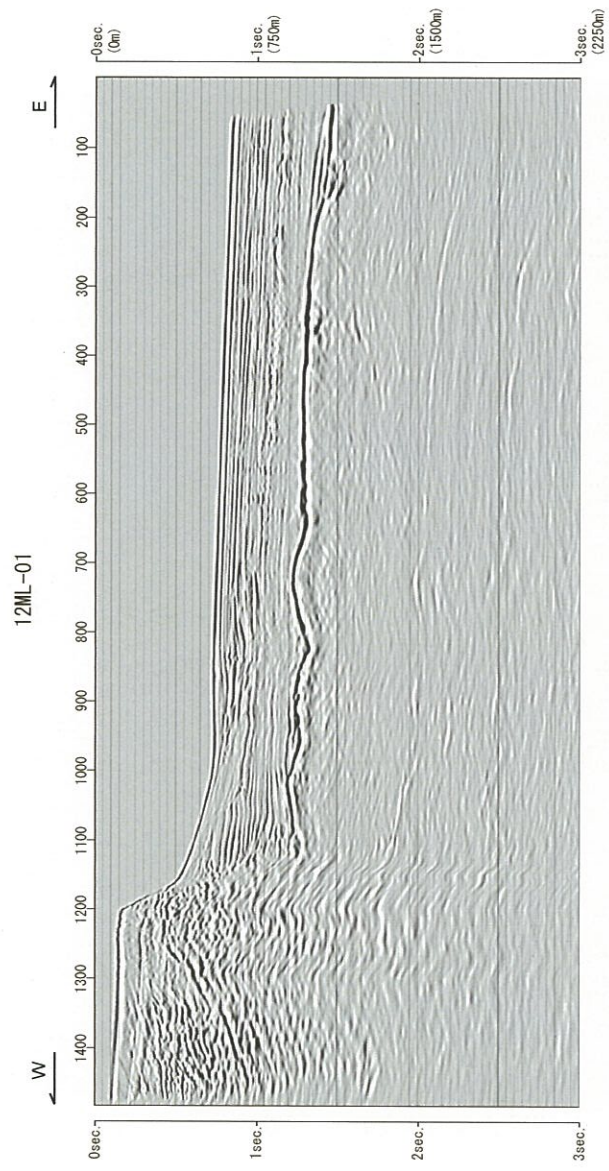


第3.2-129図(7) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3_2014測線)

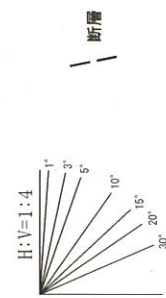
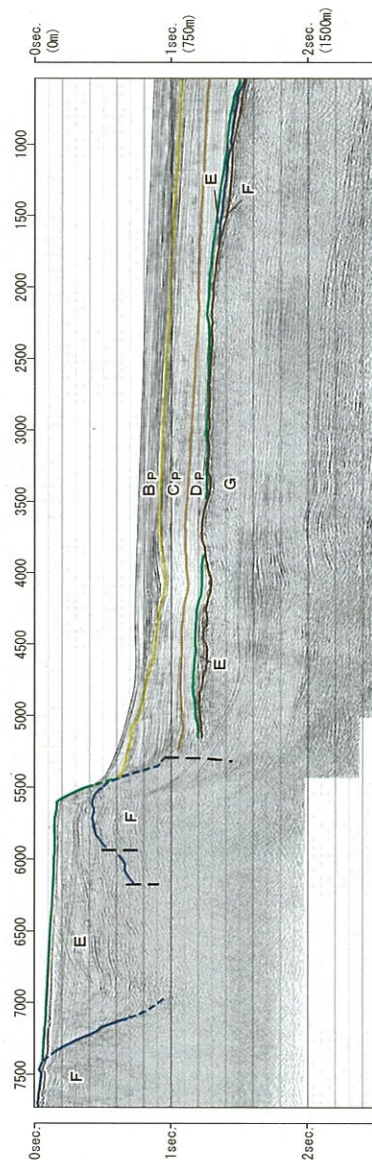
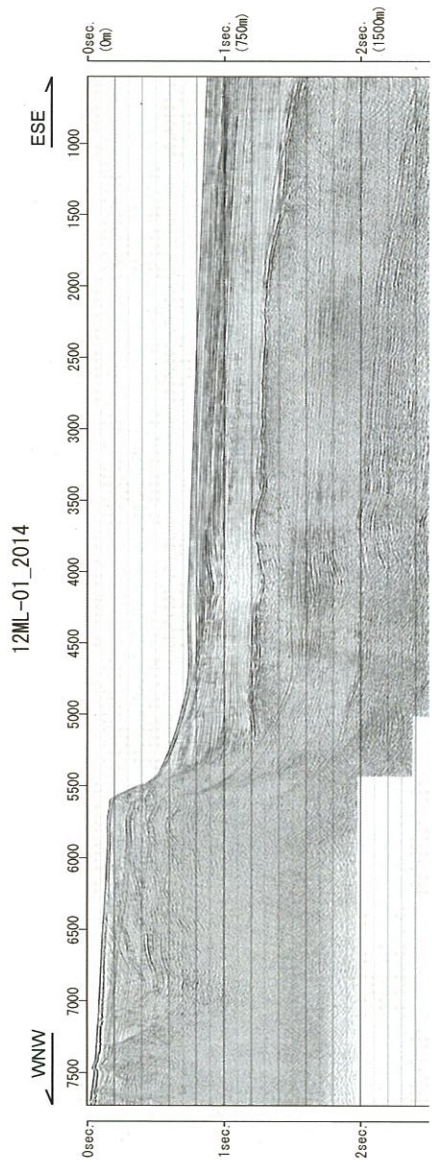




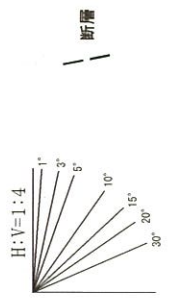
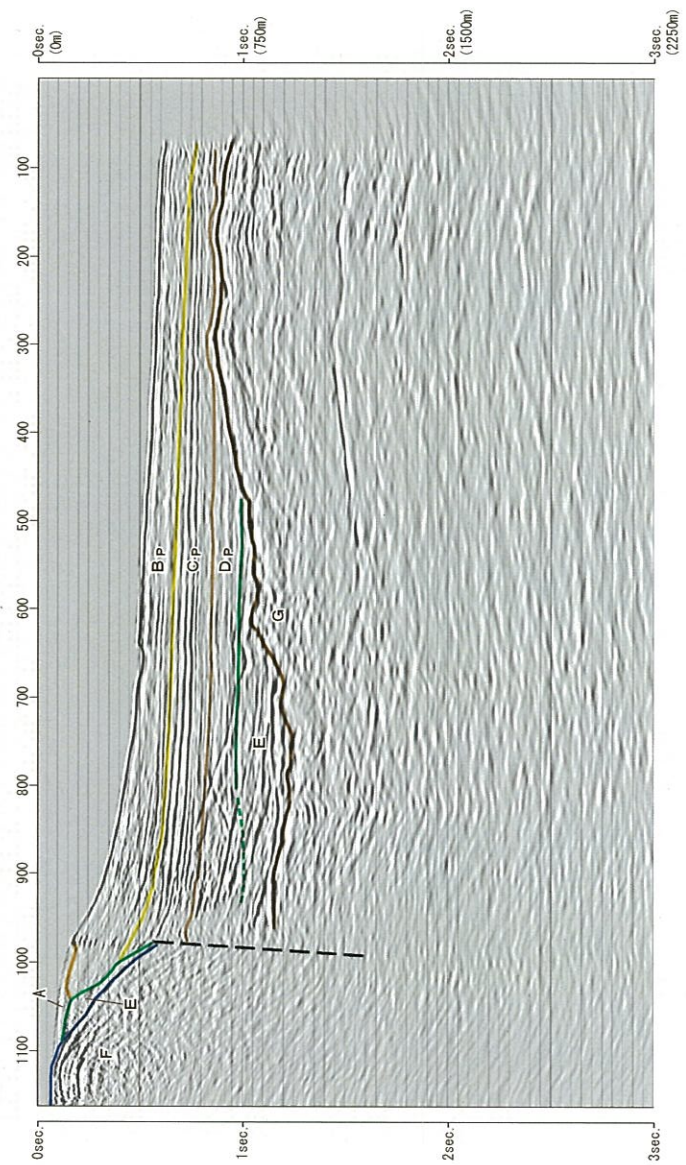
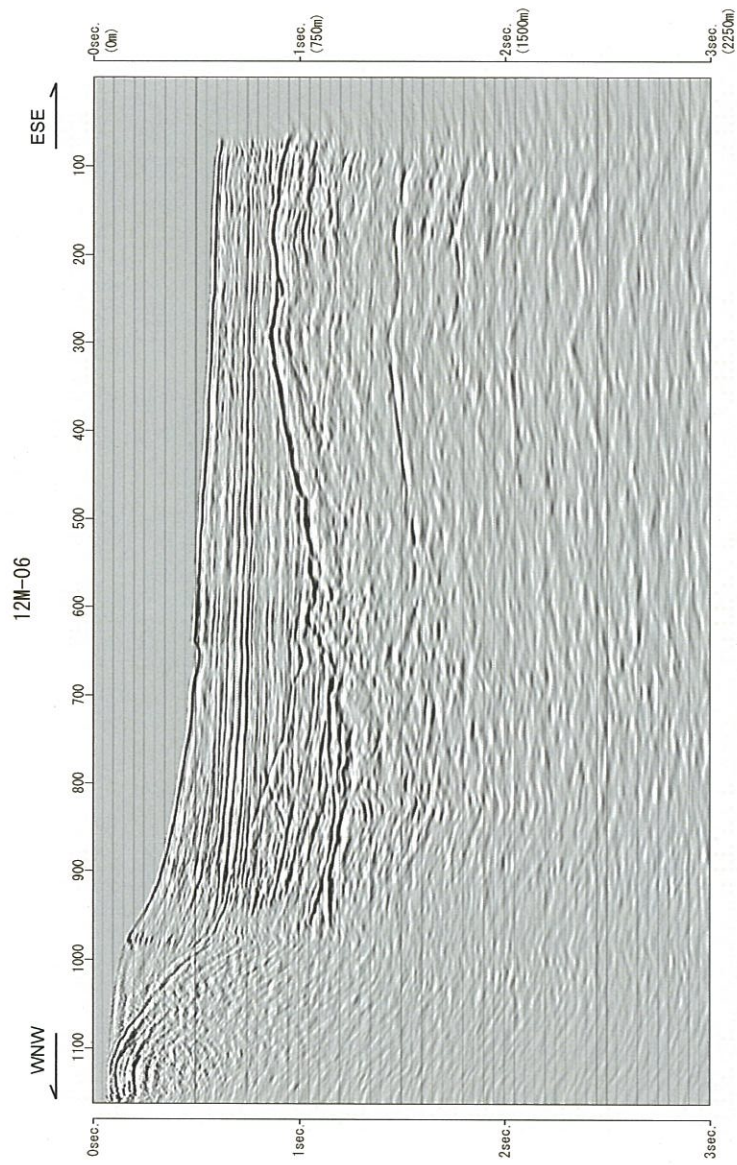
第3. 2-129図(9) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 2測線)



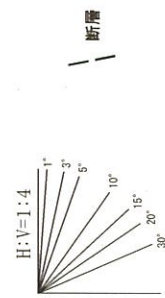
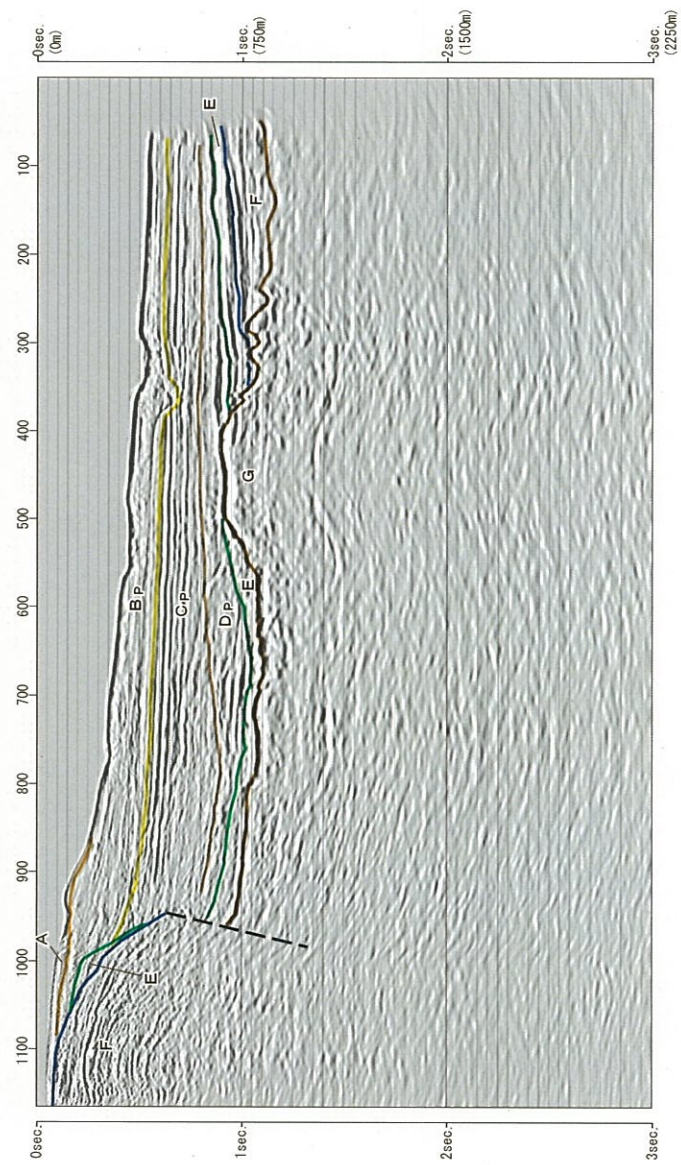
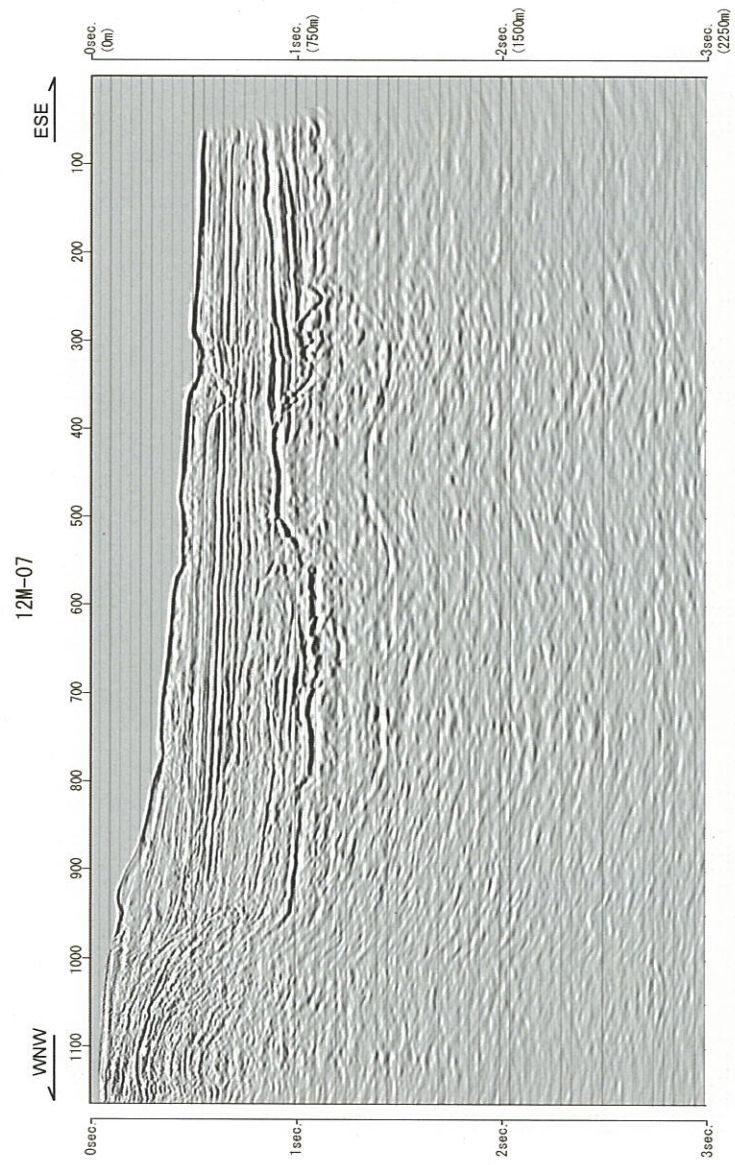
第3.2-129図(10) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01測線)



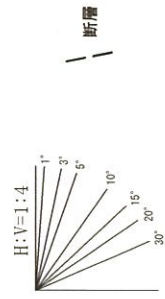
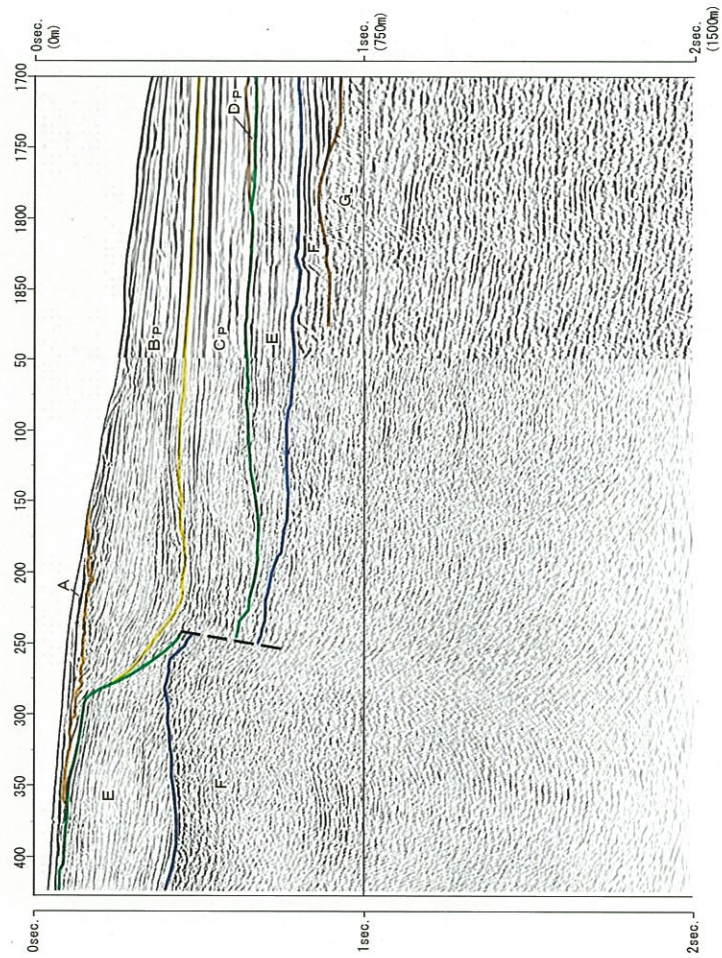
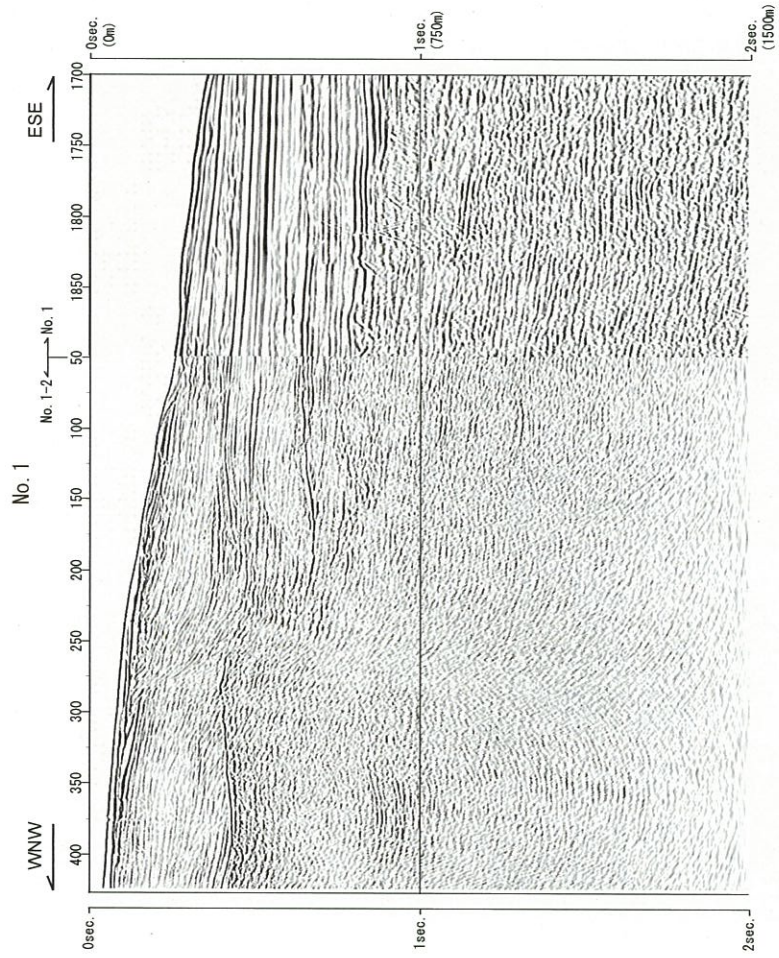
第3.2-129図(11) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01_2014測線)



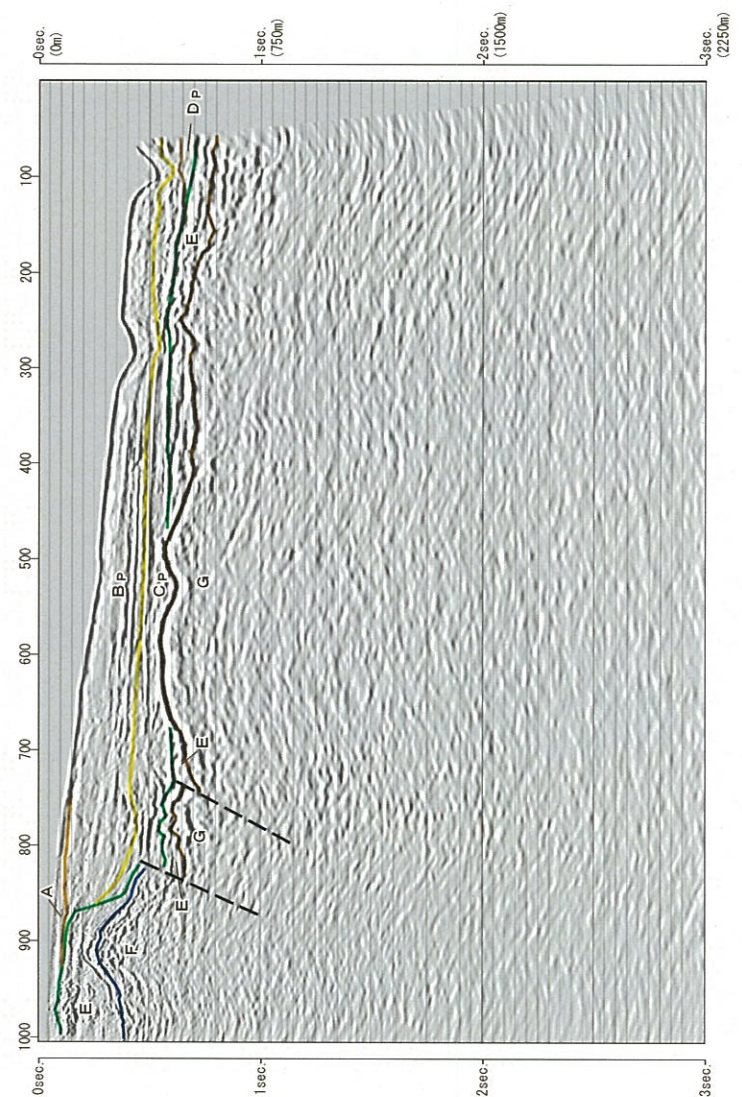
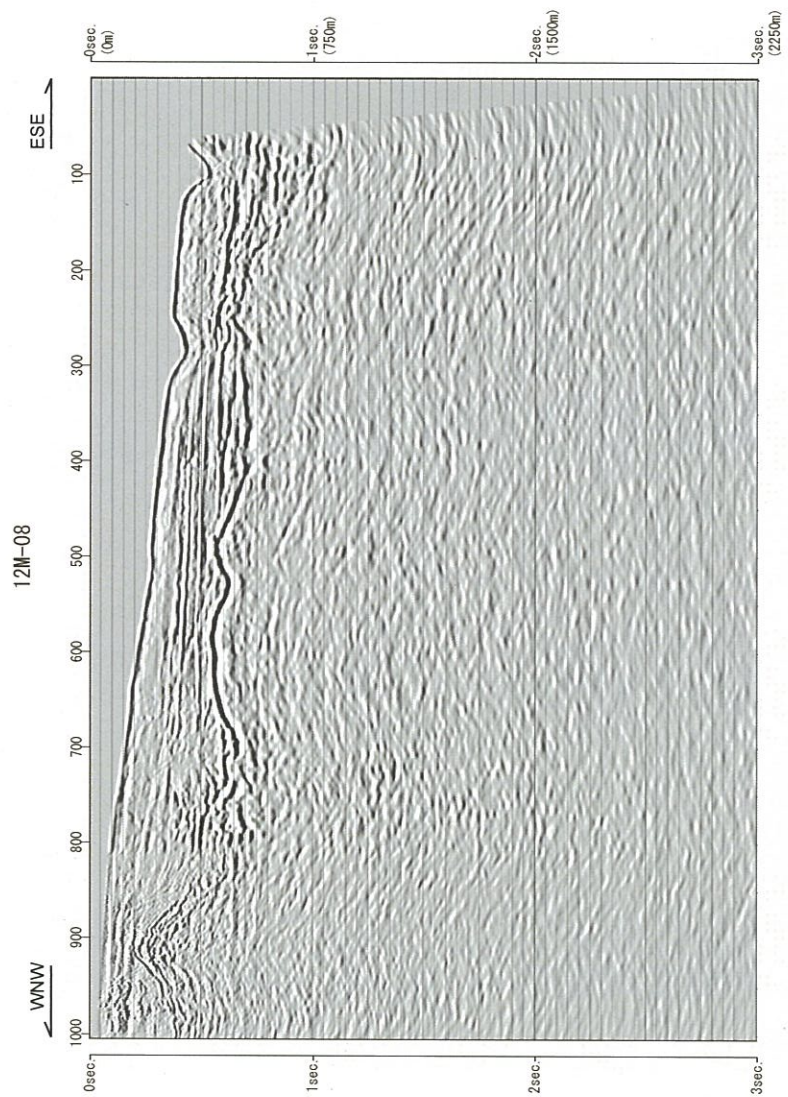
第3.2-129図(12) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-06測線)



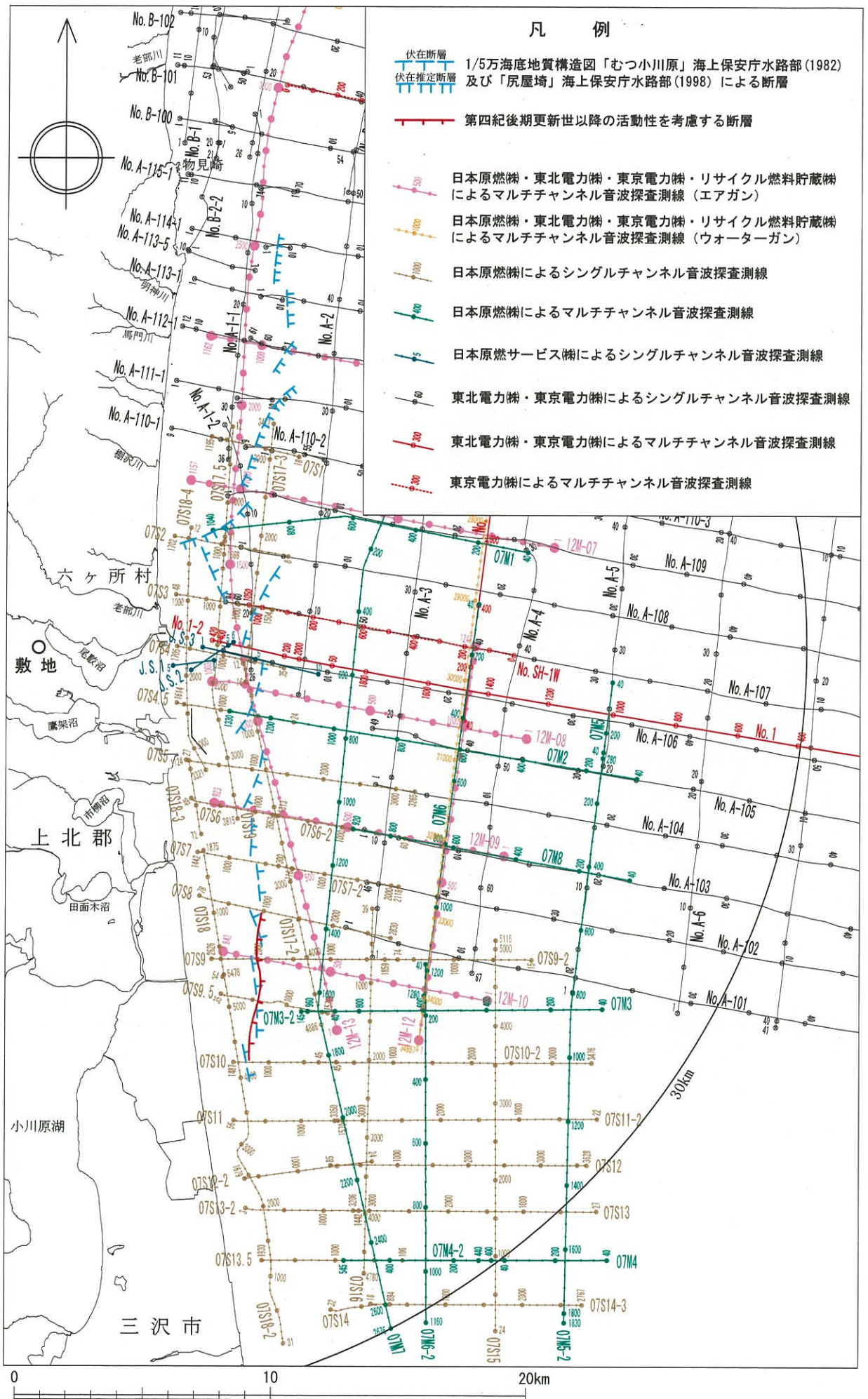
第3.2-129図(13) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図(12M-07測線)



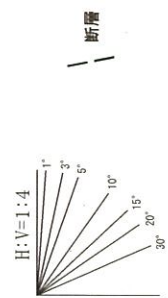
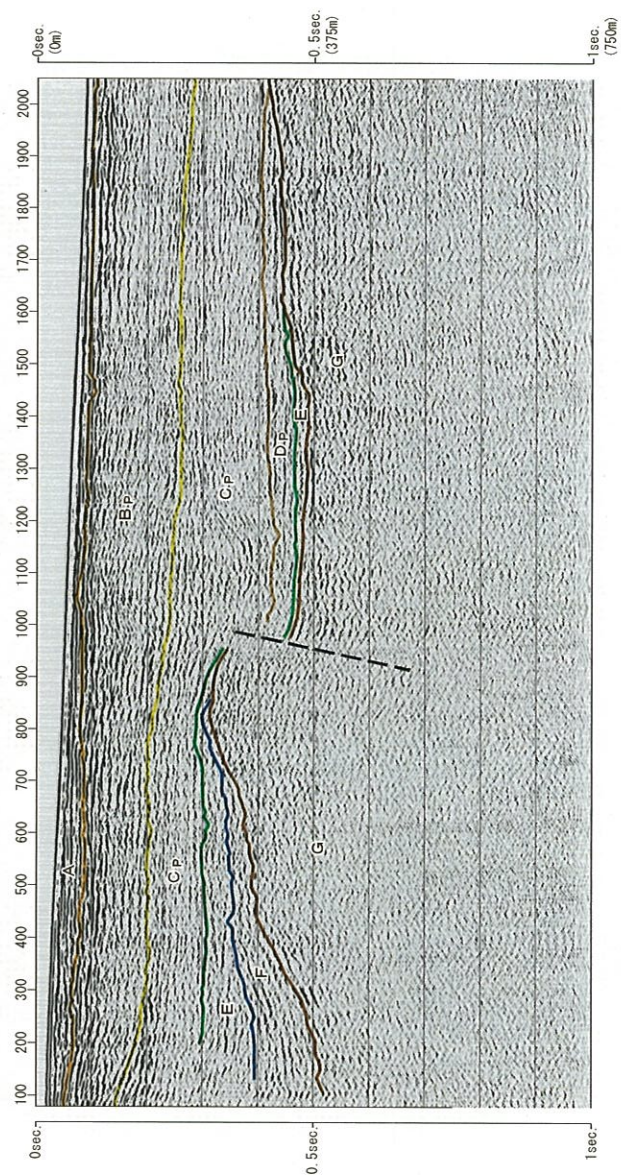
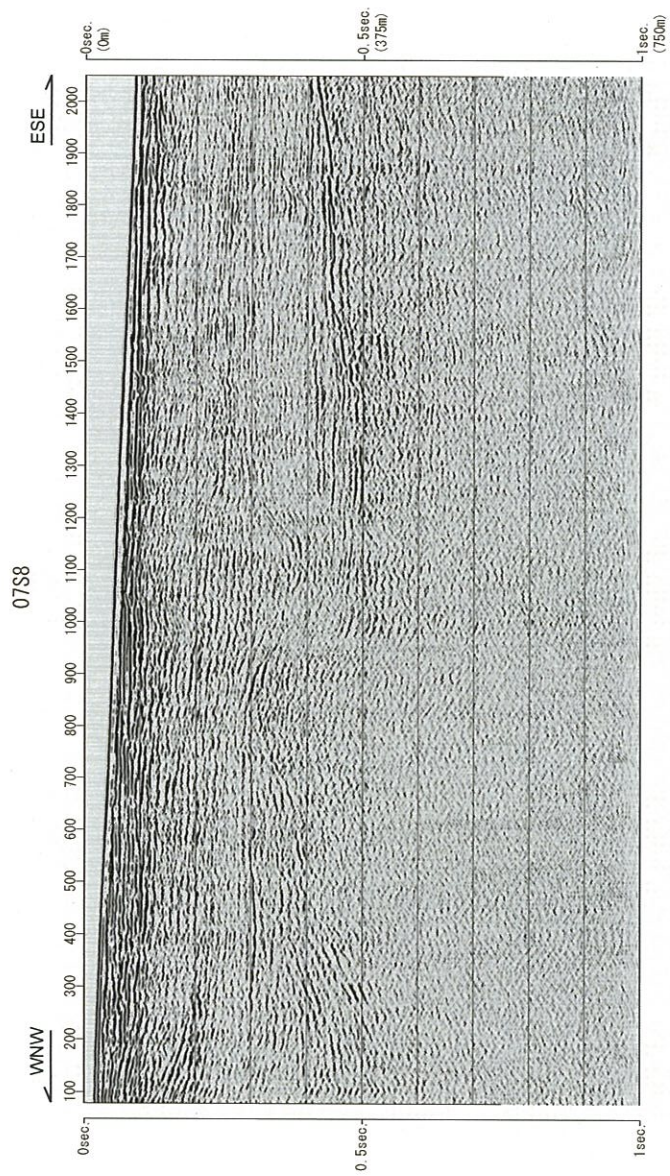
第3.2-129図(14) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 1測線)



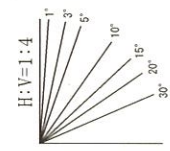
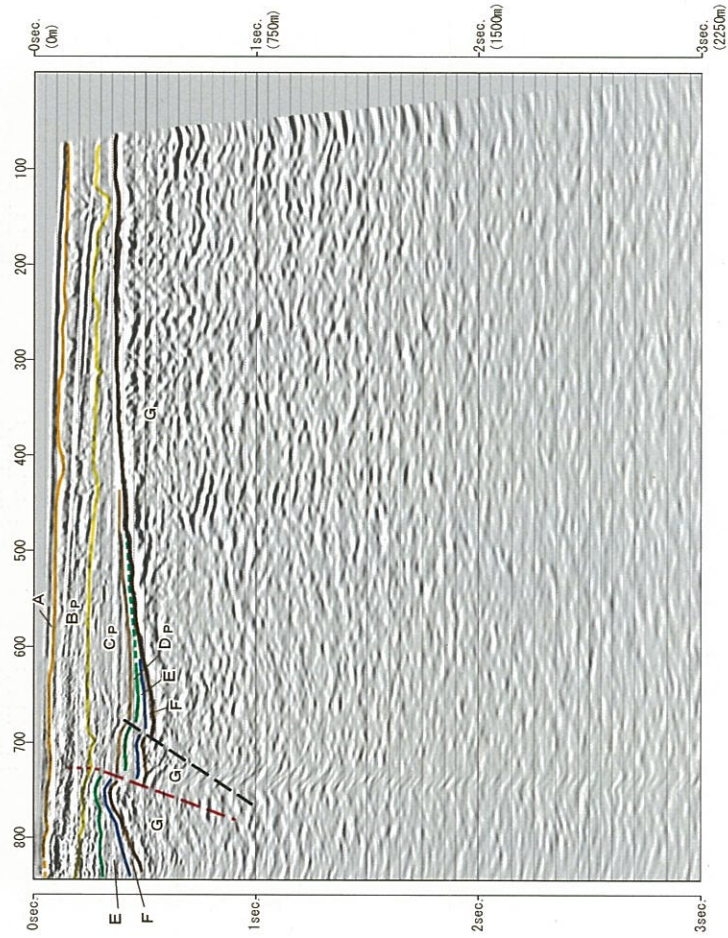
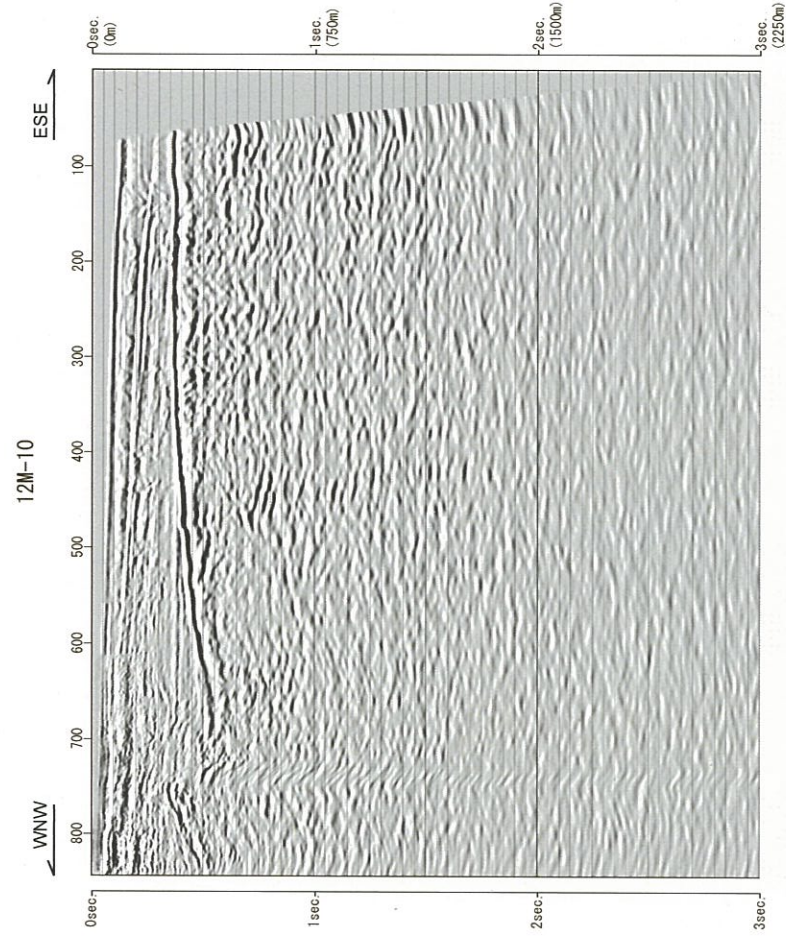
第3.2-129図(15) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-08測線)



第3.2-130図 F-d断層位置図



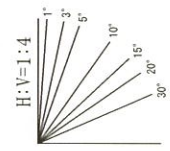
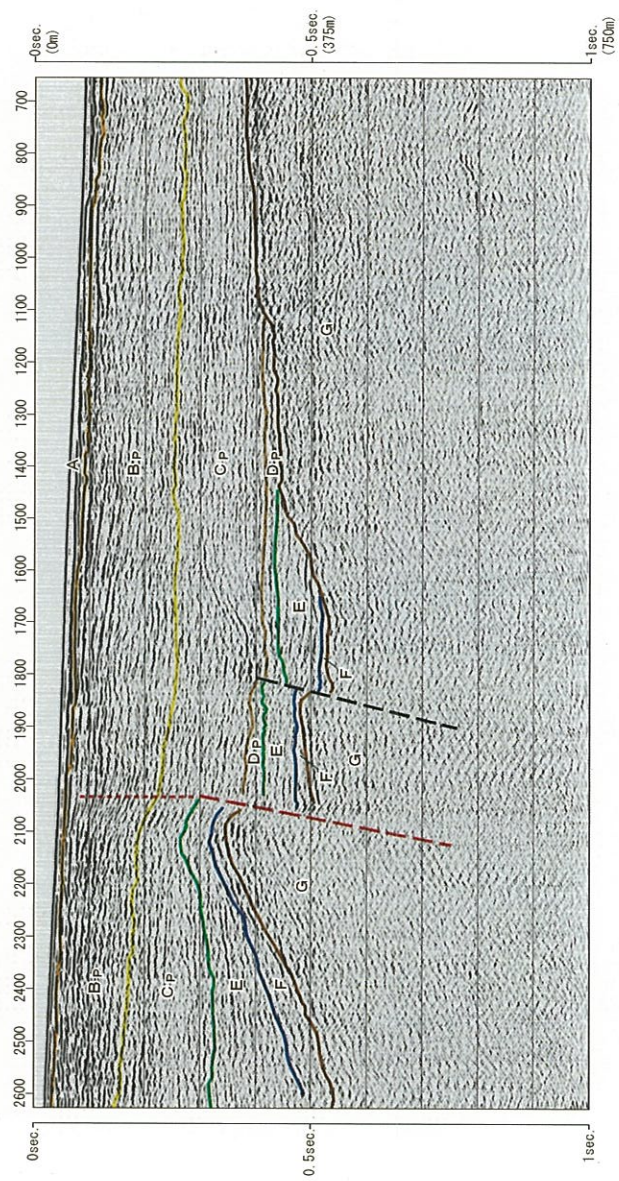
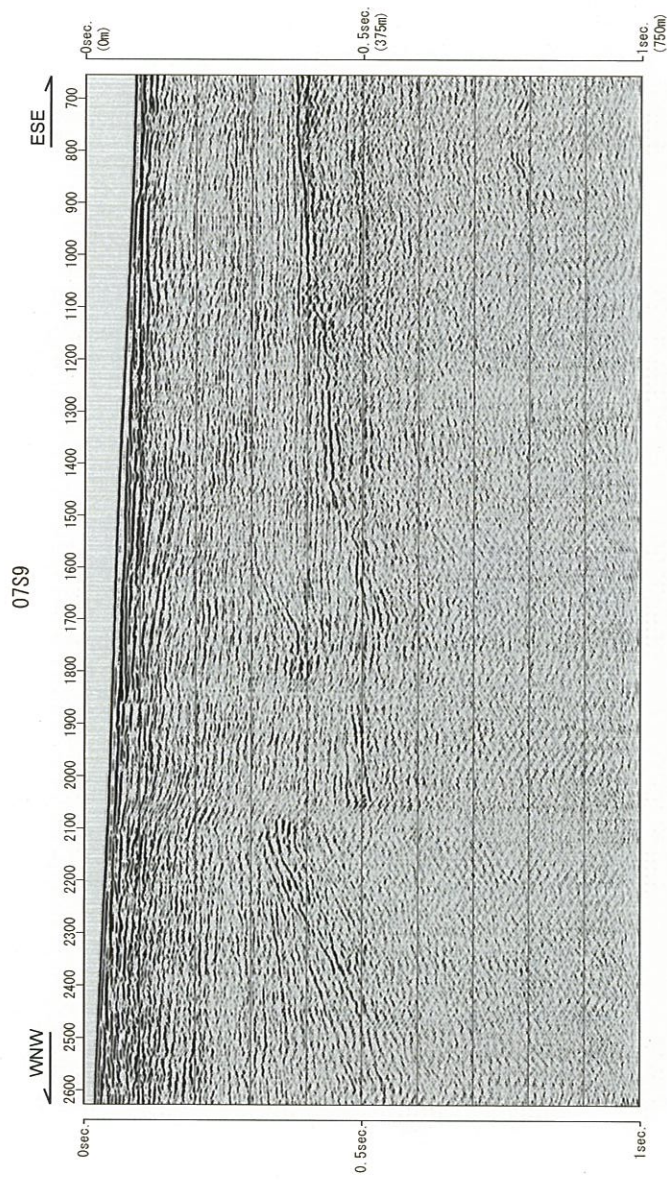
第3.2-13I図(1) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図(07S8測線)



断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

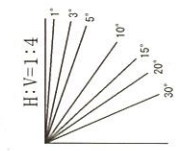
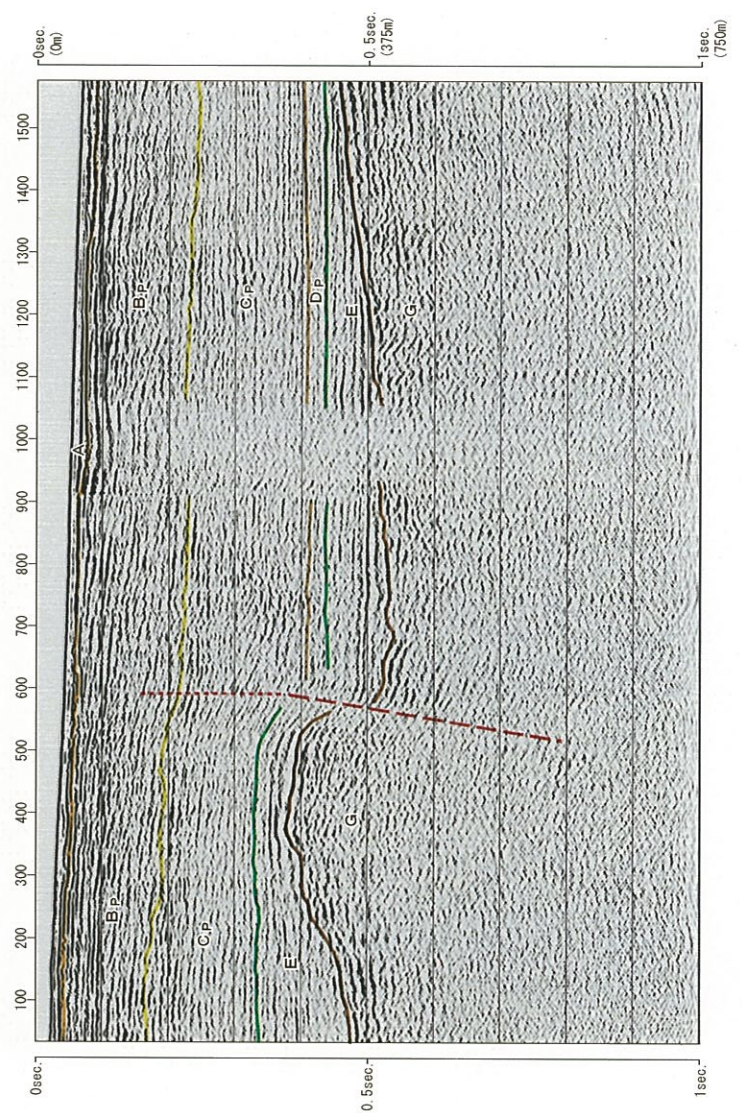
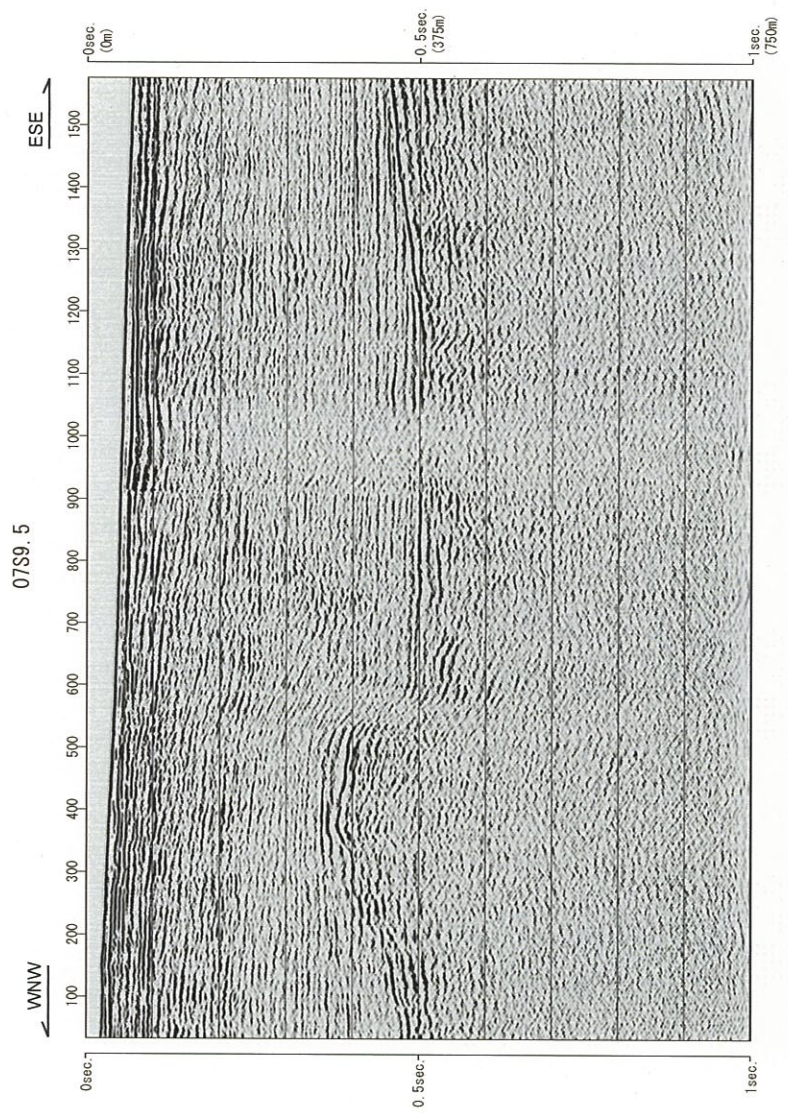
第3.2-131図(2) F-d 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-10測線)



断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

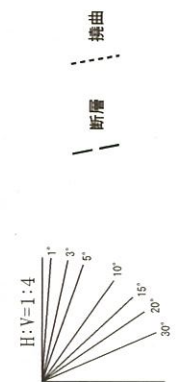
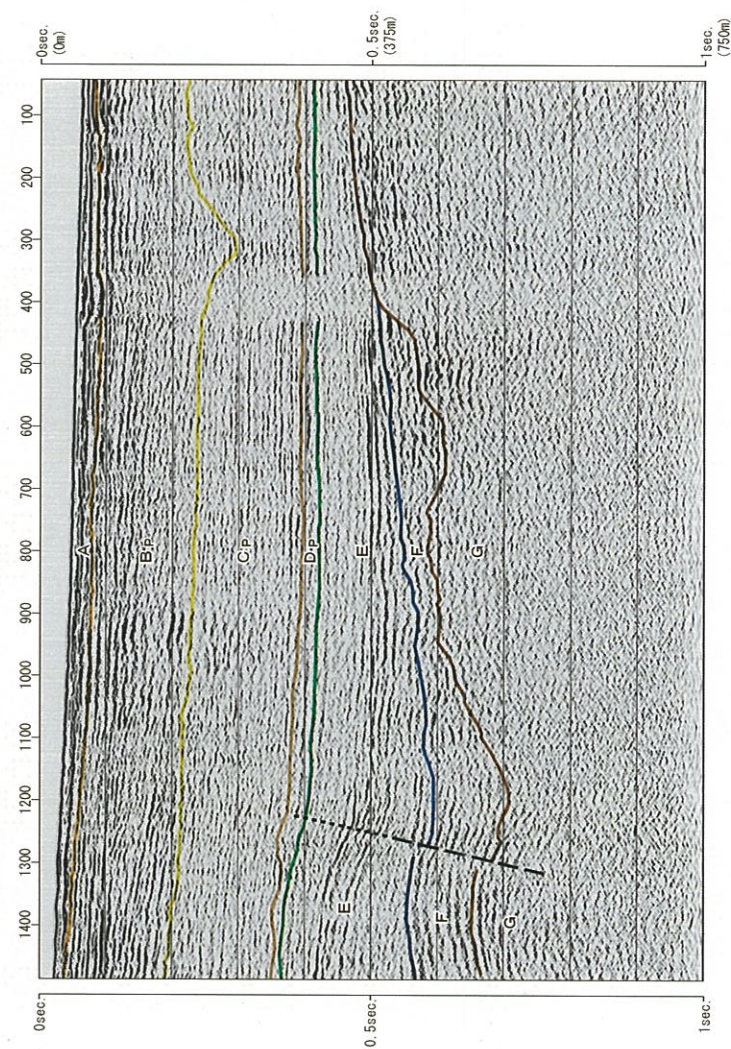
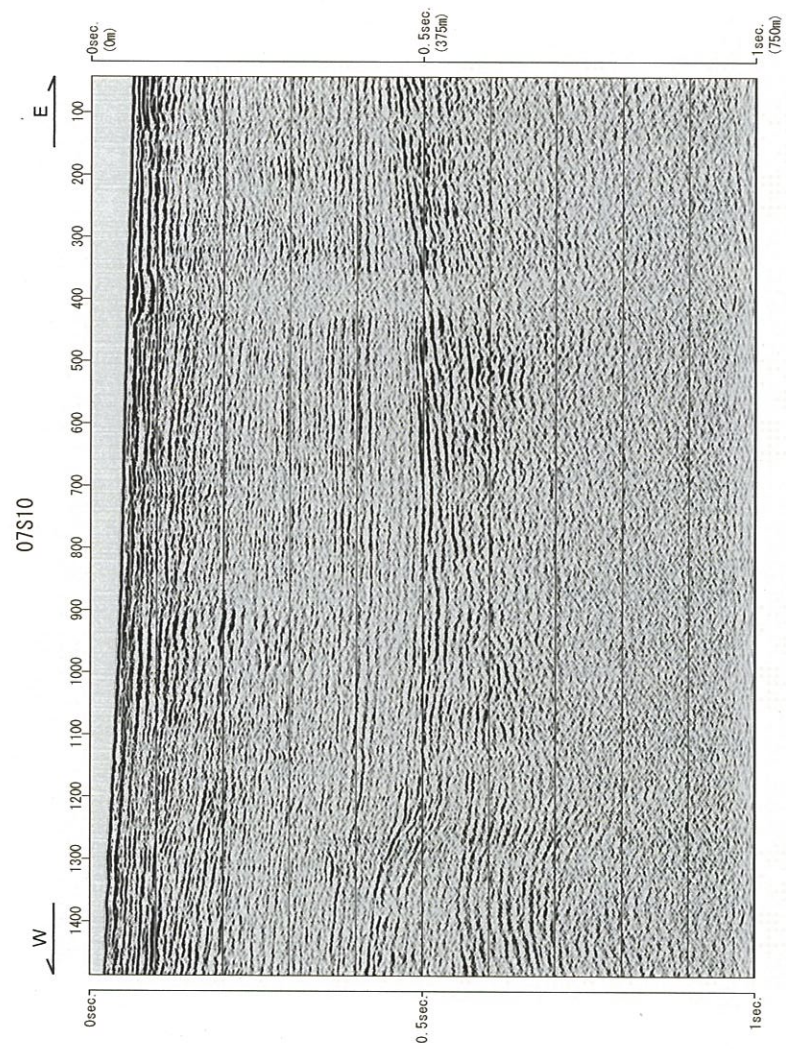
第3.2-131図(3) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (07S9測線)



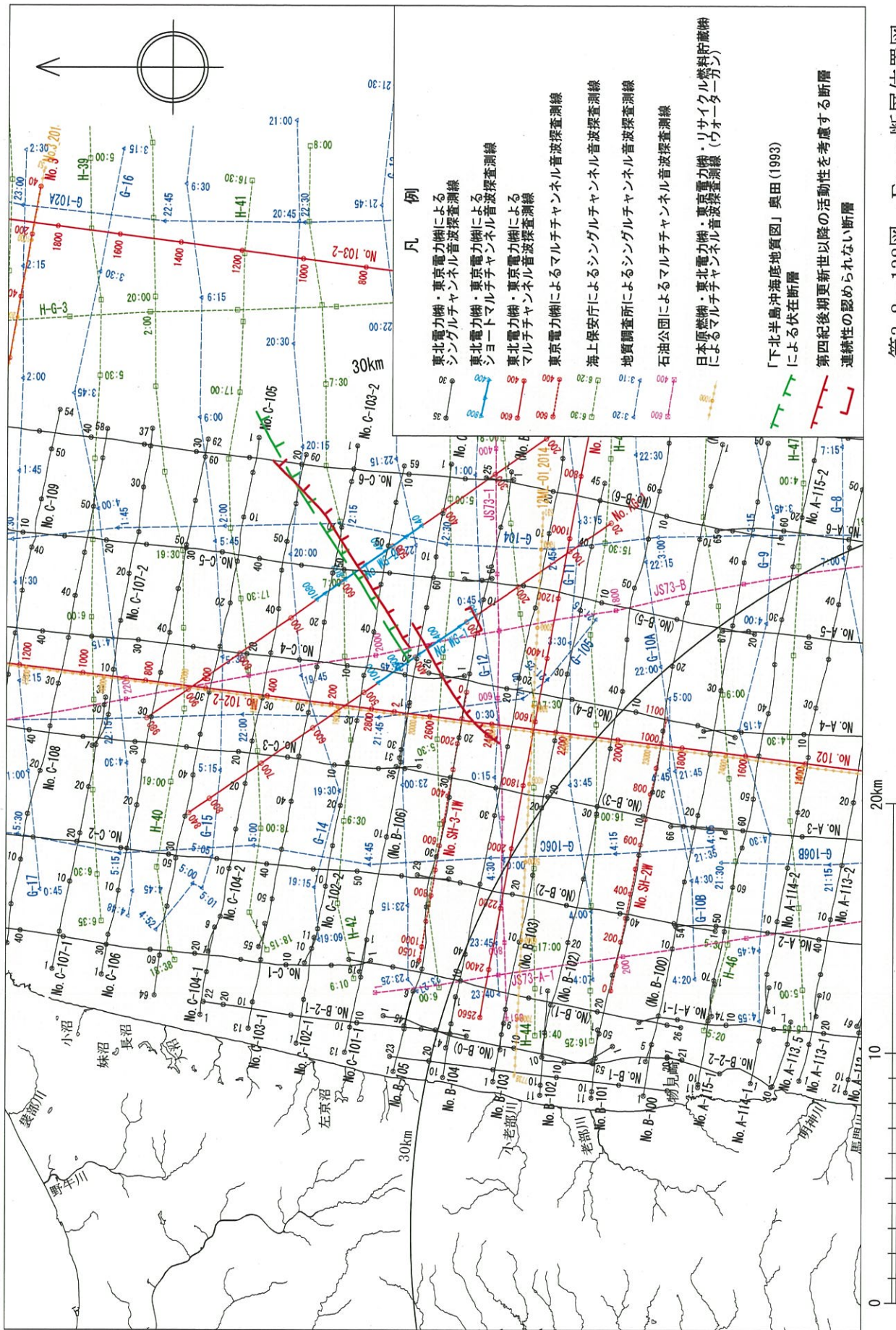
— 断層
 拗曲

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

第3.2-131図(4) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (07S9.5測線)



第3.2-13I図(5) F-d断層周辺の音波探査記録及び解析図(07S10測線)

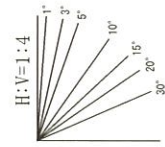
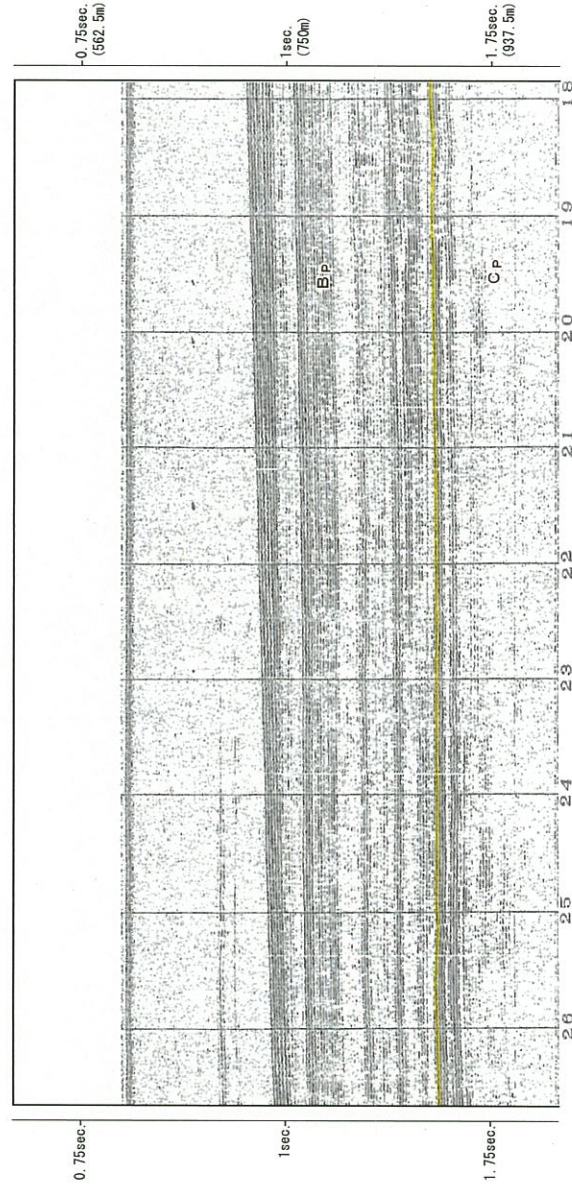
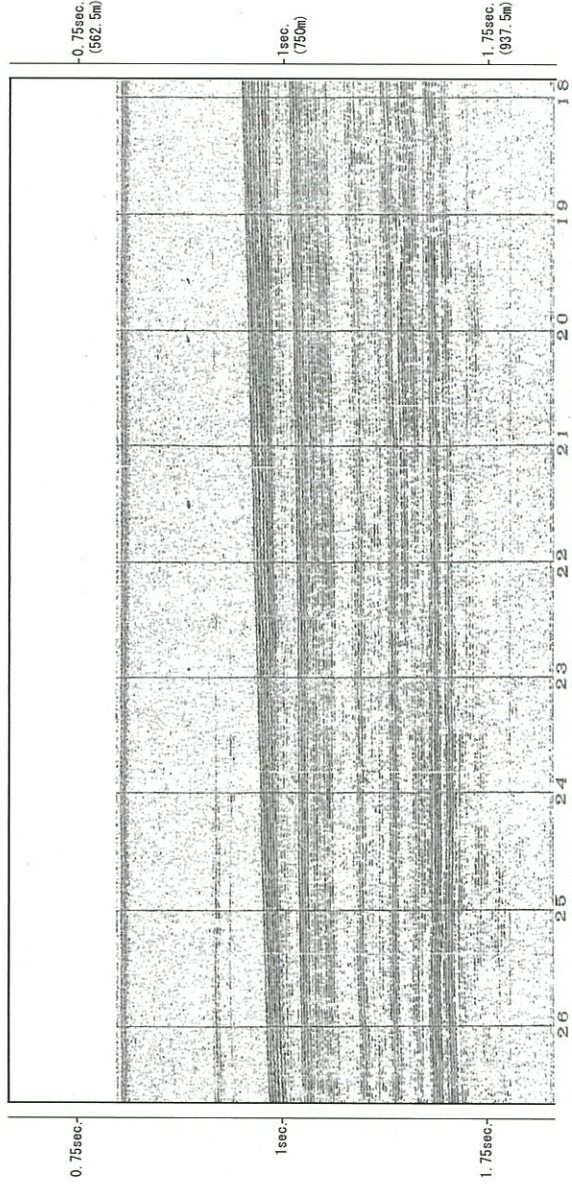


第3.2-132図 F-c 断層位置図

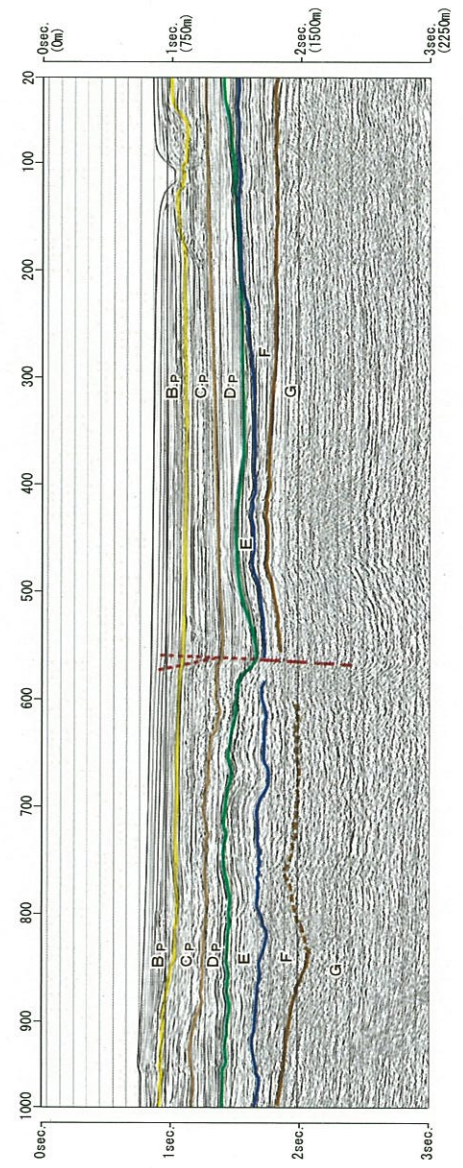
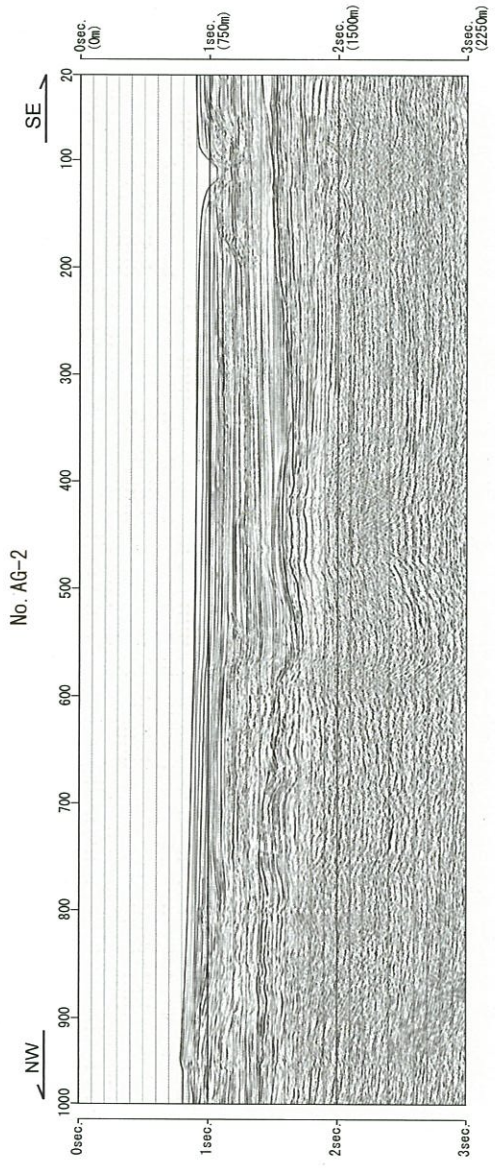
No. C-6

← NNE

SSW →

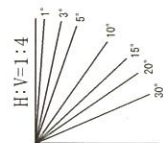
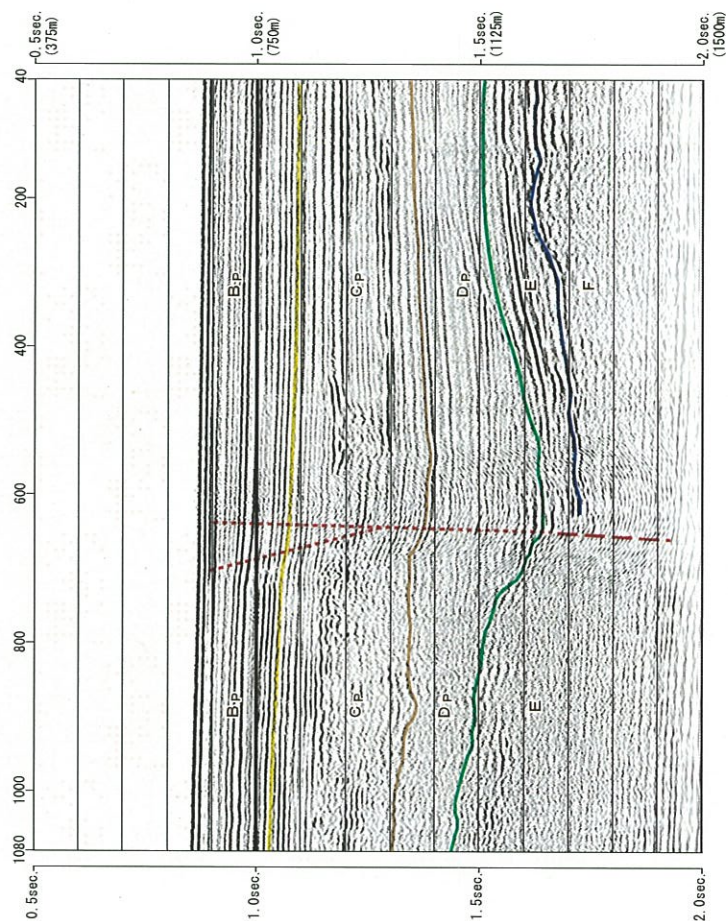
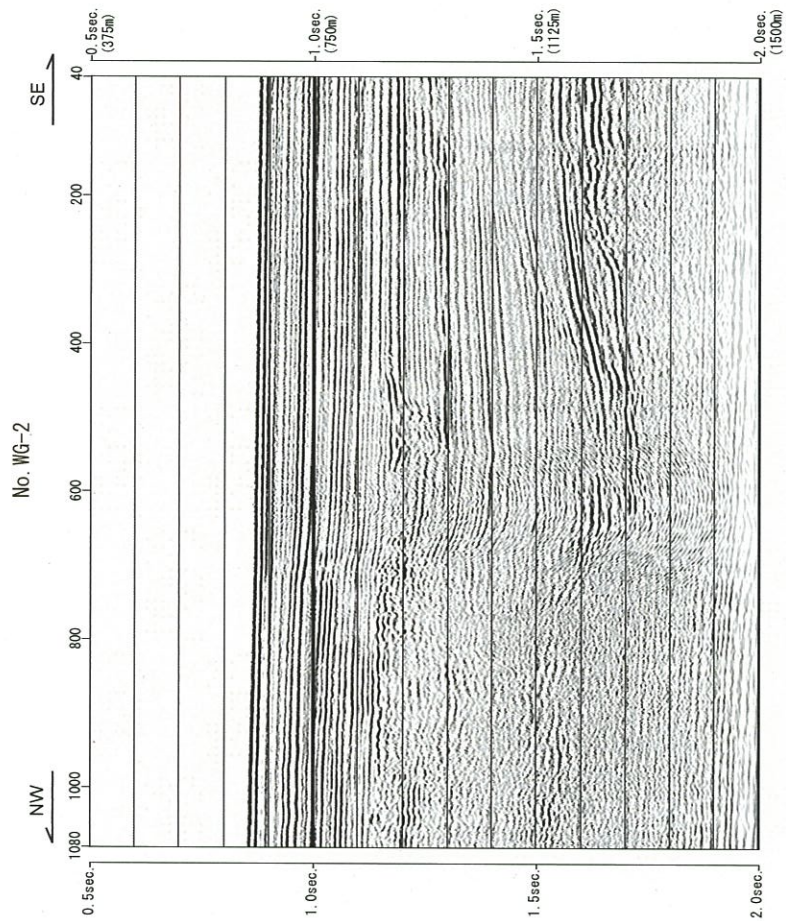


第3.2-133図(1) F-c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. C-6測線)



※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に歪位・変形が認められるもの

第 3.2-133 図 (2) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. AG-2 測線)

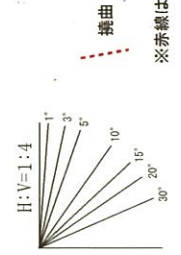
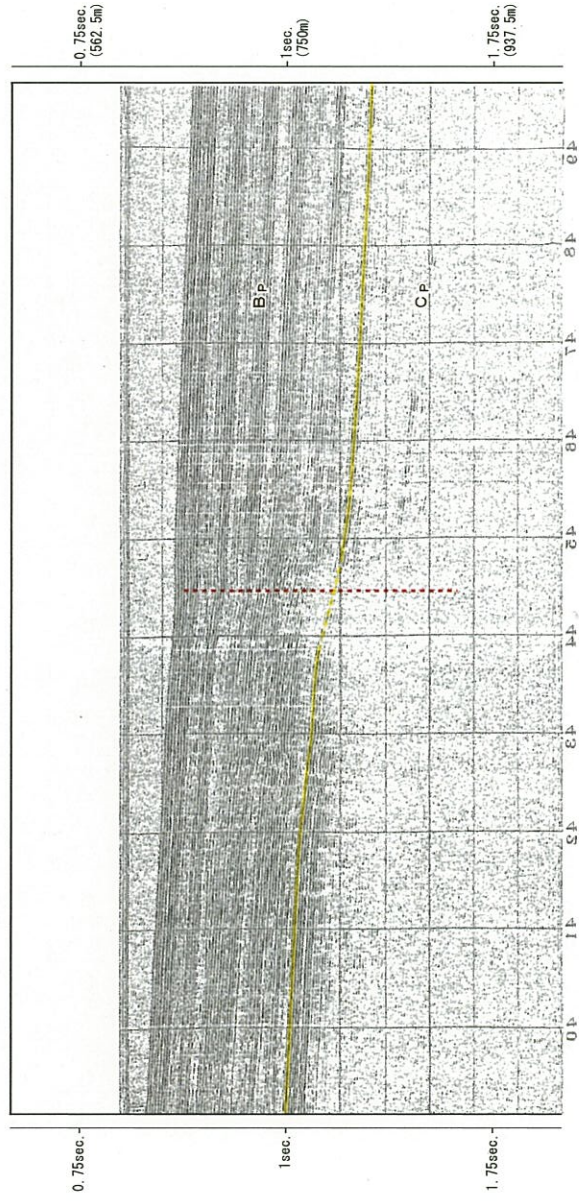
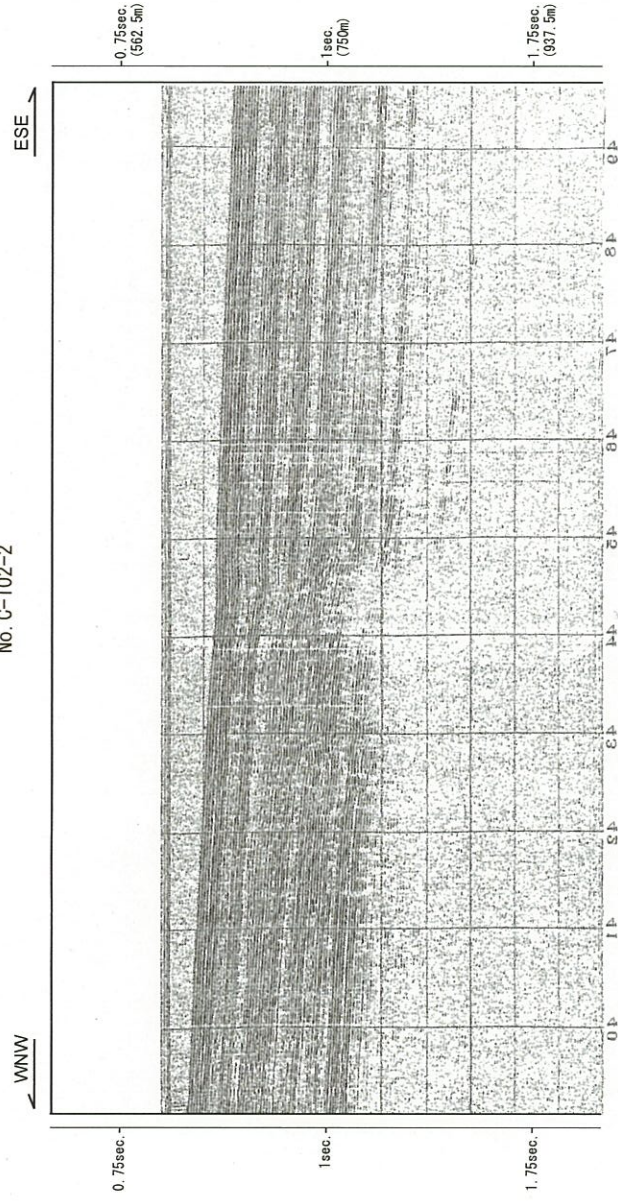


断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に变位，歪形が認められるもの

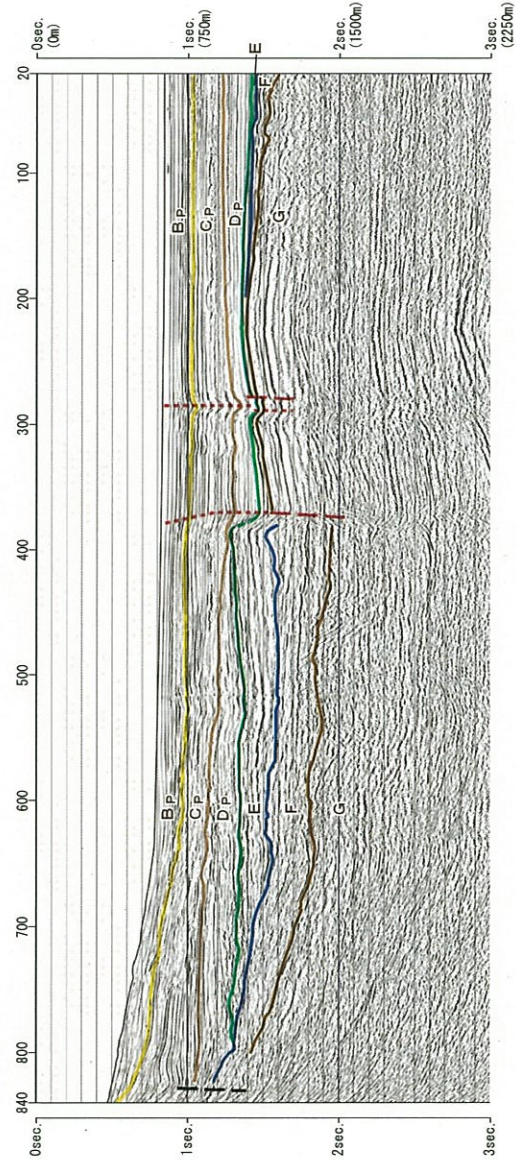
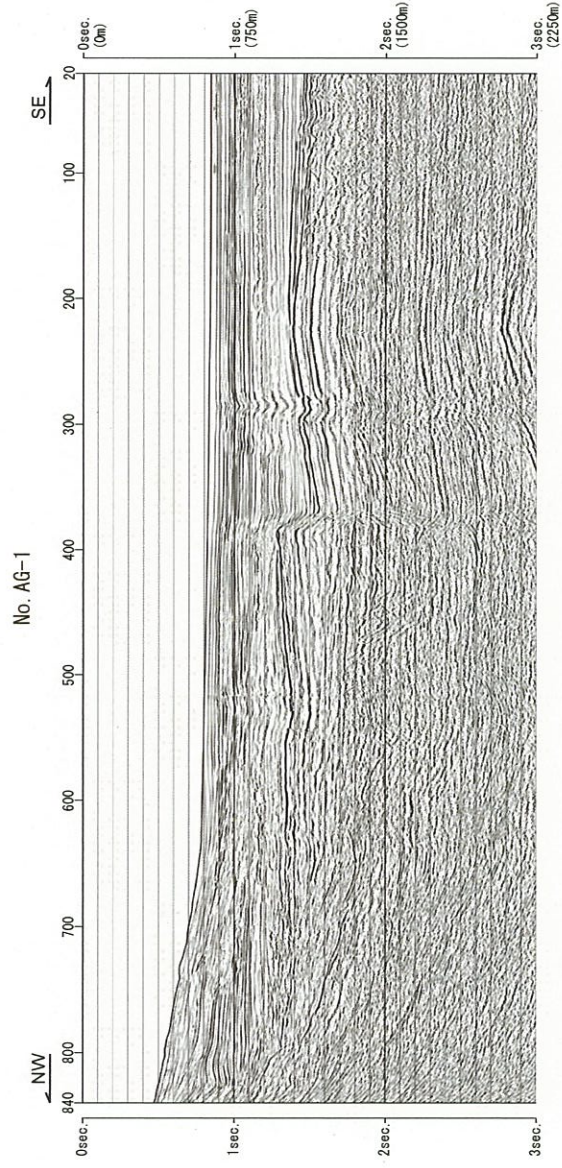
第 3.2-133 図 (3) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. WG-2 測線)

No. C-102-2



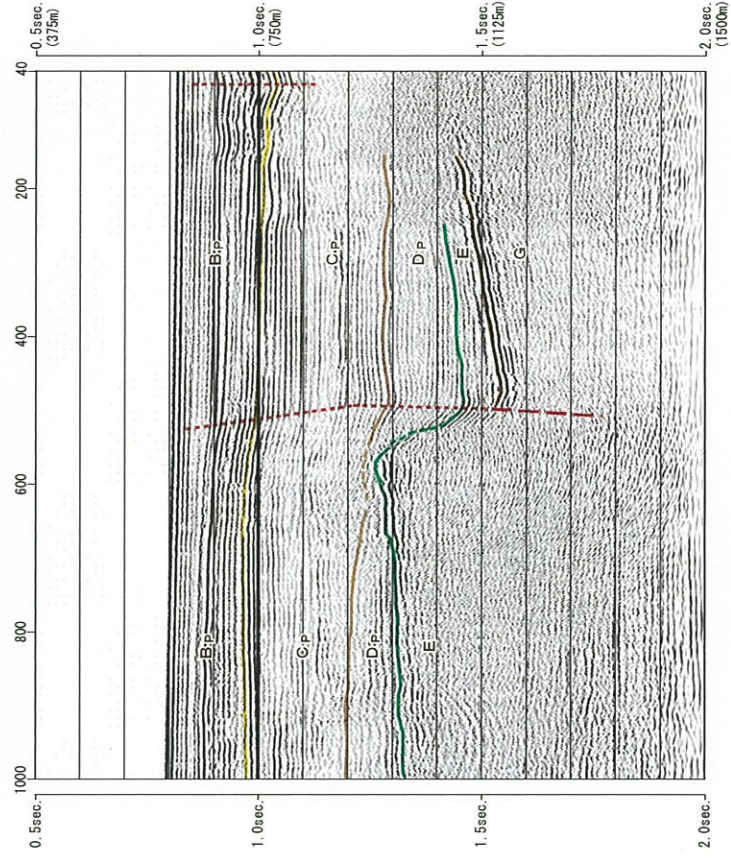
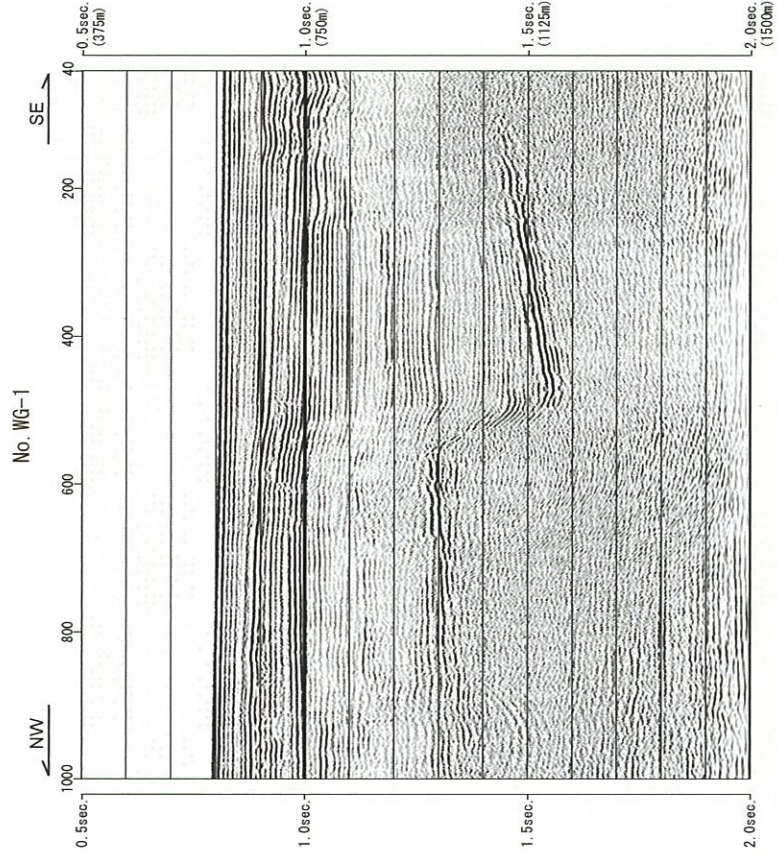
※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

第3.2-133図(4) F-c断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. C-102-2測線)



※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に亘り、変形が認められるもの

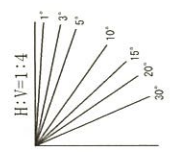
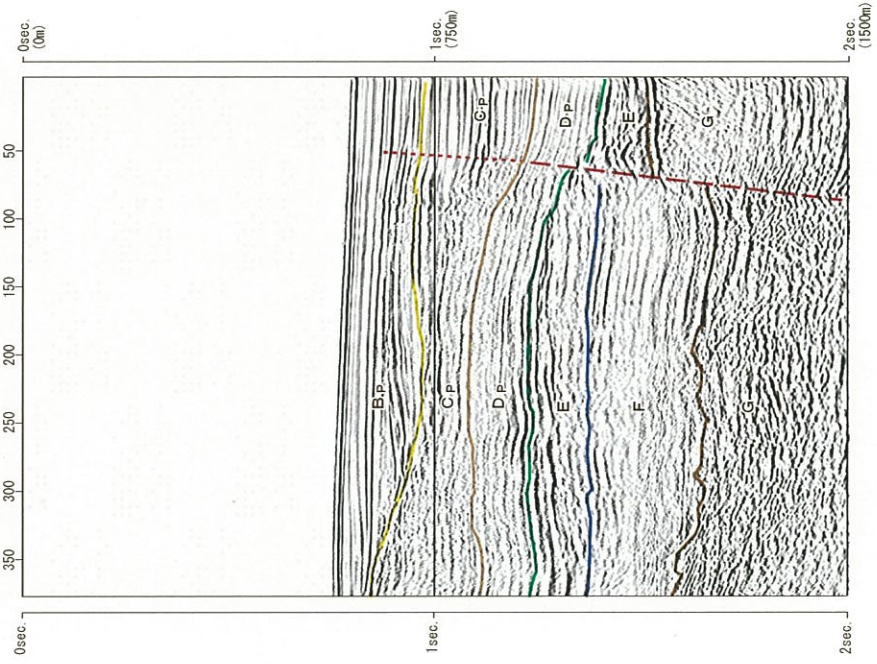
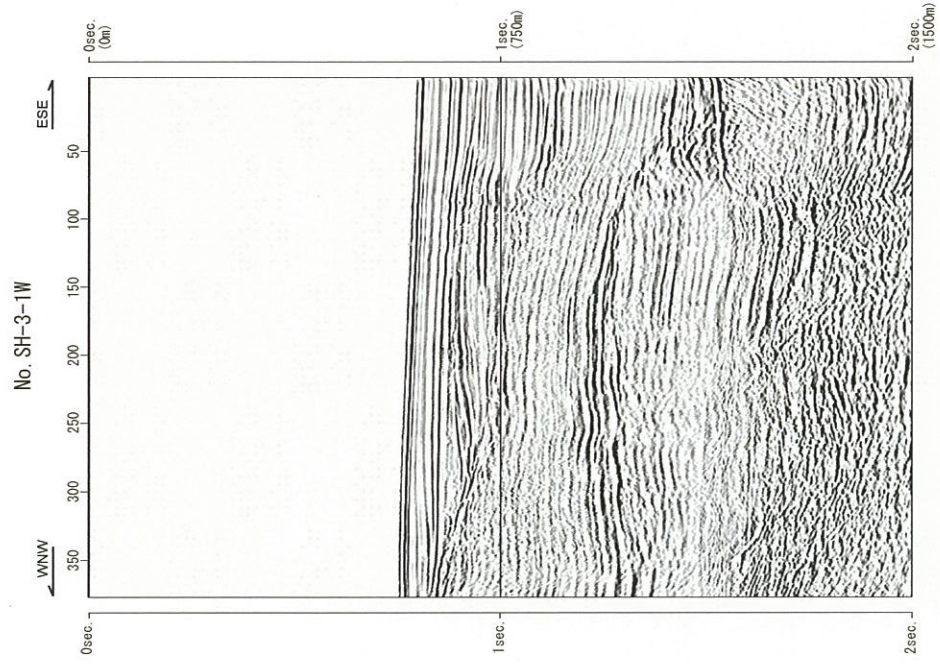
第 3.2-133 図 (5) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. AG-1 測線)



— 断層
 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に貫入・変形が認められるもの

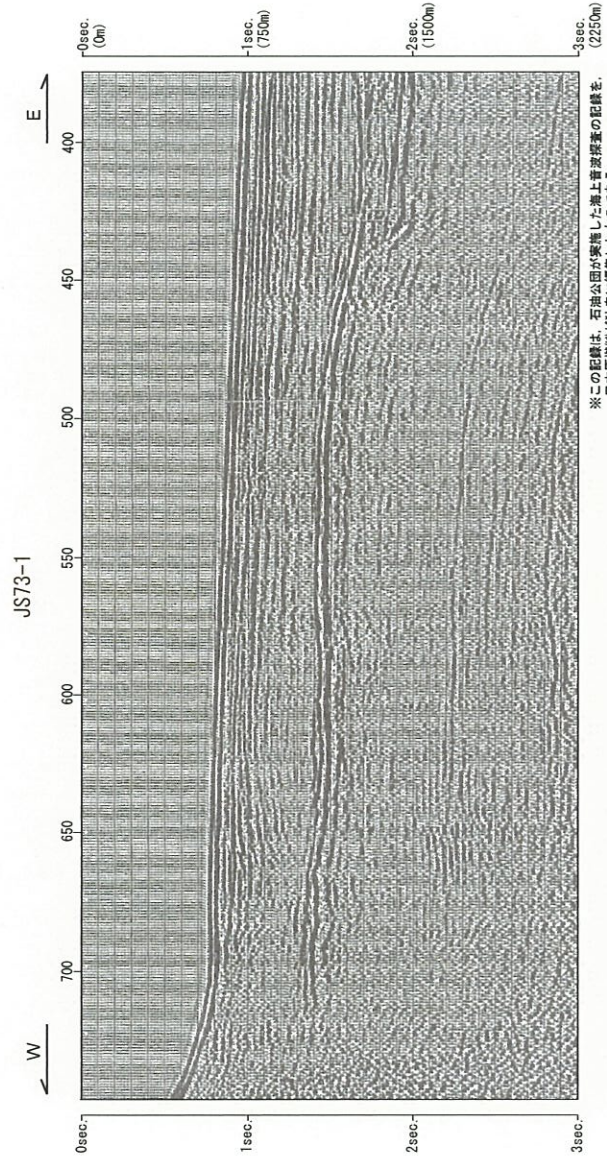
第 3.2-133 図 (6) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. WG-1 測線)



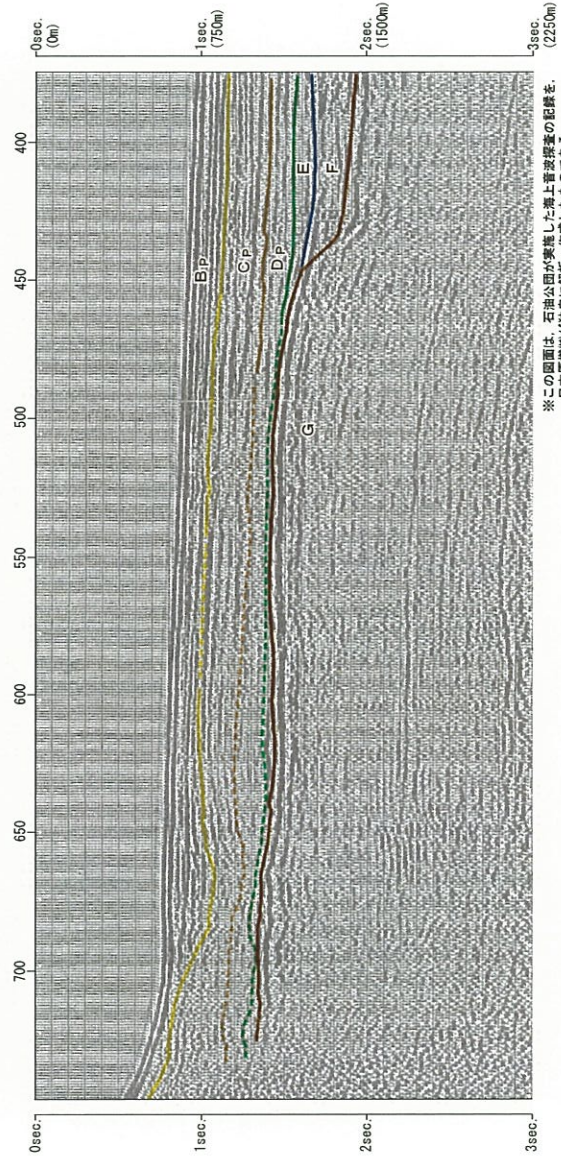
断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

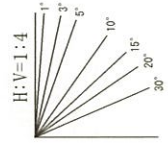
第3.2-133図(7) F-c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. SH-3-1W測線)



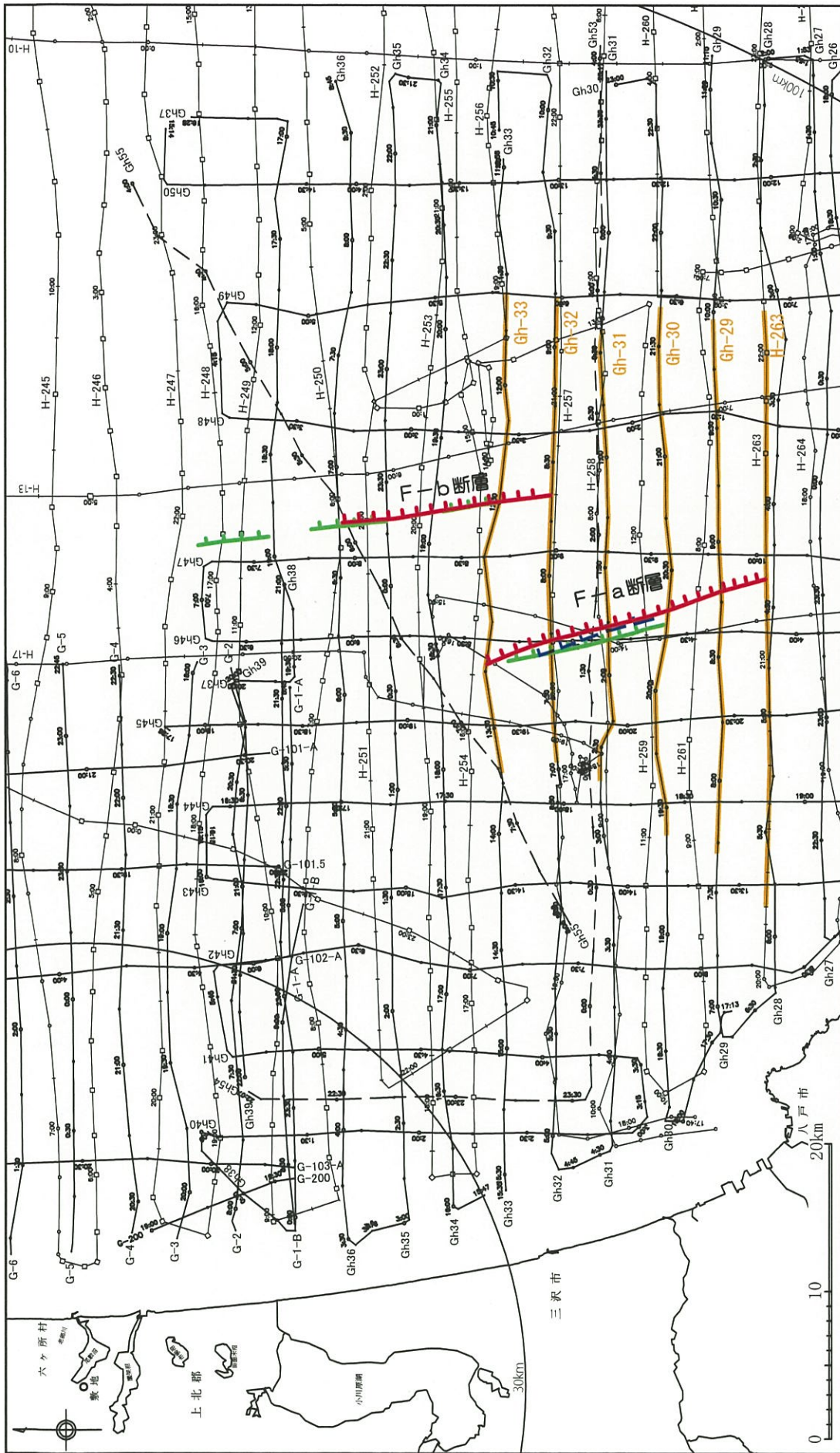
※この記録は、石油公団が実施した海上音波探査の記録を、日本原産油が独自に編集したものである。













※この図面は、石油公団が実施した海上音波探査の記録を、日本原産油が独自に解析・作成したものである。



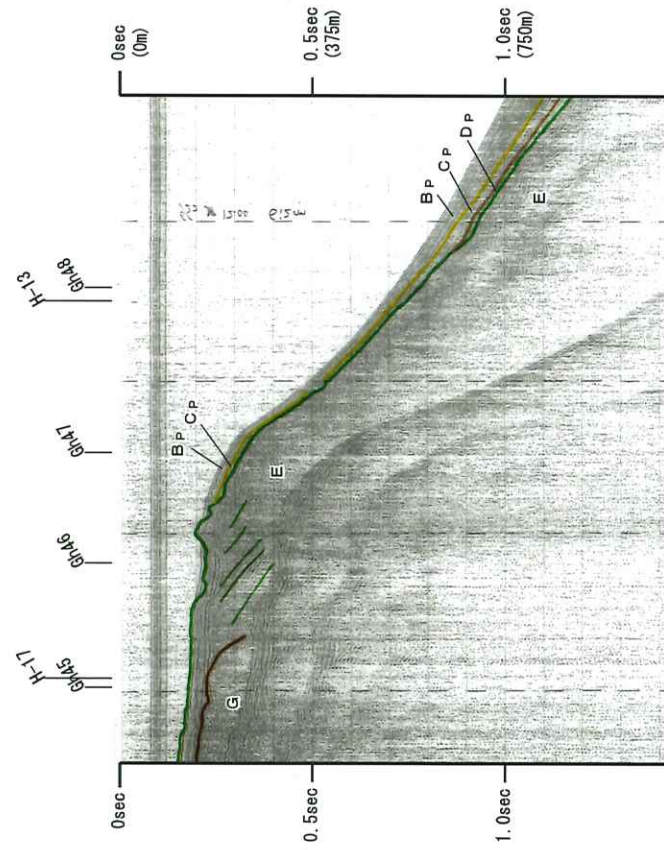
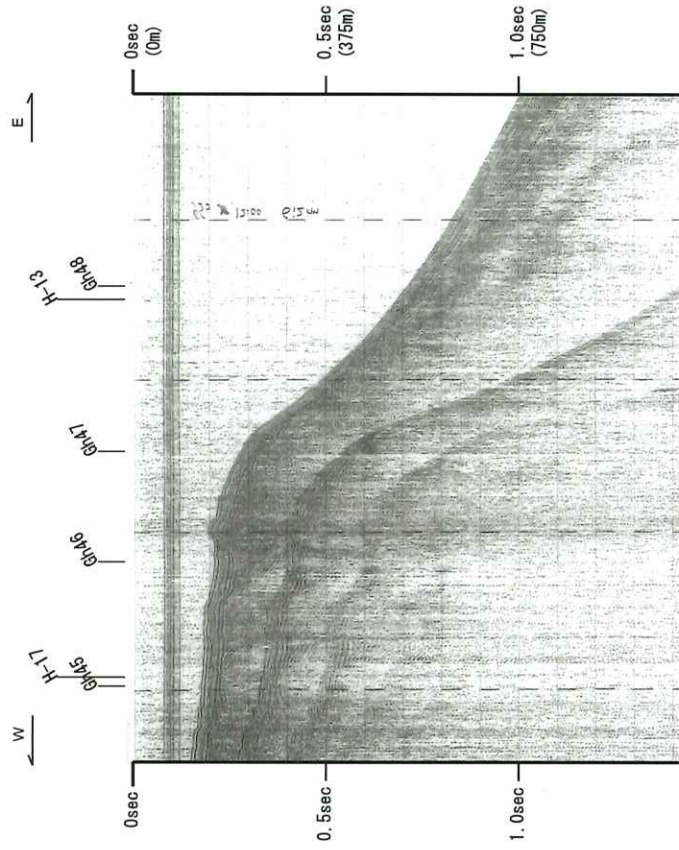
第3.2-133図(8) F-c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (JS73-1測線)



凡 例

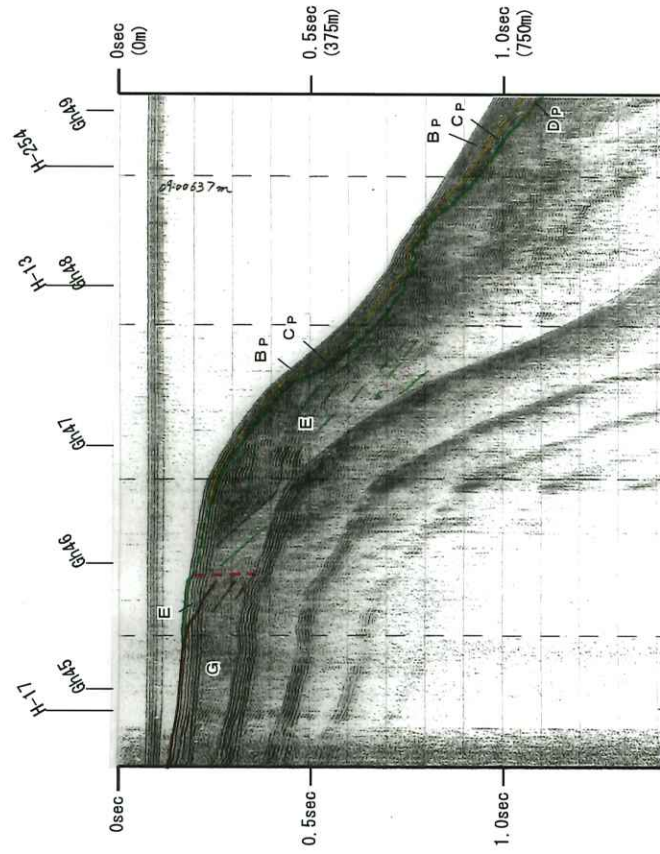
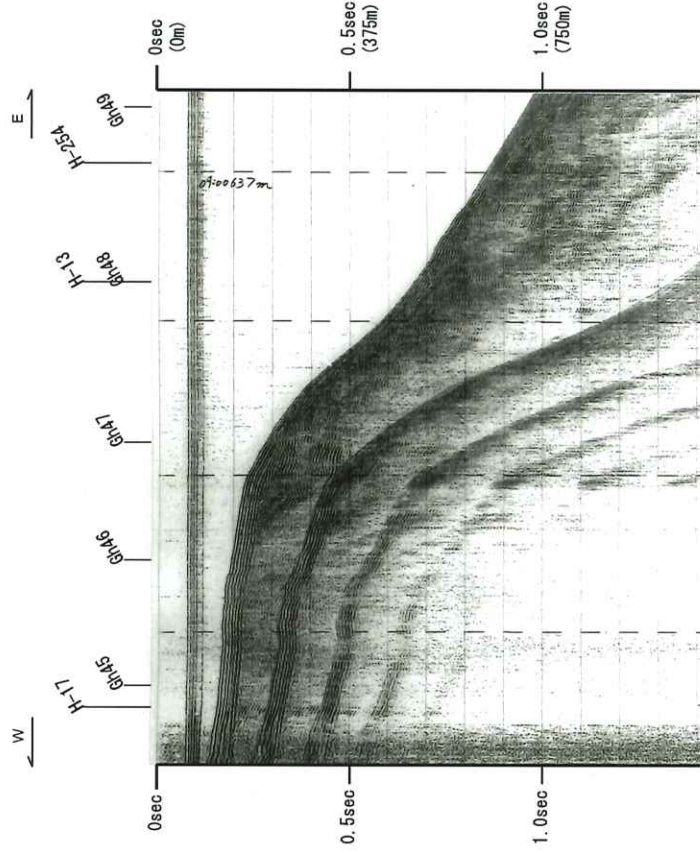
-  [新編]「日本の活断層」活断層研究会編(1991)による断層
-  1/20万海底地質構造図「八戸沖」海上保安庁水路部(1973)による断層
-  第四紀後期更新世以降の活動性を考慮する断層
-  海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線(1972)
-  地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1982)
-  地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1976)
-  H-253
-  G-3
-  Gh34
-  音波探査記録解析位置

Gh33



第3.2-135図(1) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh33測線)

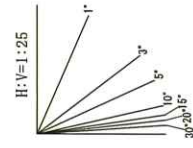
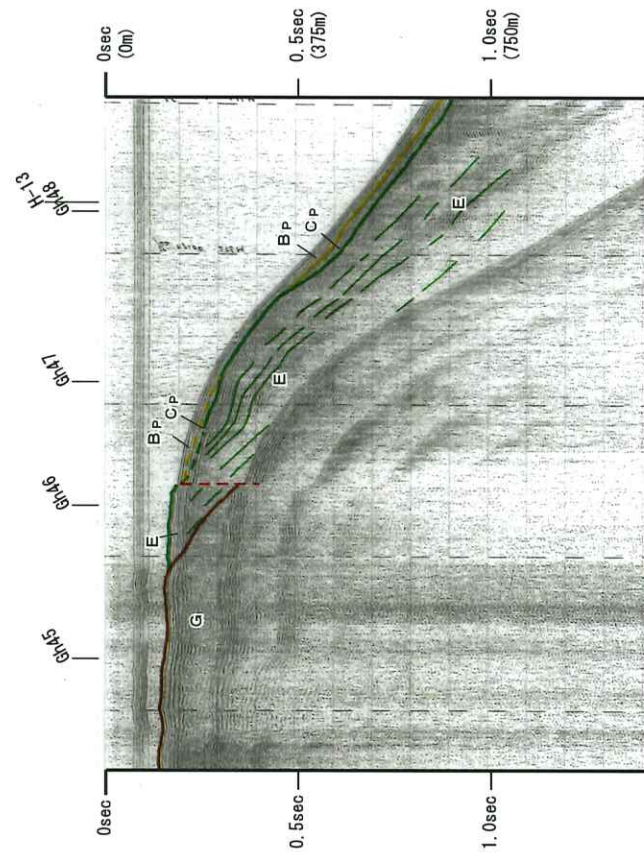
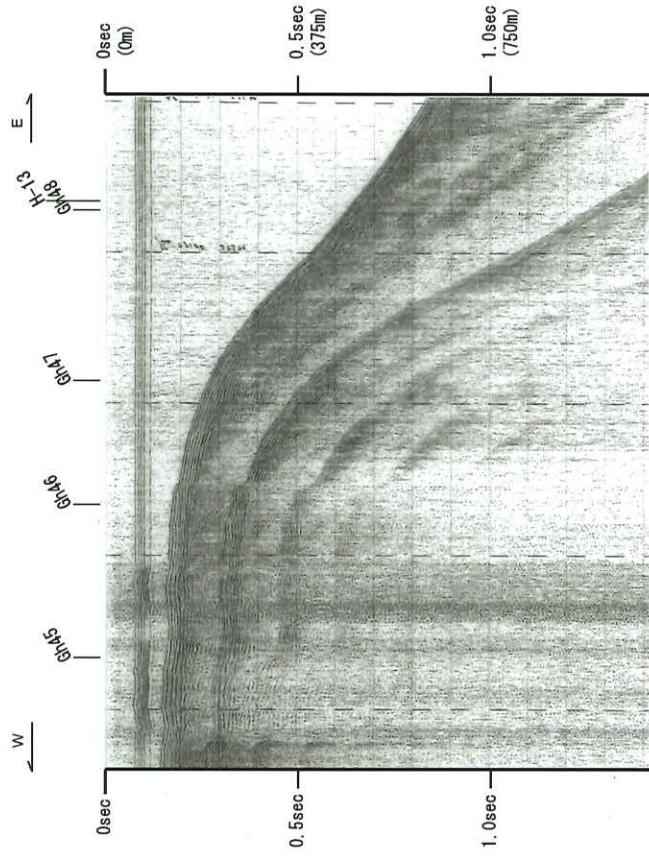
Gh32



断層
 ※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に突位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第3.2-135図(2) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh32測線)

Gh31

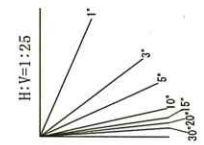
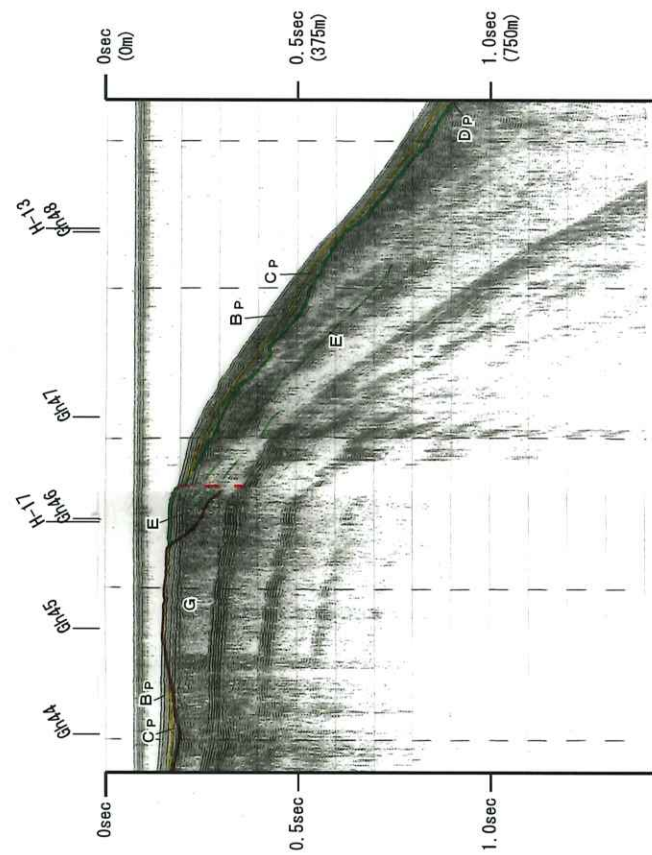
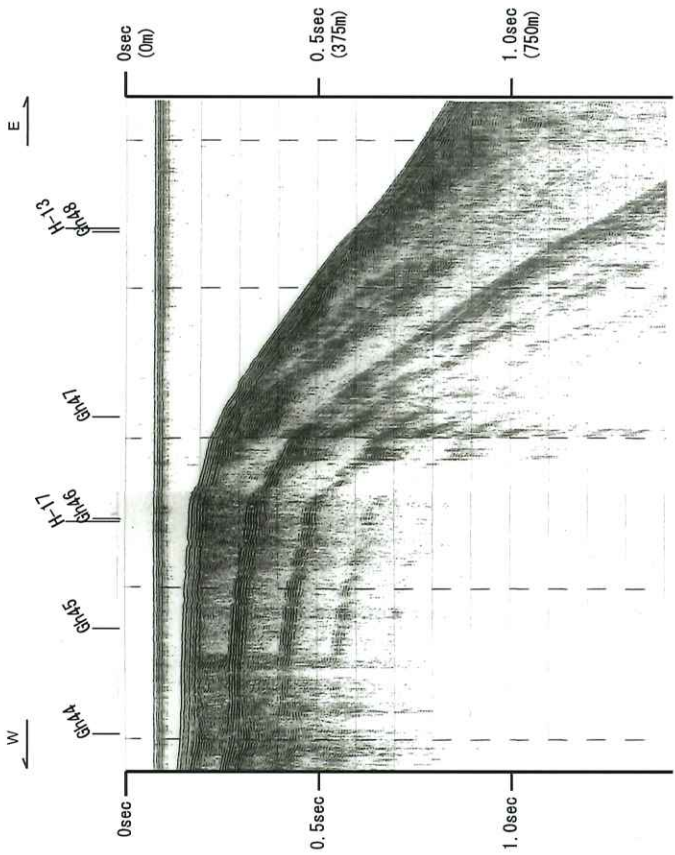


断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に歪位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第3.2-135図(3) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh31測線)

Gh30

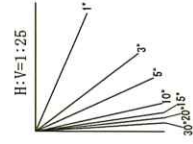
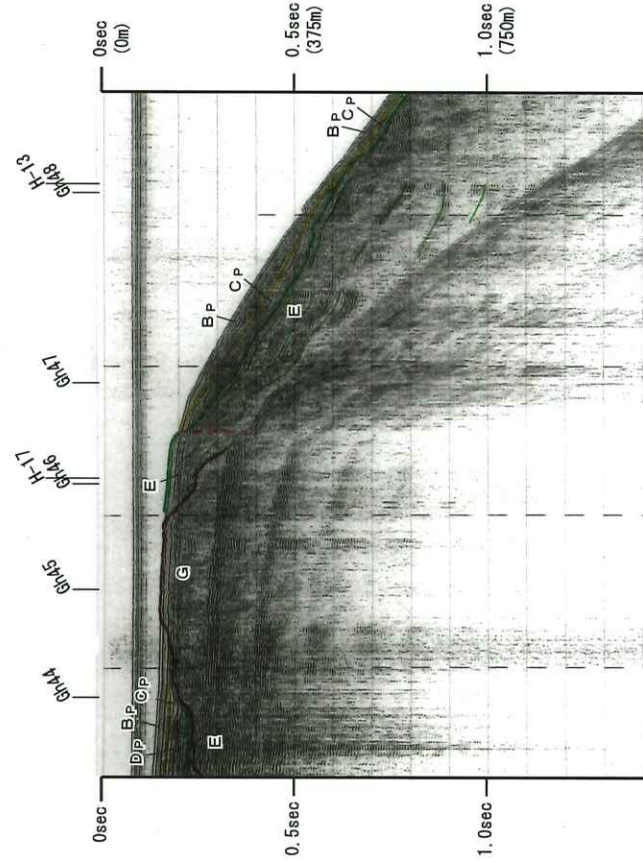
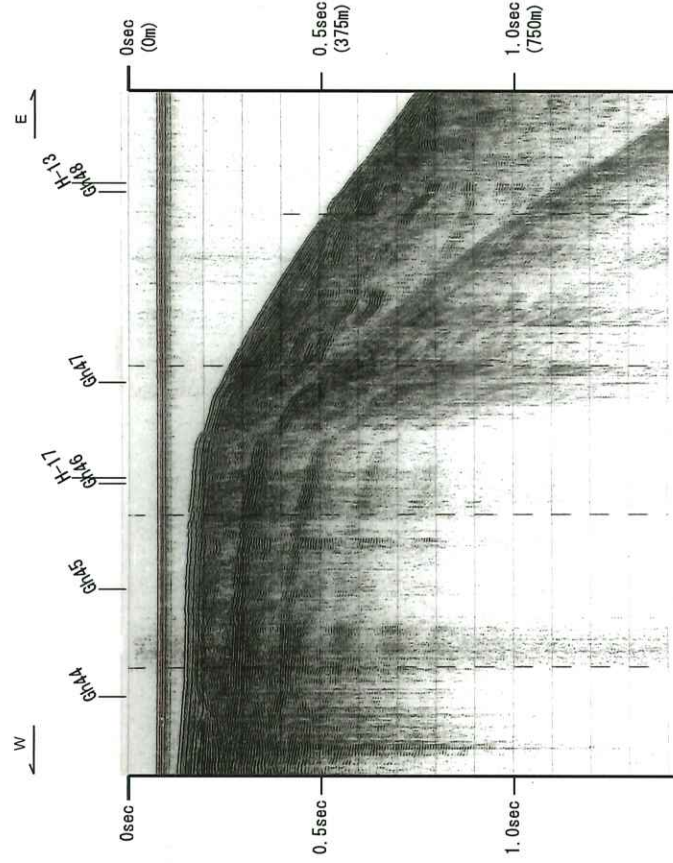


断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第3.2-135図(4) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh30測線)

Gh29

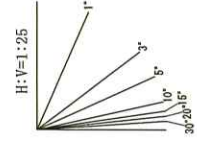
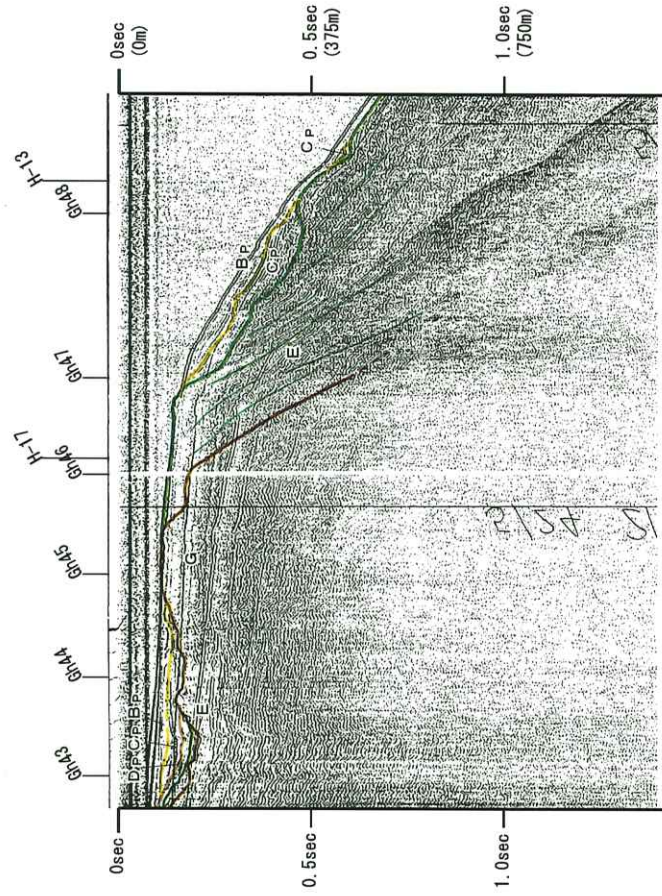
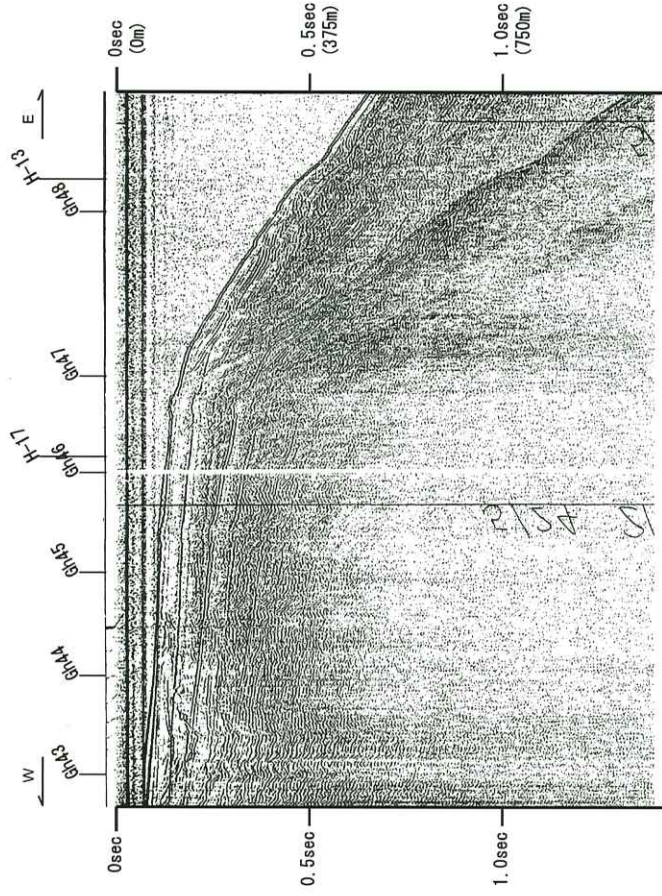


断面

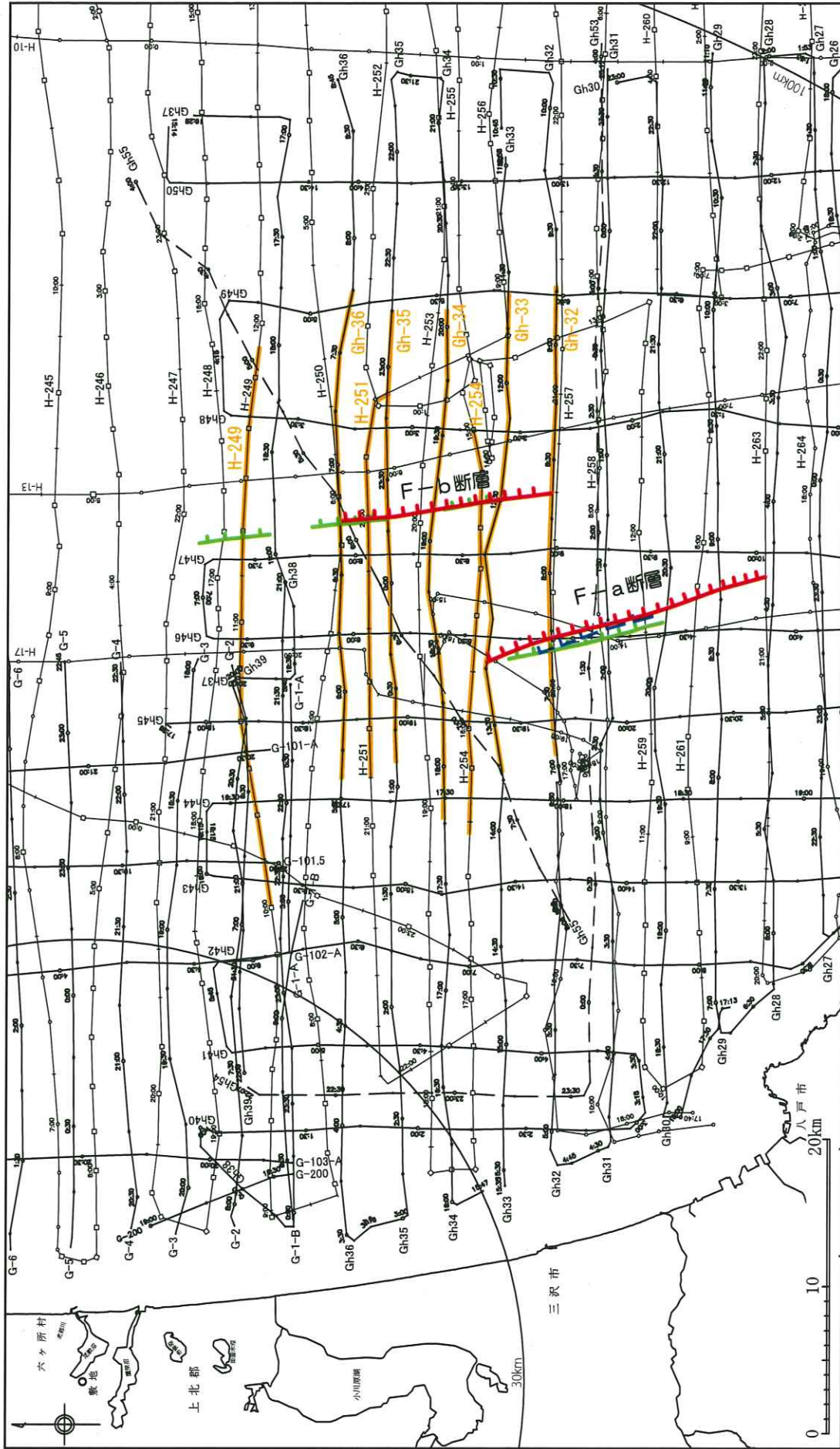
※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第3.2-135図(5) F-a 断面周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh29測線)

H-263



第3.2-135図(6) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-263測線)



凡 例

— [新編]「日本の活断層」
活断層研究会編(1991)による断層

— 1/20万海底地質構造図「八戸沖」
海上保安庁水路部(1973)による断層

— 第四紀後期更新世以降の活動性を考慮する断層

— H-253 — 海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線(1972)

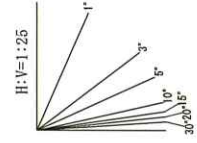
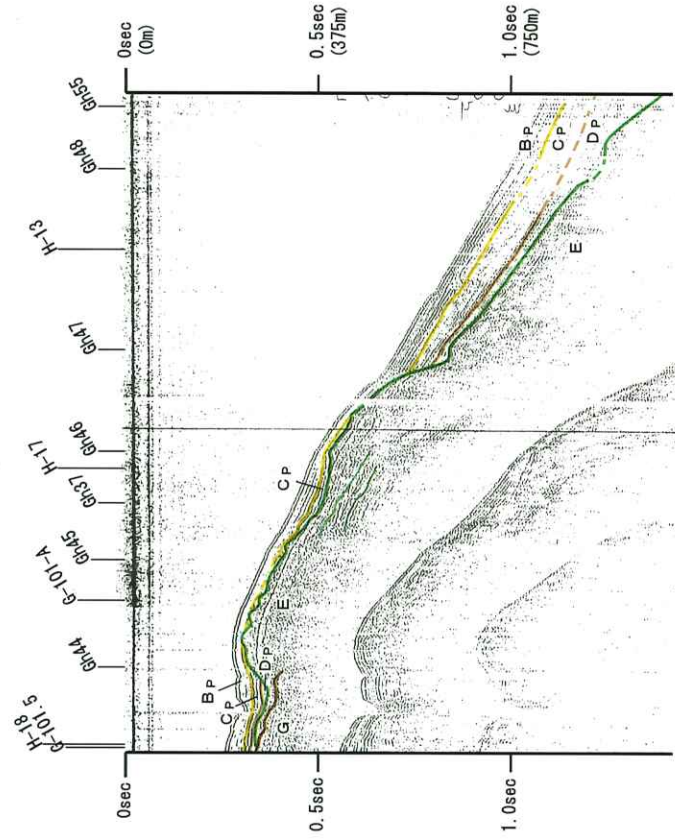
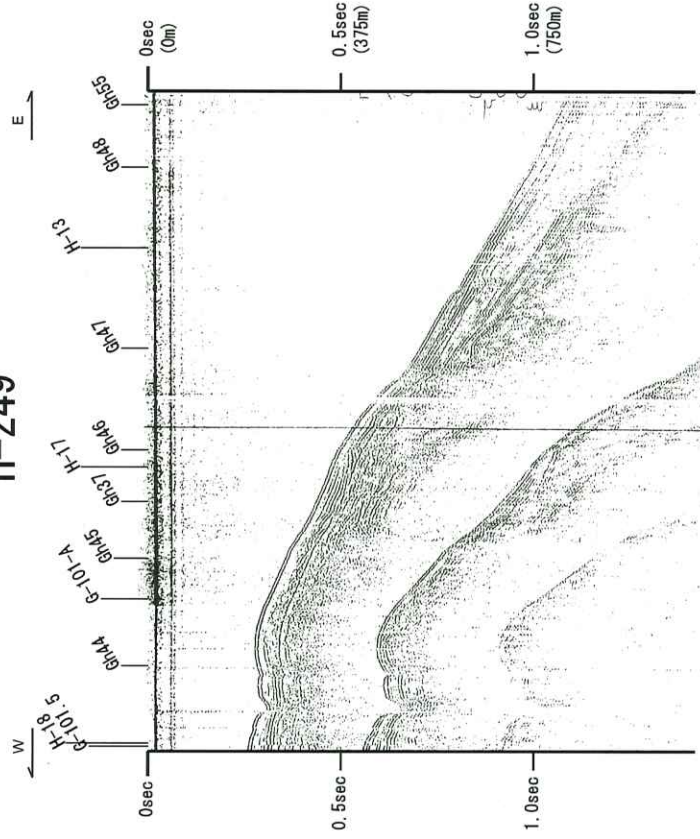
— G-3 — 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1982)

— Gh34 — 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1976)

— 音波探査記録解析位置

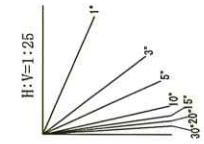
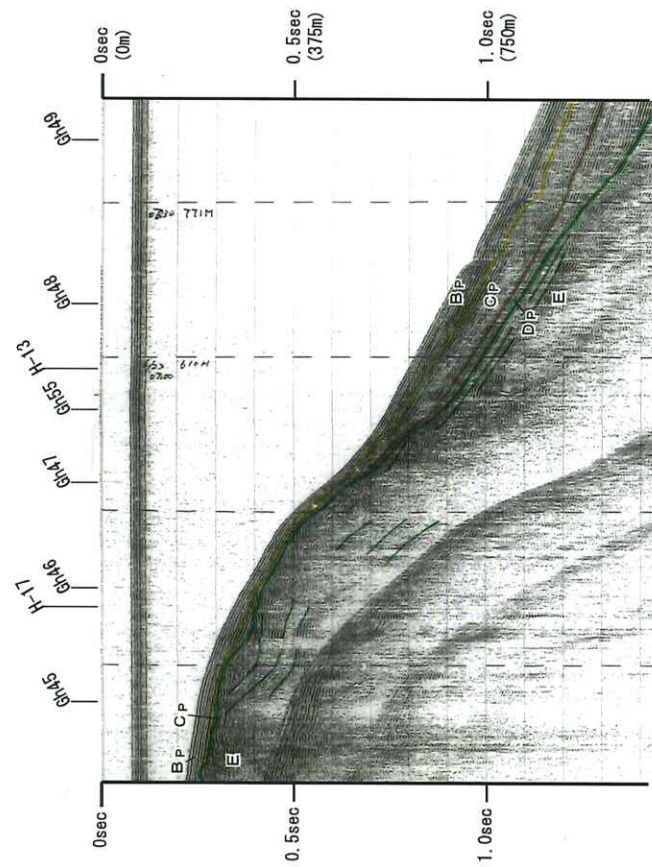
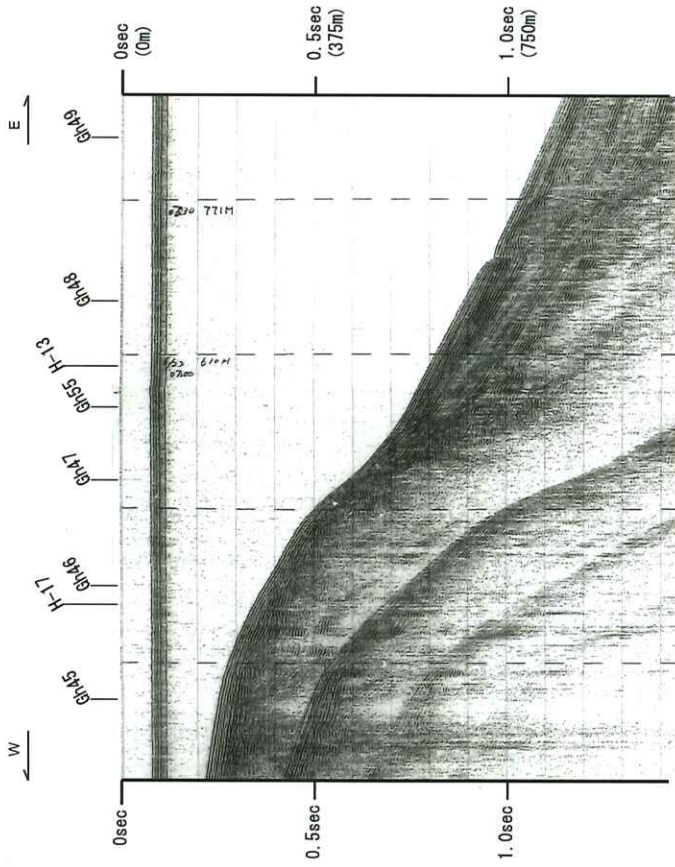
第3.2-136図 F-a-b断層位置図

H-249



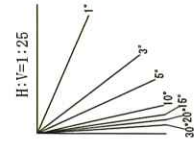
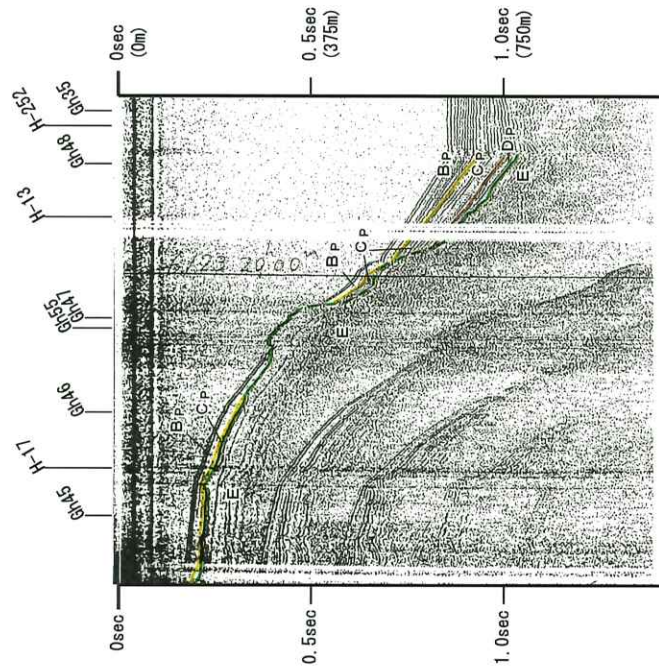
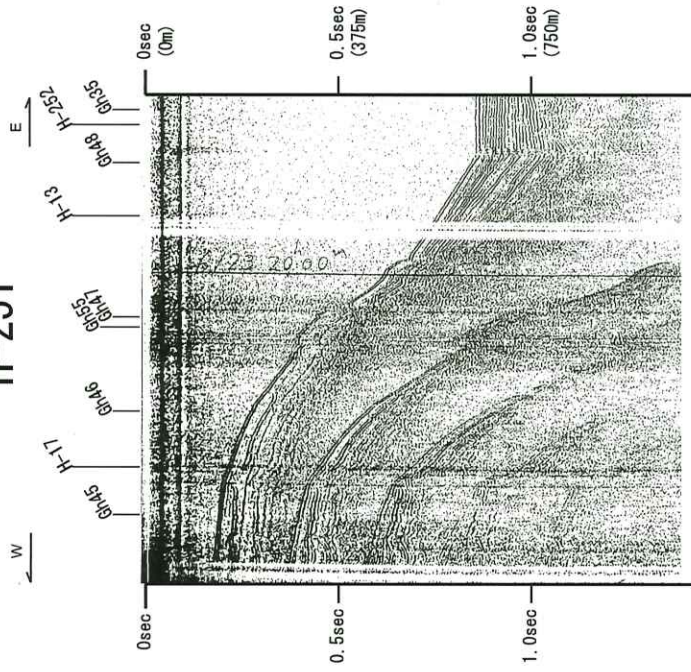
第3.2-137図(1) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-249測線)

Gh36



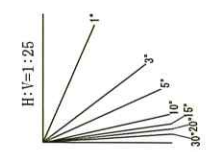
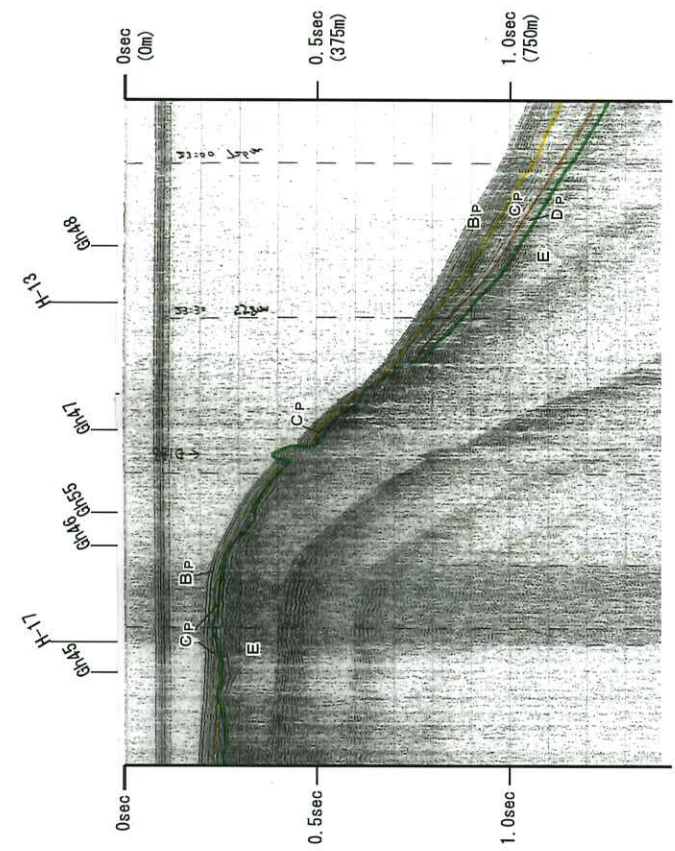
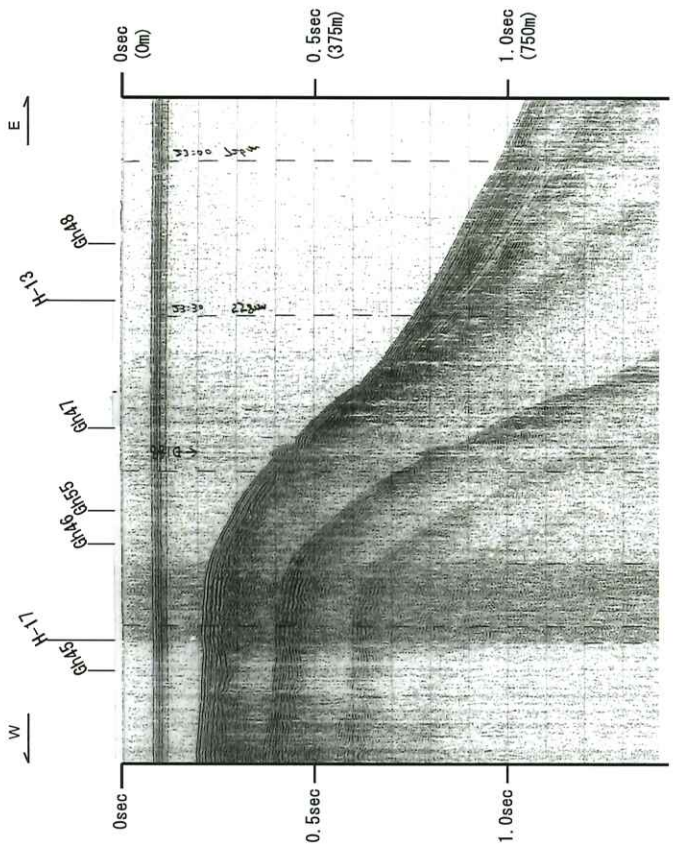
第3.2-137図(2) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh36測線)

H-251



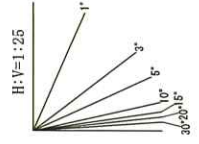
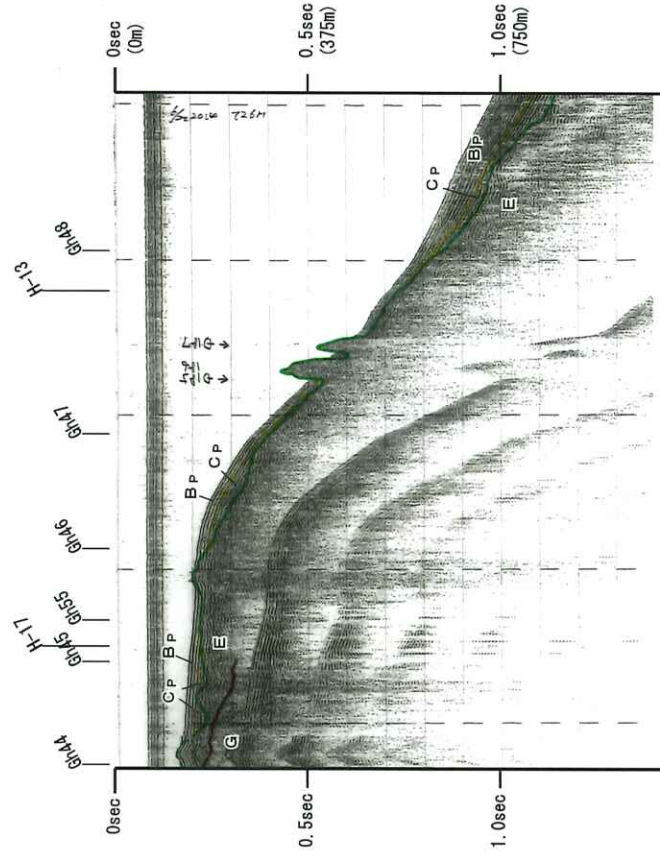
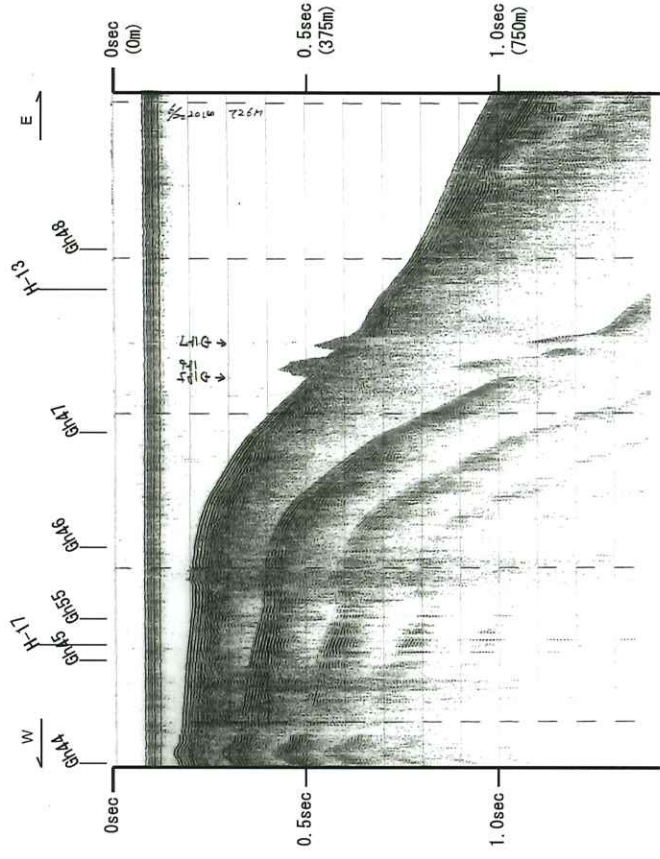
第3.2-137図(3) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-251測線)

Gh35



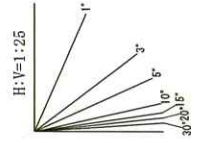
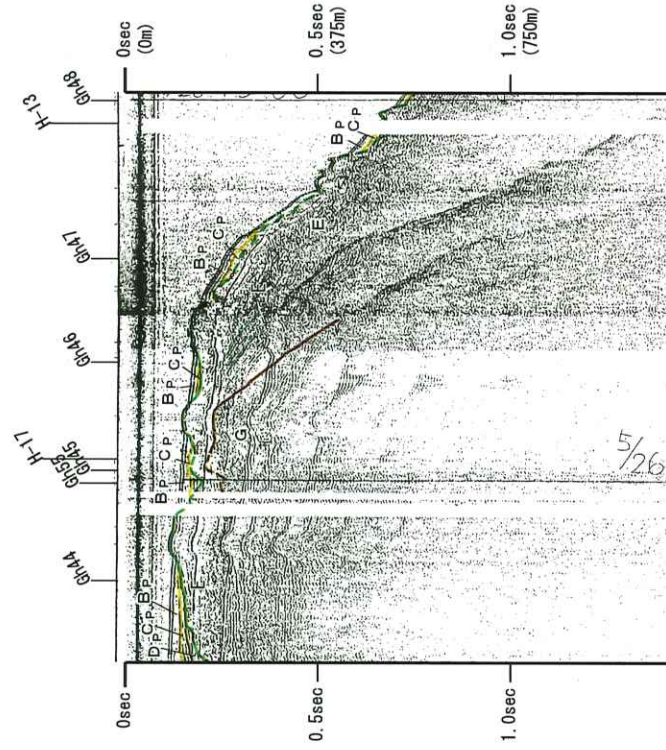
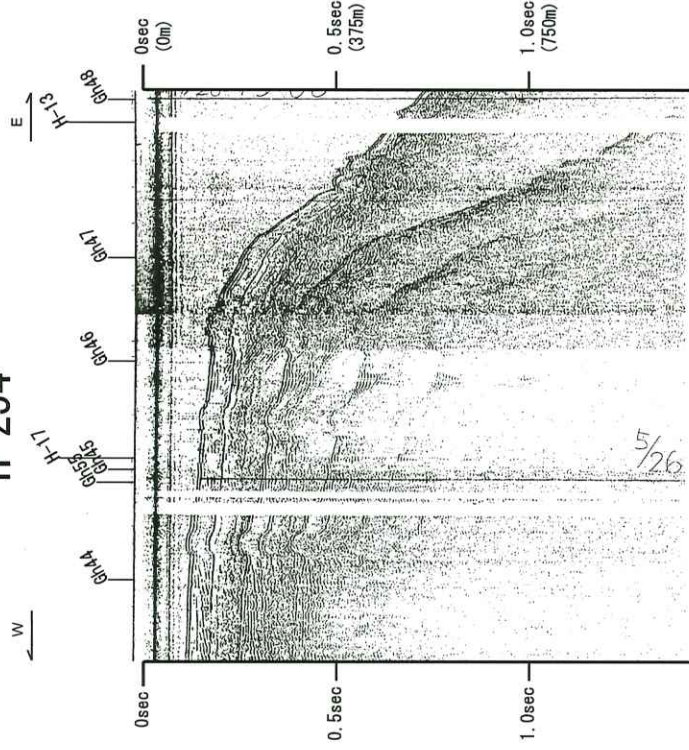
第3.2-137図(4) F - b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh35測線)

Gh34



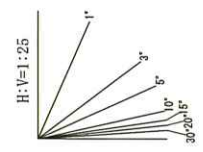
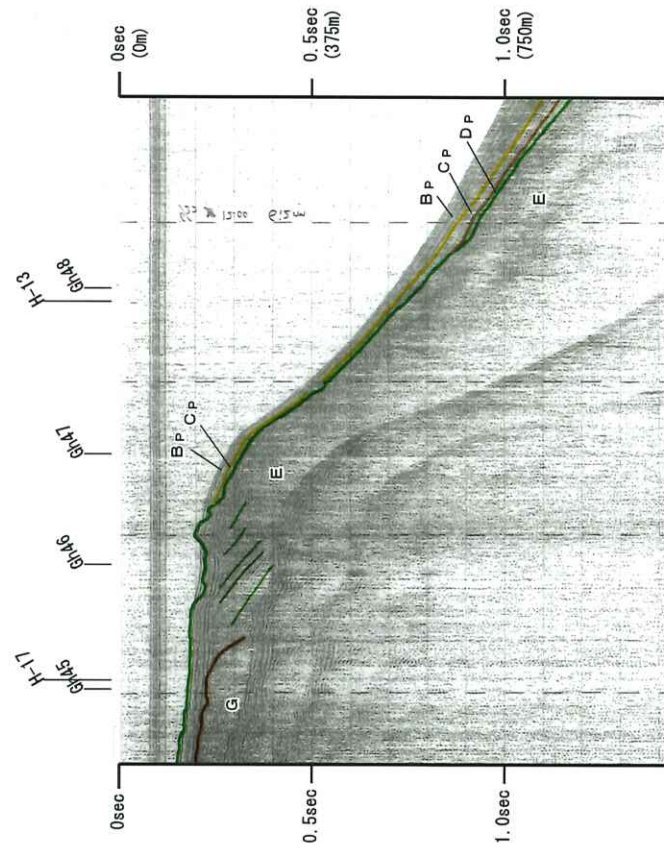
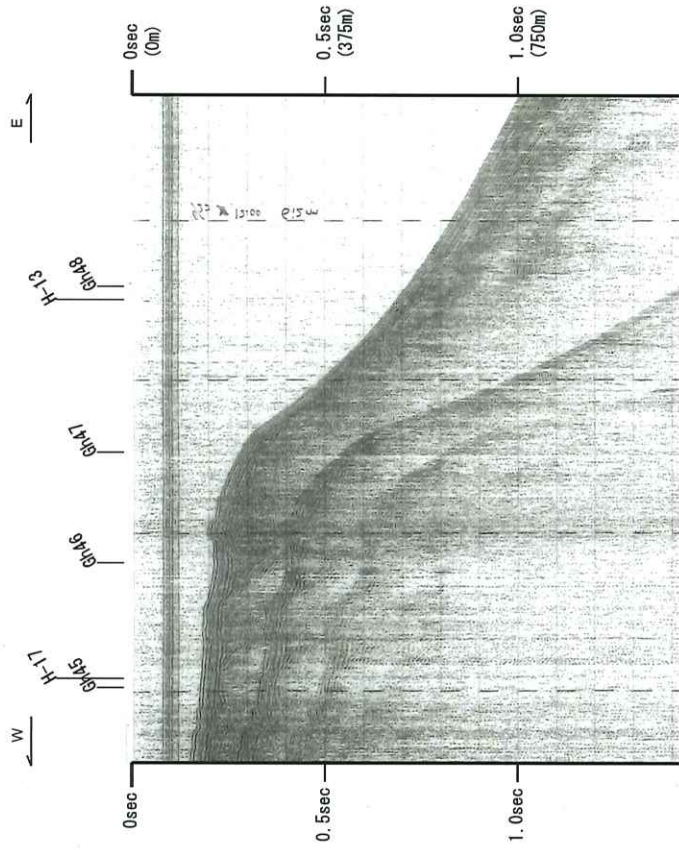
第3.2-137図(5) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh34測線)

H-254



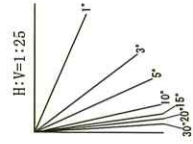
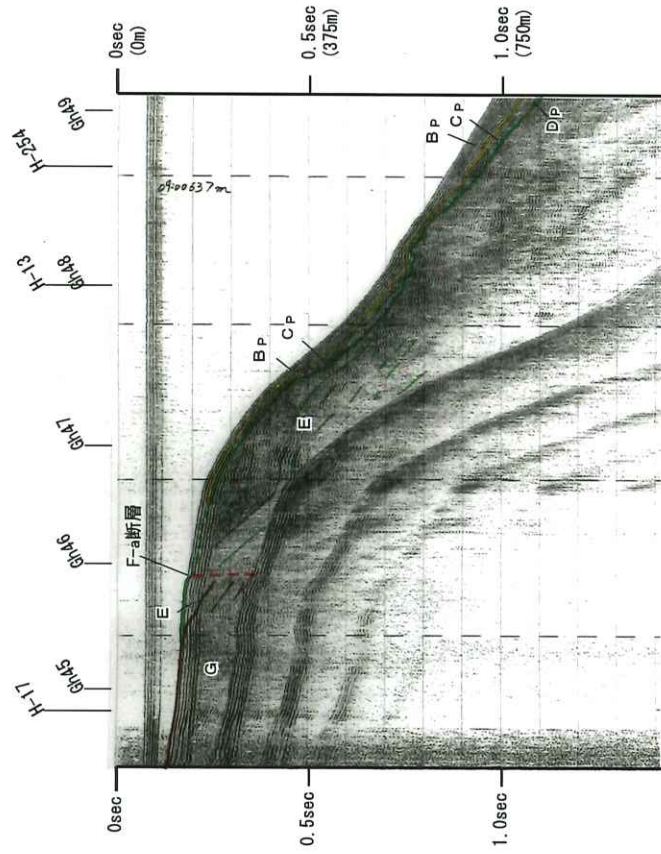
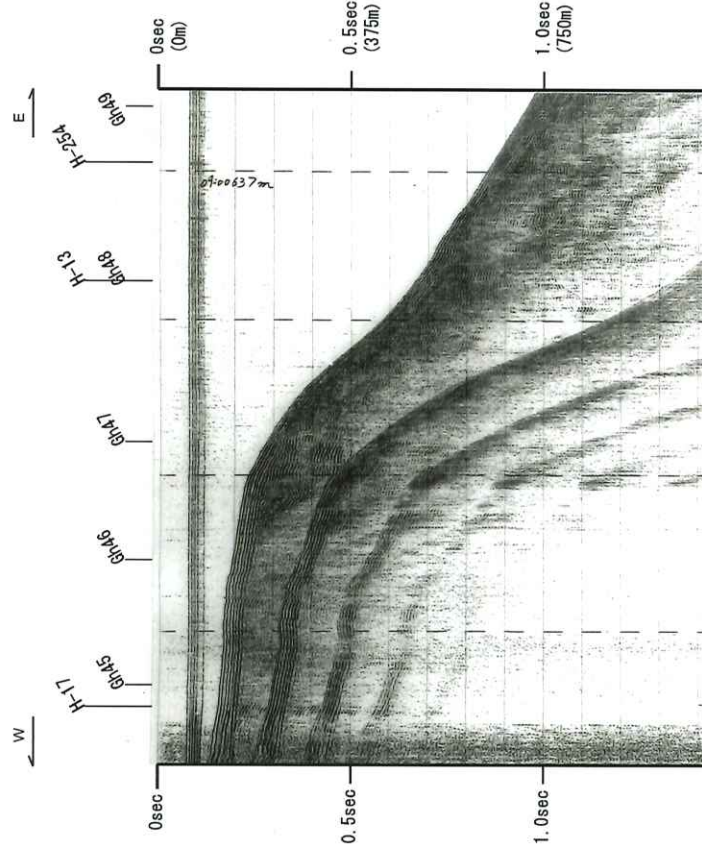
第3.2-137図(6) F - b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-254測線)

Gh33



第3.2-137図(7) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh33測線)

Gh32



断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に方位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第3.2-137図(8) F-a断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh32測線)